

坂出市障がい者福祉計画および
第4期障がい福祉計画
策定のためのアンケート報告書

平成26年10月

坂出市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収状況.....	1
4. 報告書の見方.....	1
II 調査結果	2
調査に回答されるのはどなたですか。(1つに○印).....	2
① はじめにあなたについて基本的な事柄をおうかがいします。.....	2
② あなたの生活のことについておうかがいします。.....	8
③ 介助についておうかがいします。.....	13
④ 福祉サービスについておうかがいします。.....	26
⑤ 学校・仕事についておうかがいします。.....	37
⑥ 生活全般についておうかがいします。.....	49
III 自由回答	62

I 調査の概要

1. 調査の目的

坂出市障がい者福祉計画および第4期障がい福祉計画の策定にあたり、障がい者の実態やニーズ等を把握し、計画策定の基礎資料とするとともに、今後の施策展開の参考にすることを目的として実施した。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 : 坂出市全域
- (2) 調査対象者 : 身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳の所持者
- (3) 標本数 : 1,600件
- (4) 抽出法 : 無作為抽出
- (5) 調査期間 : 平成26年8月22日～平成26年9月3日
- (6) 調査方法 : 郵送法による配布回収

3. 回収状況

対象者	配布数	有効回答数	有効回答率
手帳所持者	1,600件	751件	46.9%

4. 報告書の見方

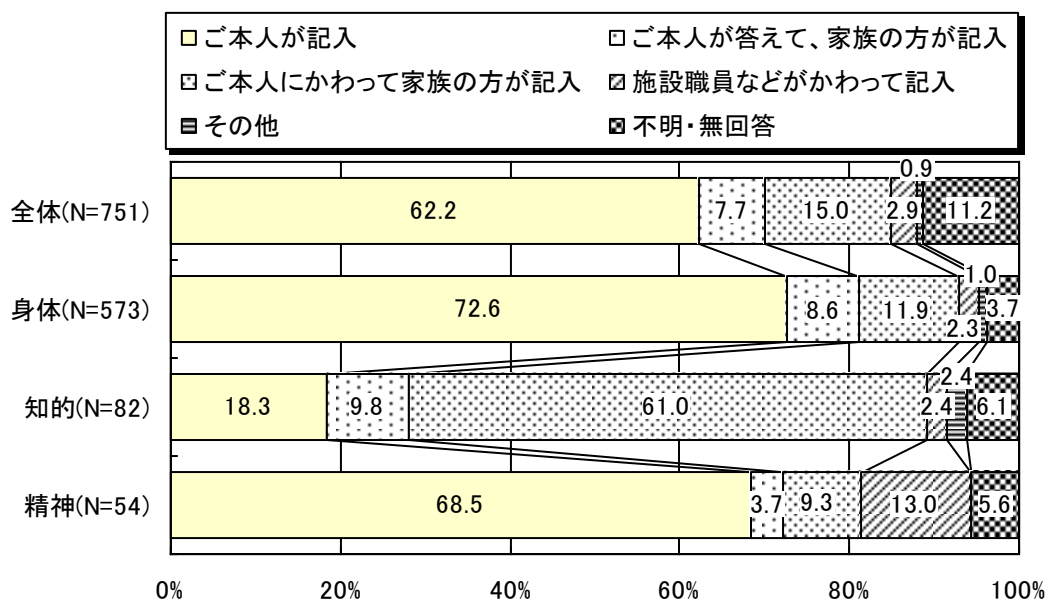
- (1) グラフ中の「N」はその項目における回答者を合計した実数値であり、割合(%)算出の基数となる。
- (2) 割合(%)については小数点以下第2位を四捨五入しているため、各割合の合計が100%に合致しない場合がある。
- (3) 複数回答を求めた質問では、回答者数を基数として割合(%)を算出しているため、その合計は100%を超える。
- (4) グラフ中の「不明・無回答」はその設問における無回答者及び無効回答者の意味である。
- (5) グラフでは、所持している障がい者手帳の種類に応じて、「身体障がい者」、「知的障がい者」、「精神障がい者」の3種類に分けて集計・表記しているが、重複障がいや手帳所持不明などがあるため、これらの合計と調査の有効回答者数(「全体」と表記)とは一致しない。

Ⅱ 調査結果

調査に回答されるのはどなたですか。(1つに○印)

(ご本人がご回答されない場合、ご家族または介助者の方がかわりにご回答ください。)

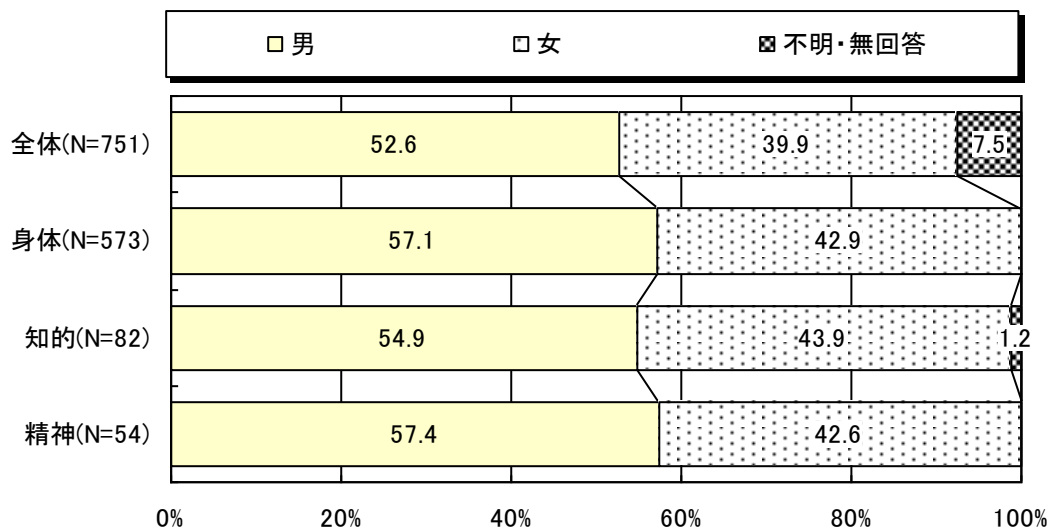
回答者は、身体障がい者および精神障がい者では「ご本人が記入」が最も多いのに対して、知的障がい者では「ご本人にかわって家族の方が記入」が最も多い。



① はじめにあなたについて基本的な事柄をおうかがいします。

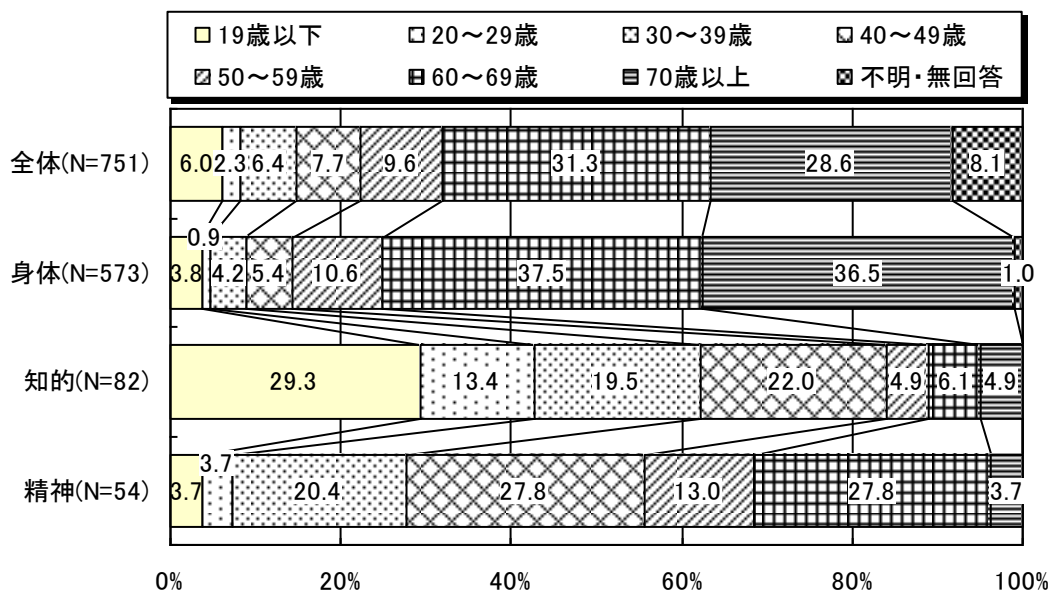
問1 あなたの性別を、おうかがいします。(1つに○印)

性別は、いずれも男性がやや多い。



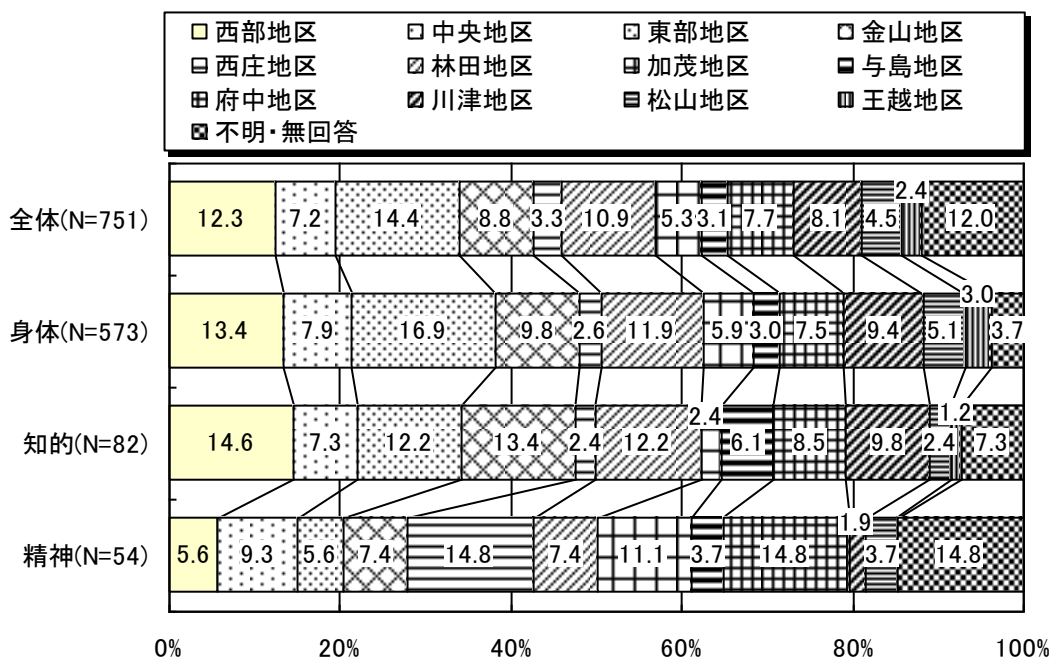
問2 あなたの年齢は8月1日現在、満何歳ですか。数字をご記入ください。

年齢は、身体障がい者では60歳代および70歳代が多い。知的障がい者は19歳以下が最も多く、精神障がい者は40歳代および60歳代が多い。



問3 あなたのお住まいはどちらの地区ですか。(1つに○印)

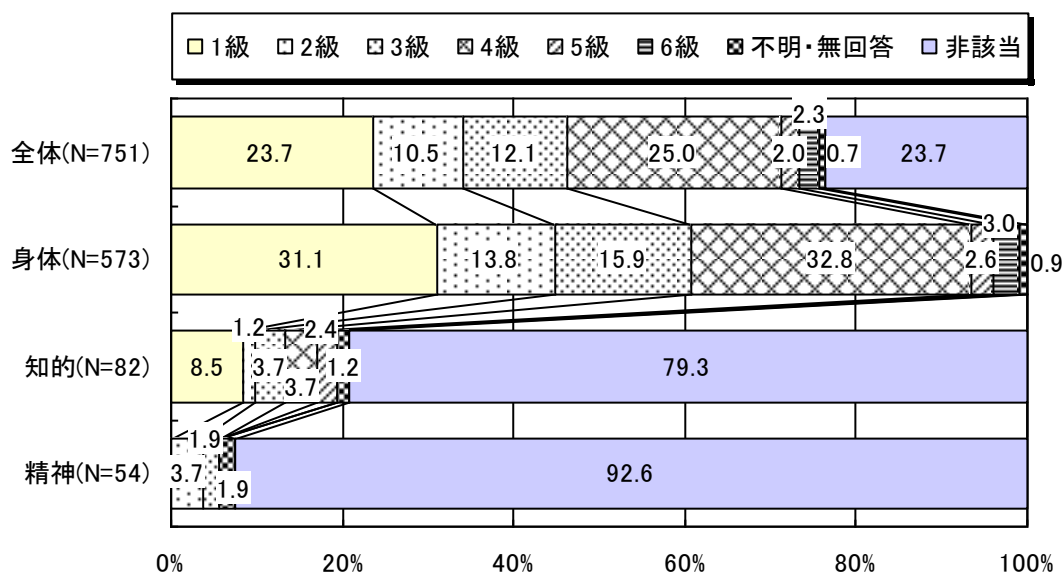
居住地区は、以下のような割合となっている。



問4 あなたは次の手帳をお持ちですか。お持ちの場合は手帳の等級もお答えください。
 (あてはまるものすべてに○印)

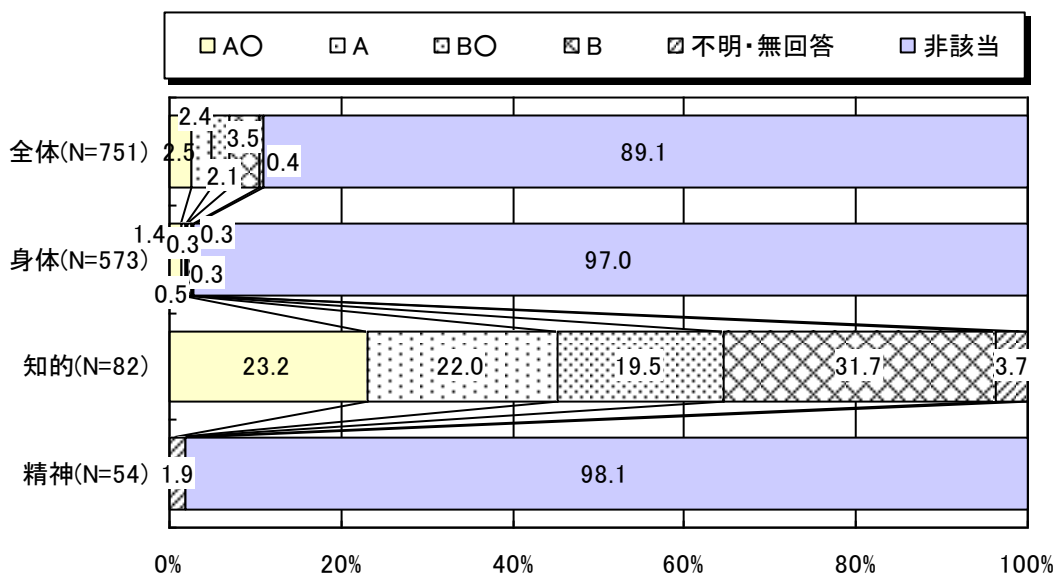
(1) 身体障がい者手帳

身体障がい者手帳では、4級が最も多く、次が1級となっている。また、知的障がい者で身体障がい者手帳を持っている人では、1級が最も多い。



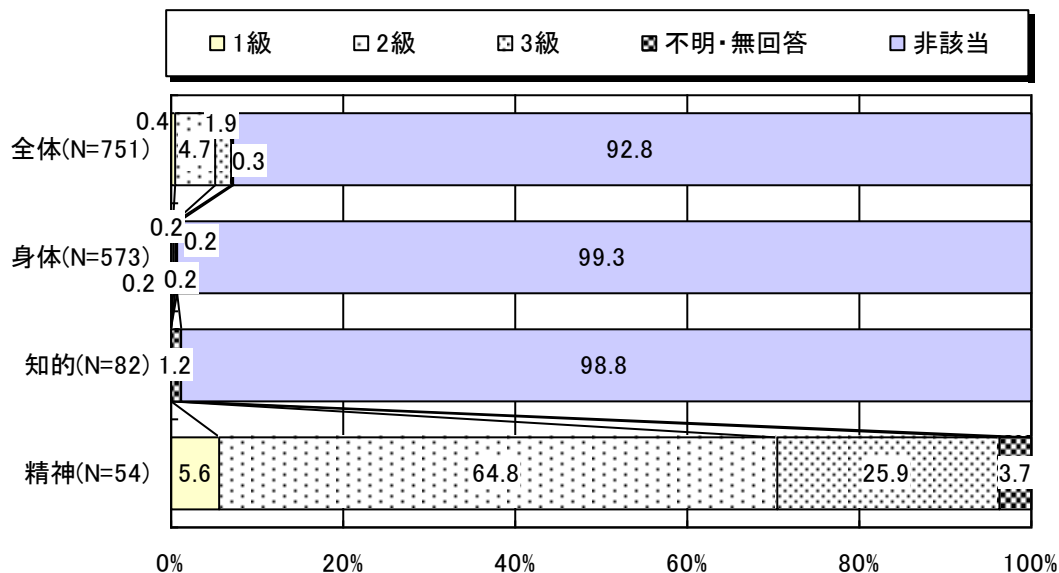
(2) 療育手帳

療育手帳では、B判定が最も多い。



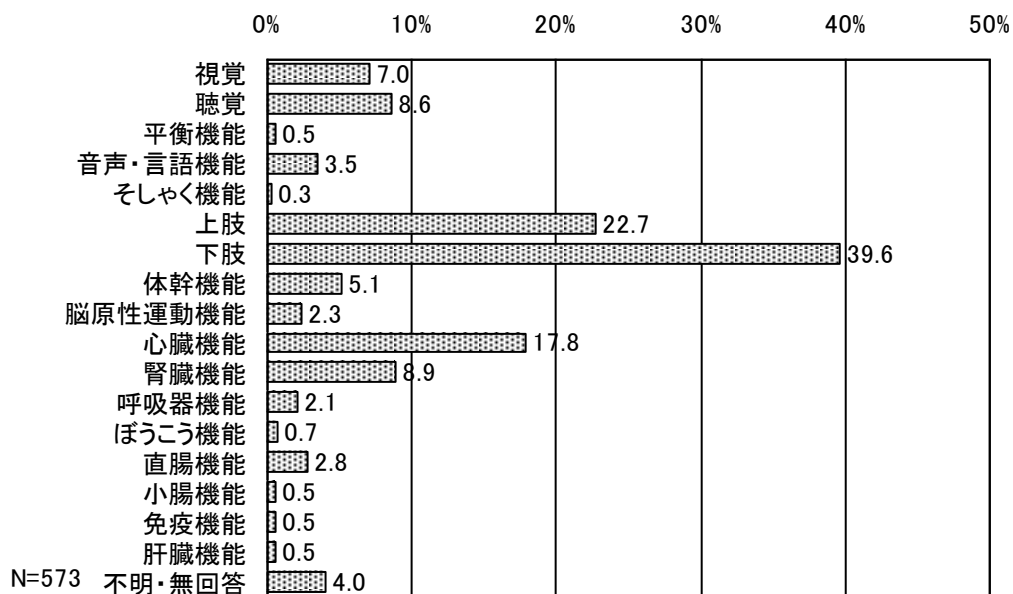
(3) 精神障がい者保健福祉手帳

精神障がい者保健福祉手帳では、2級の所持者が最も多い。



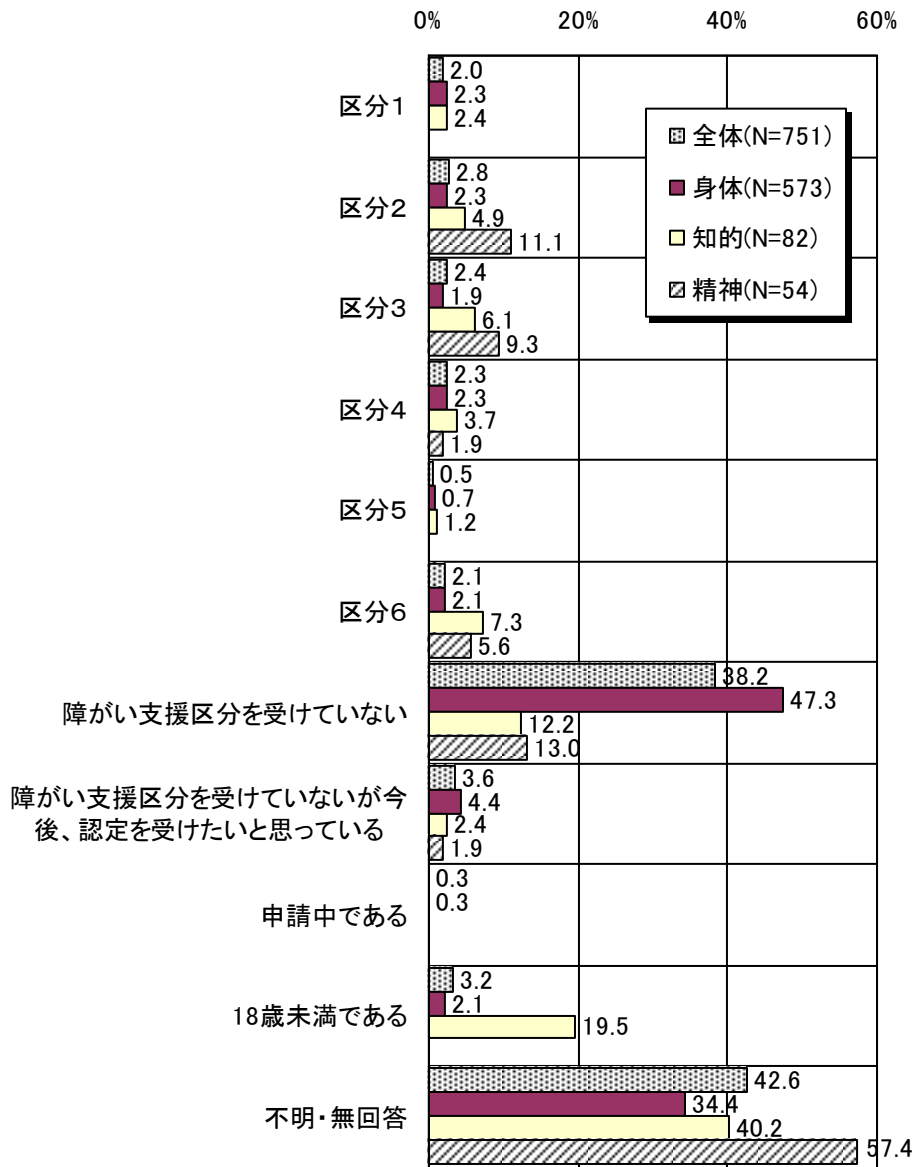
問5 身体障がい者手帳をお持ちの方におうかがいします。身体障がい者手帳に記載された障がいの種類・部位は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

身体障がいの種類・部位では、「下肢」が最も多く、次が「上肢」「心臓機能」といった順になっている。



問6 あなたは、障がい支援区分認定を受けていますか。(1つに○印)

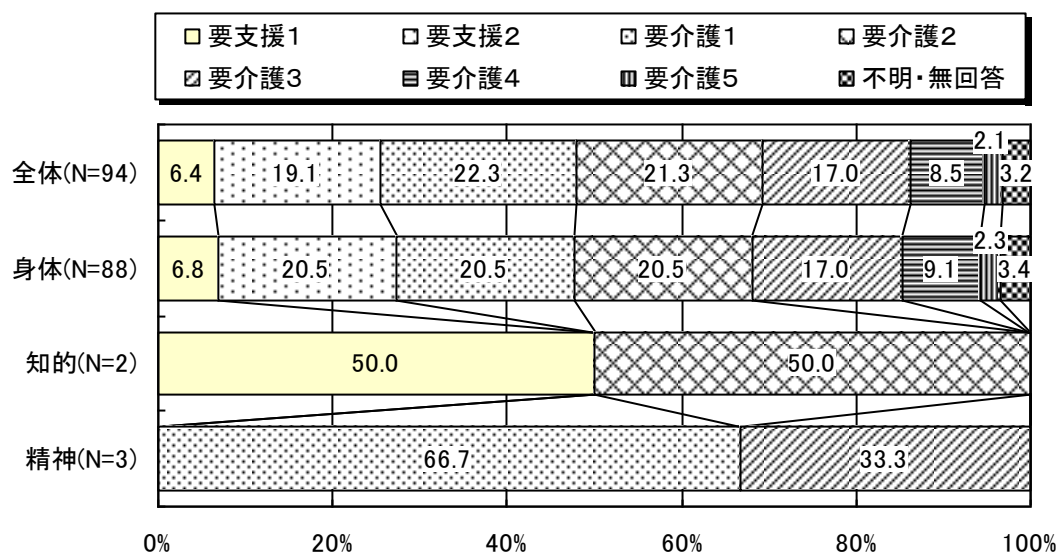
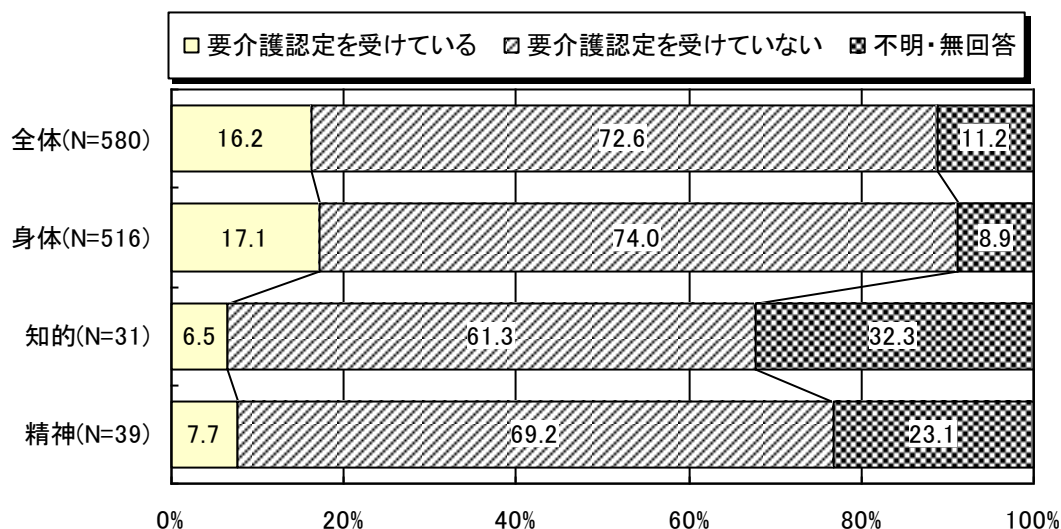
障がい支援区分では、身体障がい者に比べて精神障がい者や知的障がい者のほうが、認定を受けている割合がやや多い。また、知的障がい者では「18歳未満である」と回答した人が最も多い。



問7 40歳以上の方におうかがいします。介護保険の要介護認定を受けていますか。受けている場合は要介護度をお答えください。(1つに○印)

介護保険の要介護認定を受けている人の割合は、身体障がい者17.1%、知的障がい者6.5%、精神障がい者7.7%となっている。

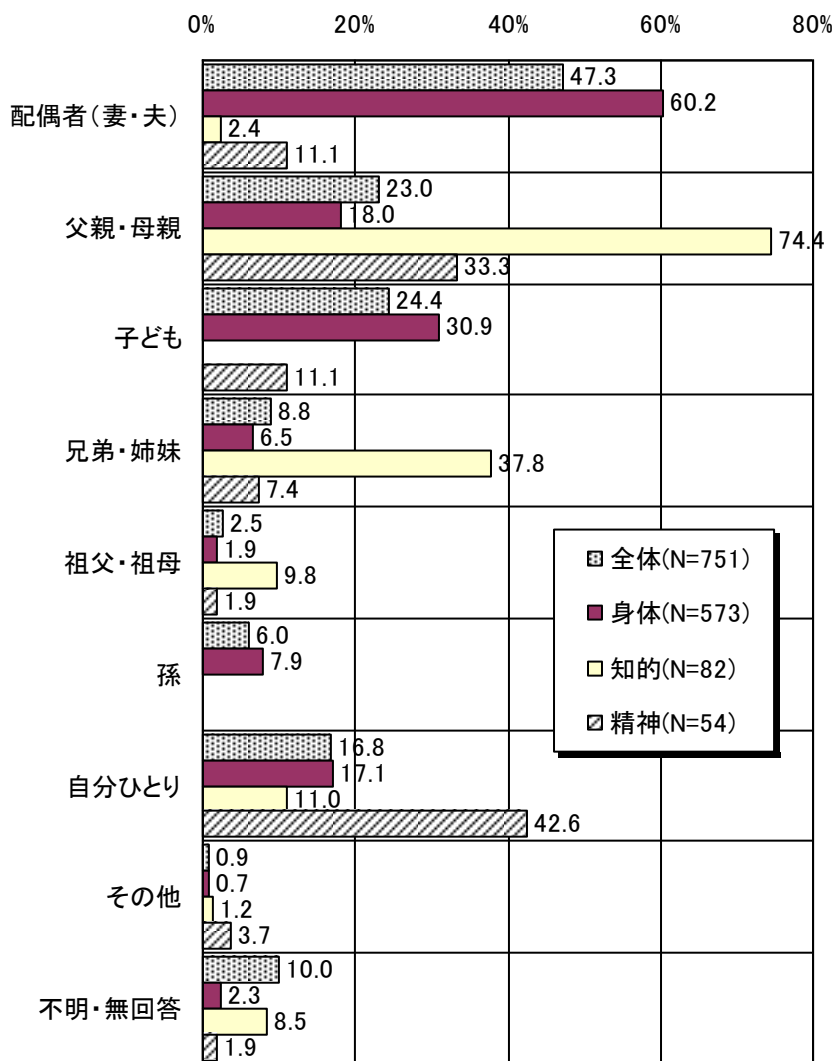
身体障がい者の要介護度を見ると、要介護4および要介護5を合わせた重度介護者は11.4%である。



② あなたの生活のことについておうかがいします。

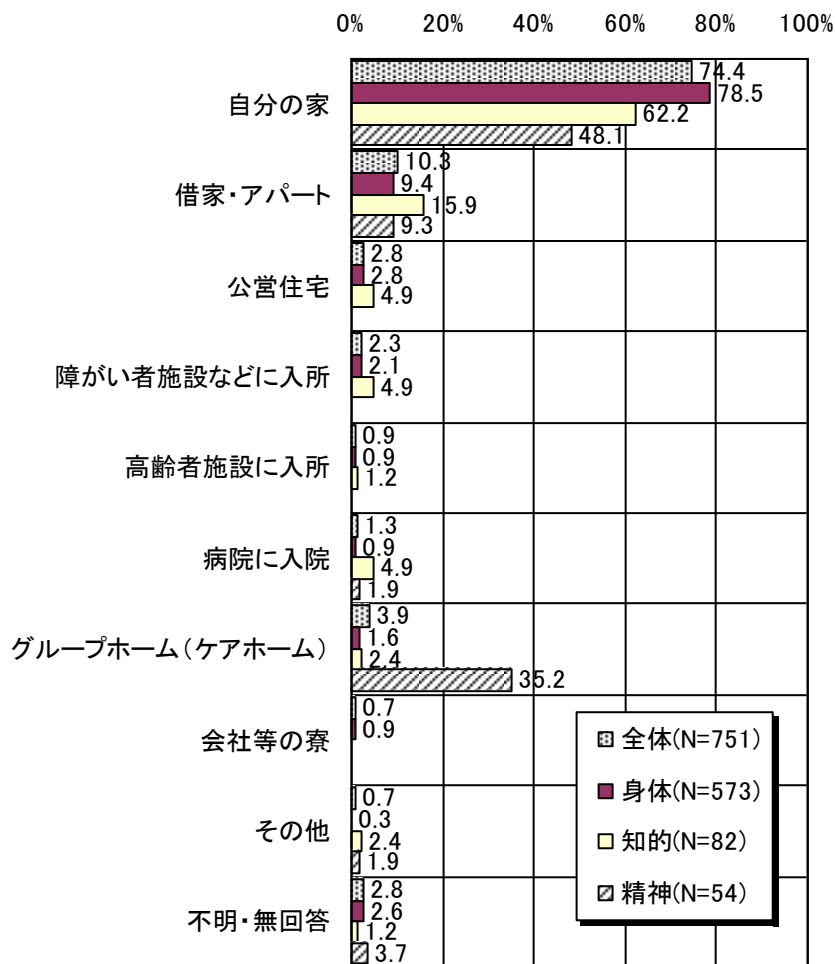
問8 現在、一緒に暮らしている人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○印)

同居している人では、身体障がい者は「配偶者(妻・夫)」、知的障がい者は「父親・母親」、精神障がい者は「自分ひとり」がそれぞれ最も多い。



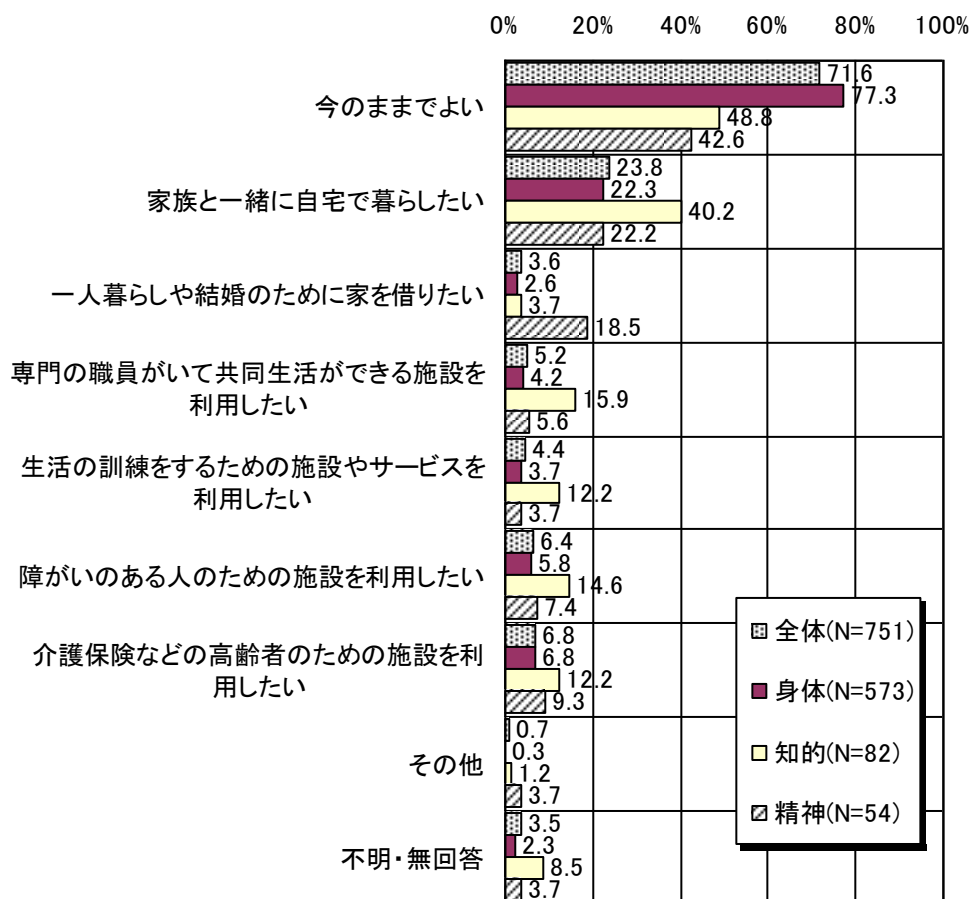
問9 現在のお住まいとして過ごされている場所はどこですか。(1つに○印)

住まいについては、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者とも「自分の家」が最も多い。また、精神障がい者は「グループホーム(ケアホーム)」も多い。



問 10 次にあげるいろいろな住まいのうち、今後、暮らしたいと思うのはどれですか。
 (あてはまるものすべてに○印)

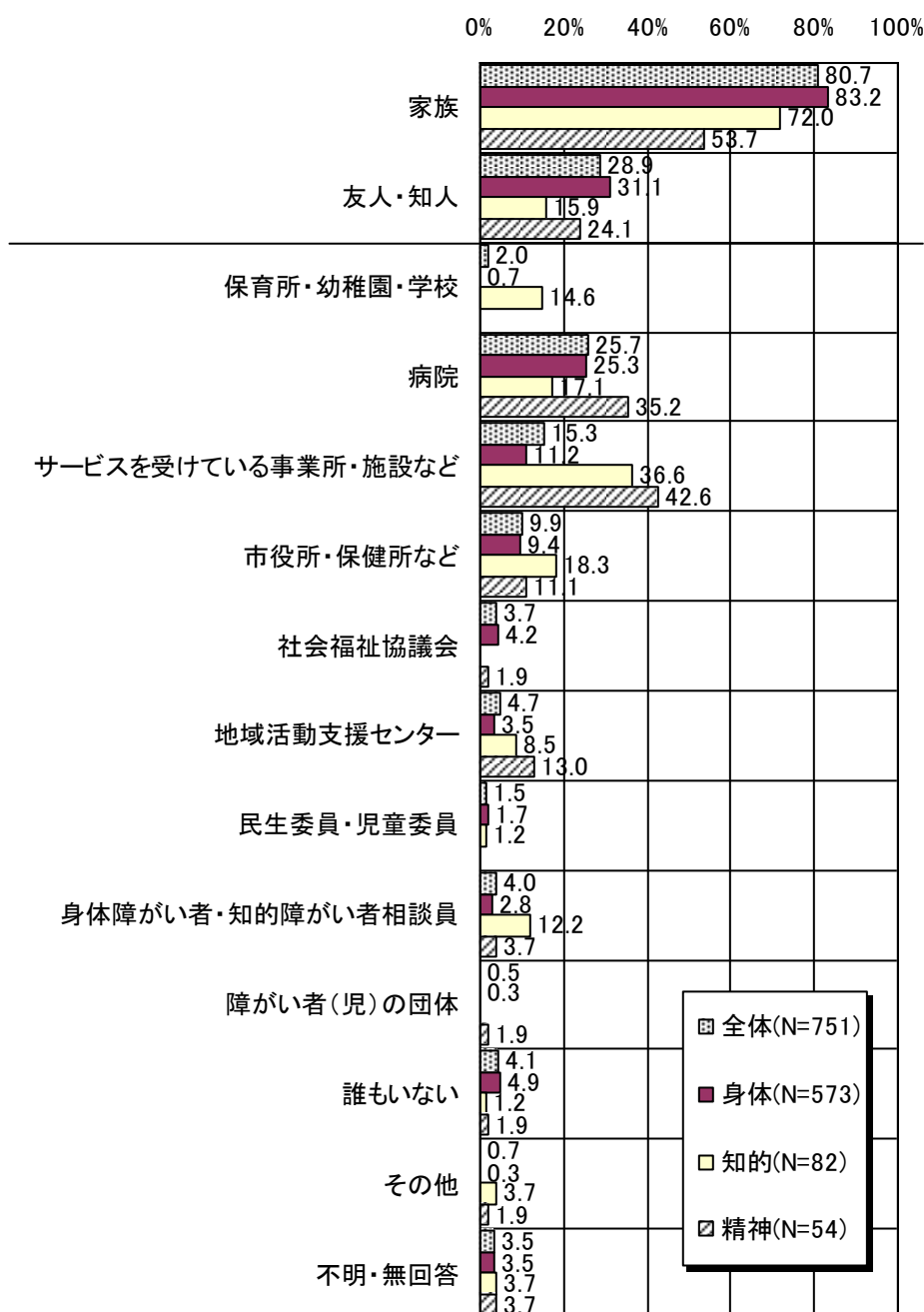
今後の暮らしについては、いずれも「今のままでよい」と回答した人が最も多くなっている。
 また、知的障がい者は「家族と一緒に自宅で暮らしたい」という人も多い。



問 11 悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。(主なもの3つまでに○印)

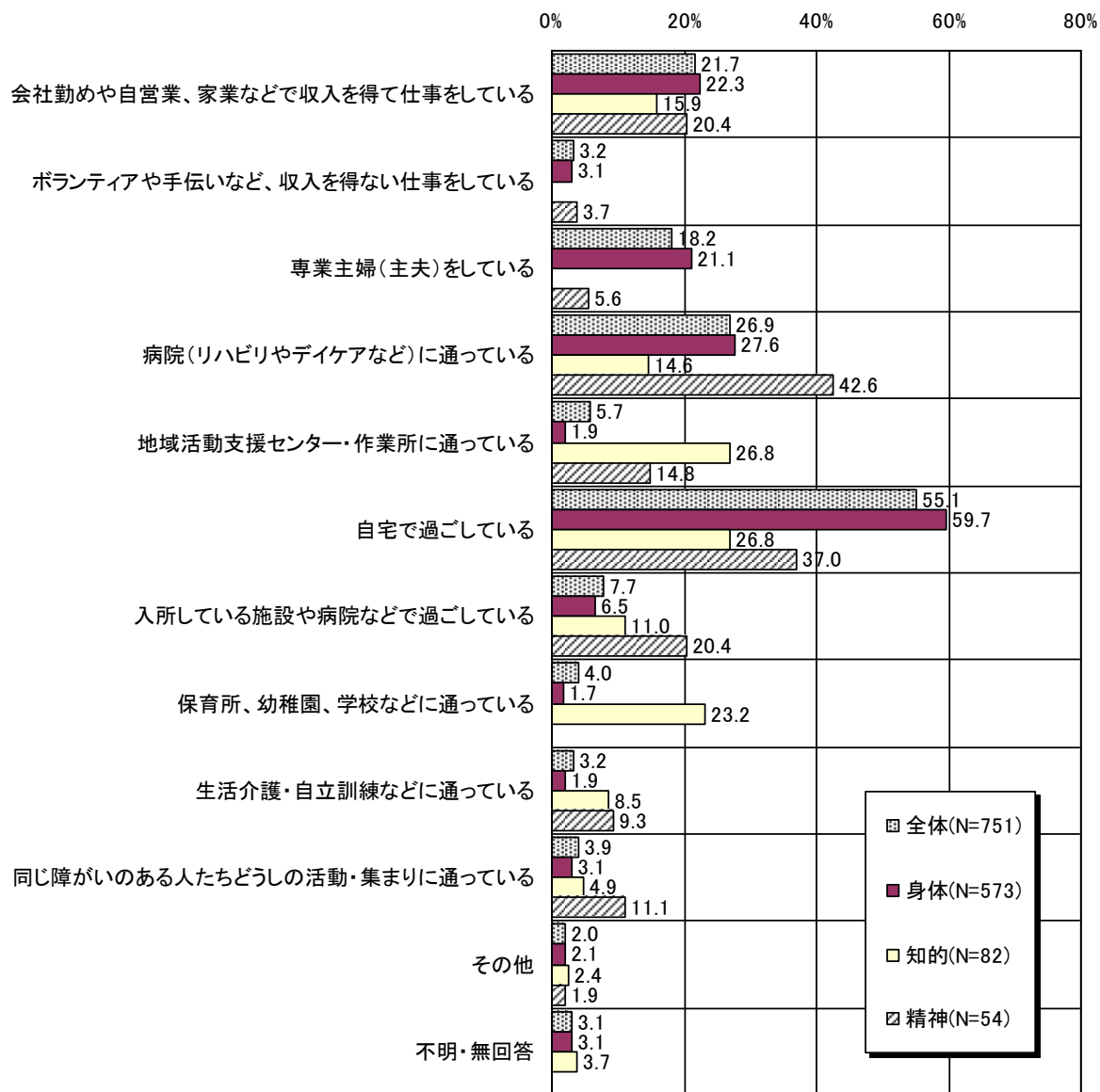
悩みや困ったことの相談相手としては、いずれも「家族」が最も多い。

また、家族や友人・知人を除く相談先としては、身体障がい者は「病院」、知的障がい者は「サービスを受けている事業所・施設など」、精神障がい者は「サービスを受けている事業所・施設など」と「病院」が多い。



問 12 あなたは、日中をどのように過ごしていますか。(主なもの3つまでに○印)

日中の過ごし方は、身体障がい者は「自宅で過ごしている」、知的障がい者は「地域活動支援センター・作業所に通っている」および「自宅で過ごしている」、精神障がい者は「病院（リハビリやデイケアなど）に通っている」がそれぞれ最も多い。

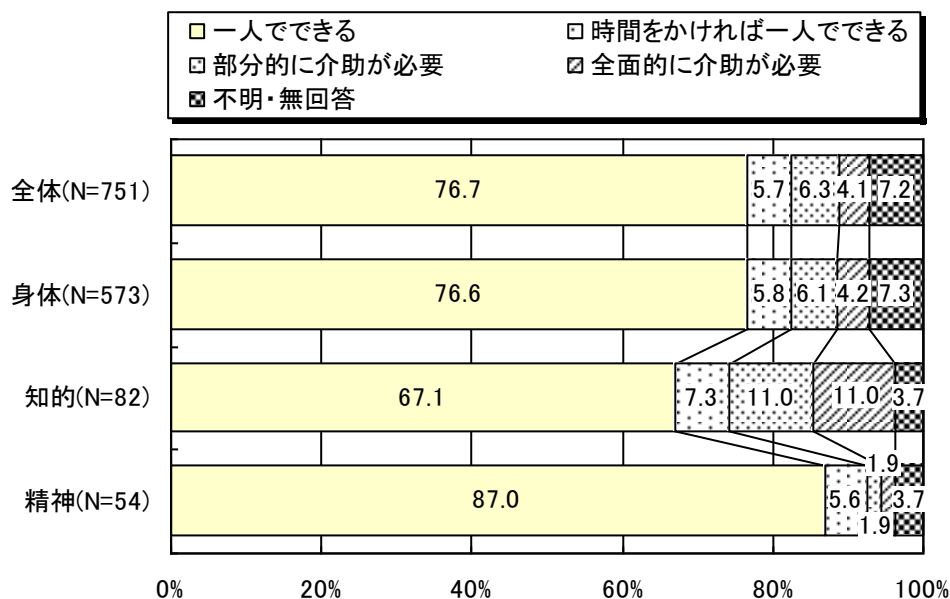


③ 介助についておうかがいします。

問 13 次の（１）から（13）のことをするのに介助が必要ですか。

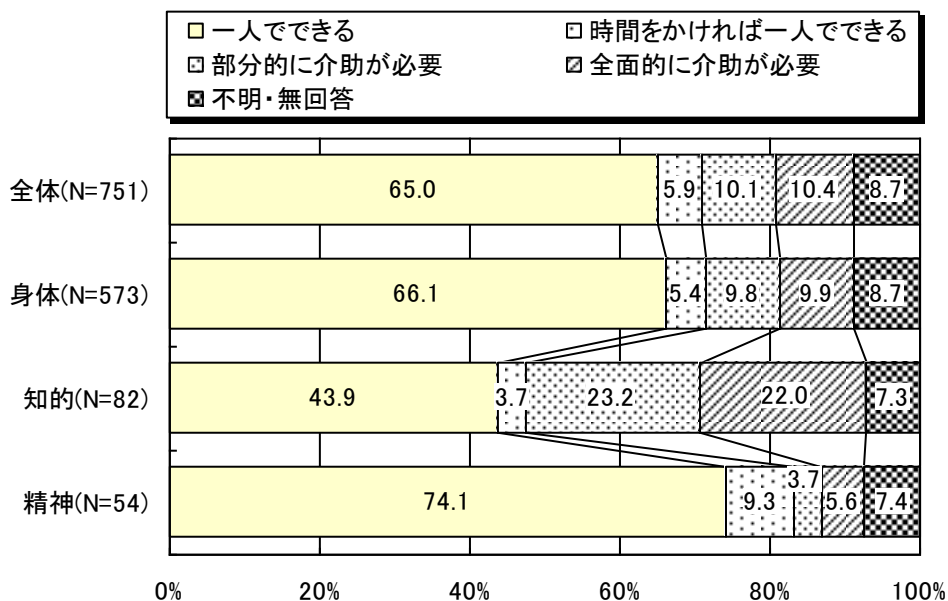
（１）食事

食事について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者 76.7%、知的障がい者 67.1%、精神障がい者 87.0%となっている。



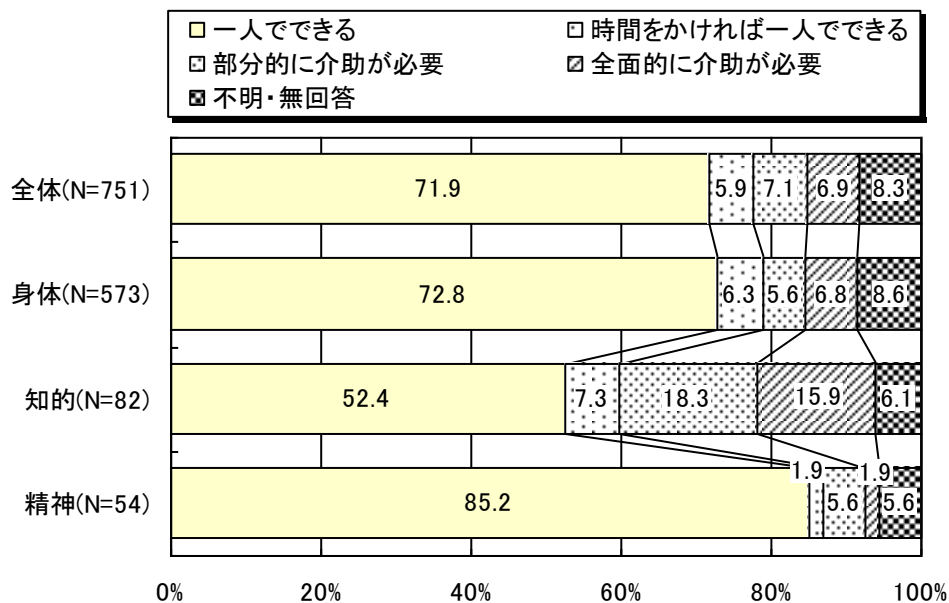
（２）入浴

入浴について「一人でできる」と回答した人は、知的障がい者では 43.9%と半数をやや下回っている。



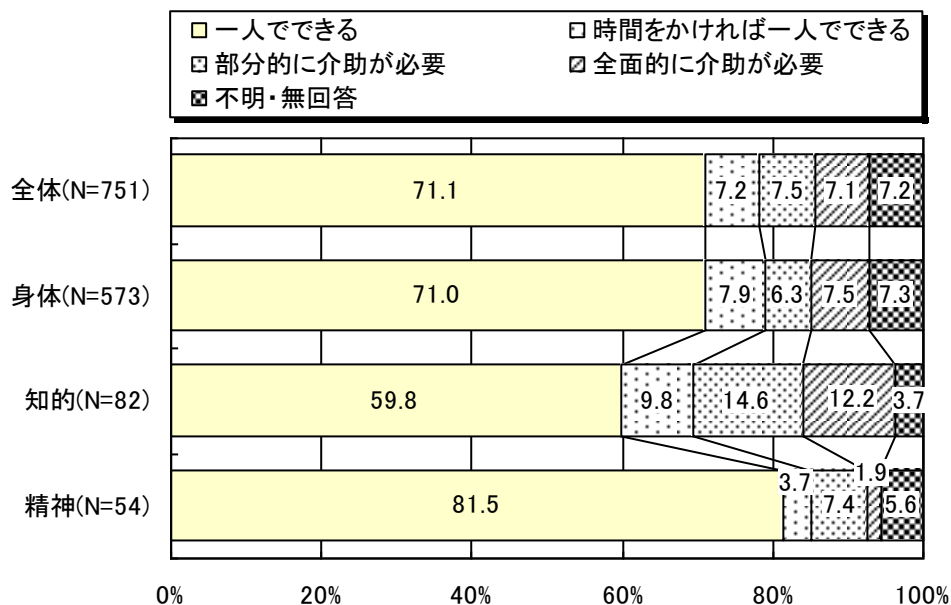
(3) トイレ

トイレについて「一人でできる」と回答した人は、精神障がい者は85.2%と高いのに対して、知的障がい者は52.4%となっている。



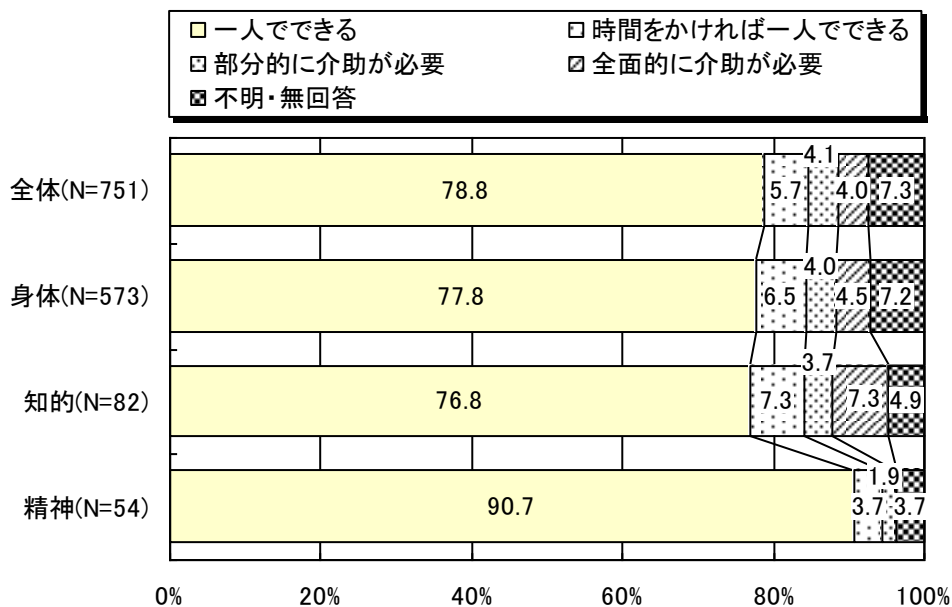
(4) 着がえ

着替えについて「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者71.0%、知的障がい者59.8%、精神障がい者81.5%となっている。



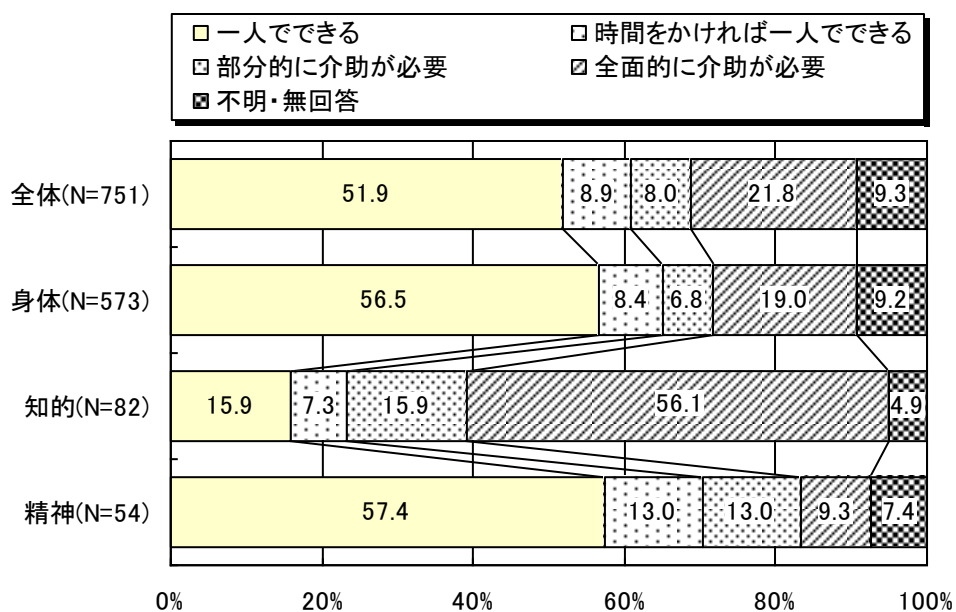
(5) 寝起き・寝返り

寝起き・寝返りについて「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者および知的障がい者はほぼ同じような割合であり、精神障がい者は90.7%と高い。



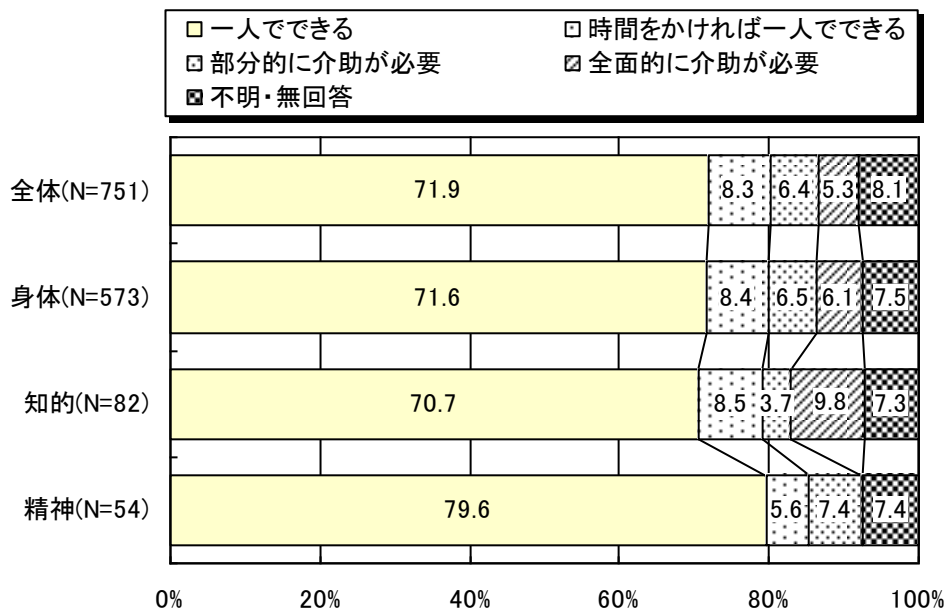
(6) 洗濯・炊事など家事

洗濯・炊事などの家事について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者56.5%、精神障がい者57.4%である。一方、知的障がい者は「全面的に介助が必要」と回答した人が56.1%で半数以上となっている。



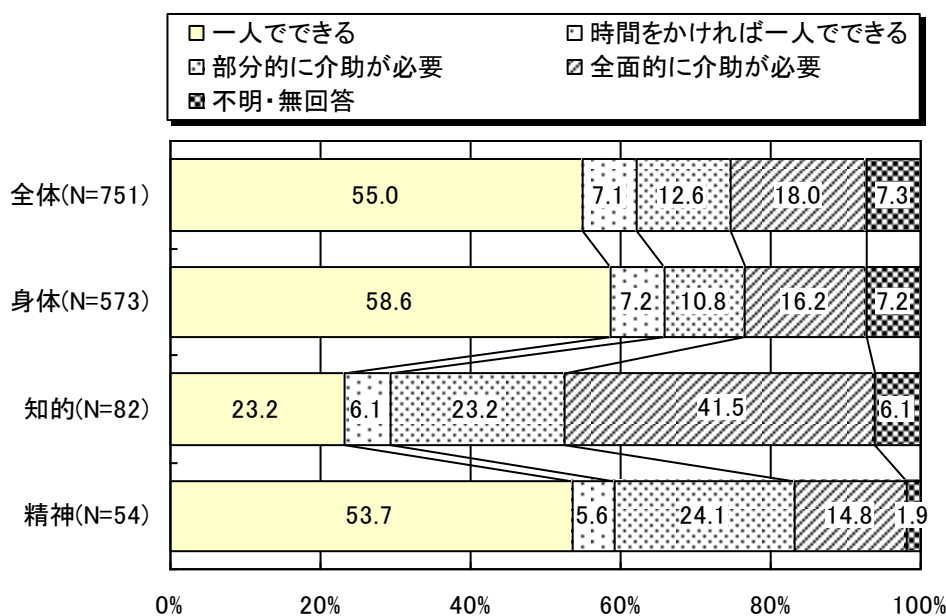
(7) 家の中の移動

家の中の移動について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者 71.6%、知的障がい者 70.7%、精神障がい者 79.6%と比較的高い割合となっている。



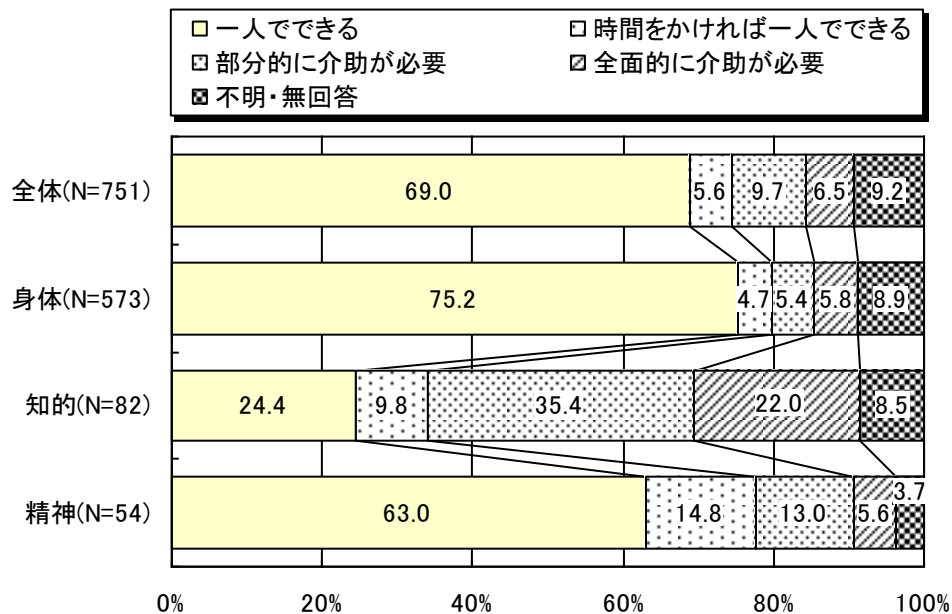
(8) 外出（買い物、通院など）

外出について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者 58.6%、精神障がい者 53.7%であるのに対して、知的障がい者は「全面的に介助が必要」と回答した人が 41.5%で最も多くなっている。



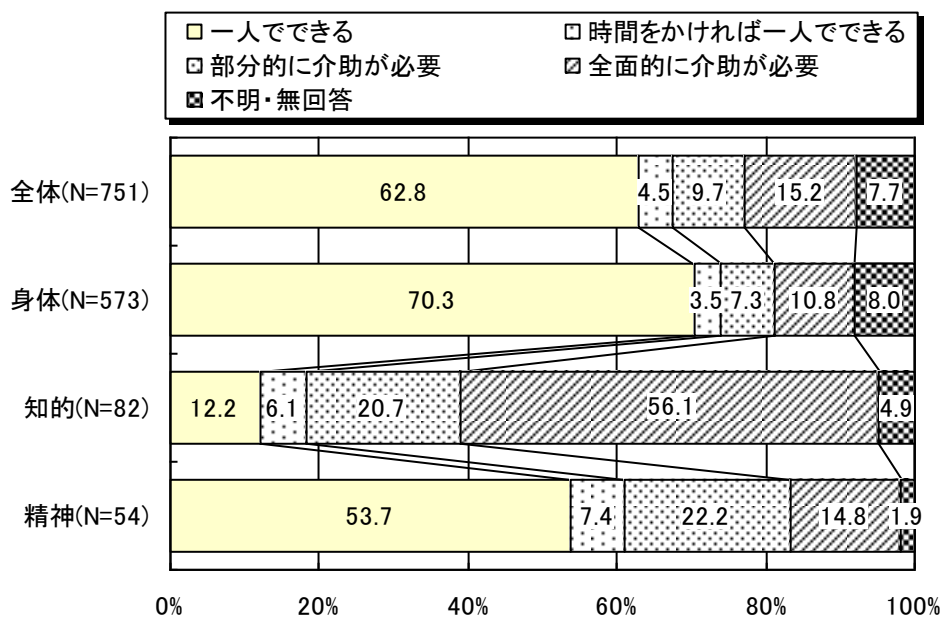
(9) 意思の伝達

意思の伝達について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者 75.2%、精神障がい者 63.0%であるのに対して、知的障がい者は「部分的に介助が必要」と回答した人が 35.4%で最も多い。



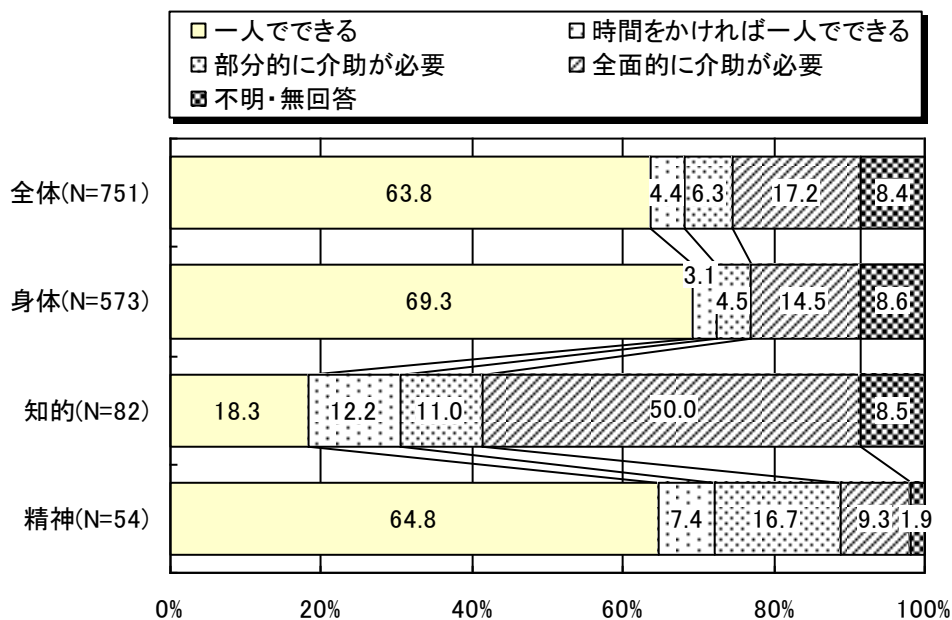
(10) お金の管理

お金の管理について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者 70.3%、精神障がい者 53.7%であるのに対して、知的障がい者は「全面的に介助が必要」と回答した人が 56.1%と半数以上となっている。



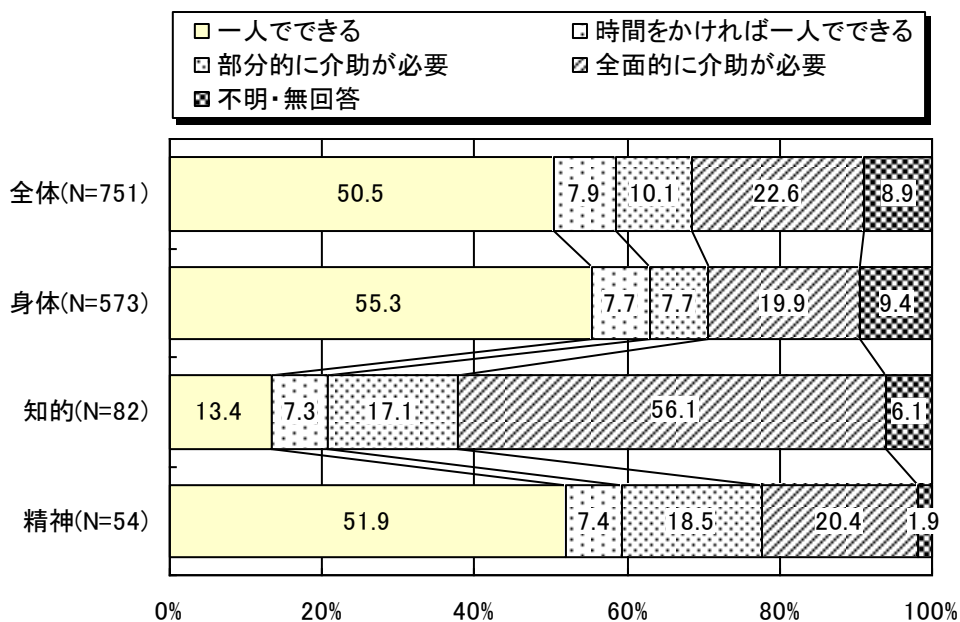
(11) 戸締まり・火の始末

戸締まり・火の始末について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者 69.3%、精神障がい者 64.8%であるのに対して、知的障がい者は「全面的に介助が必要」と回答した人が 50.0%となっている。



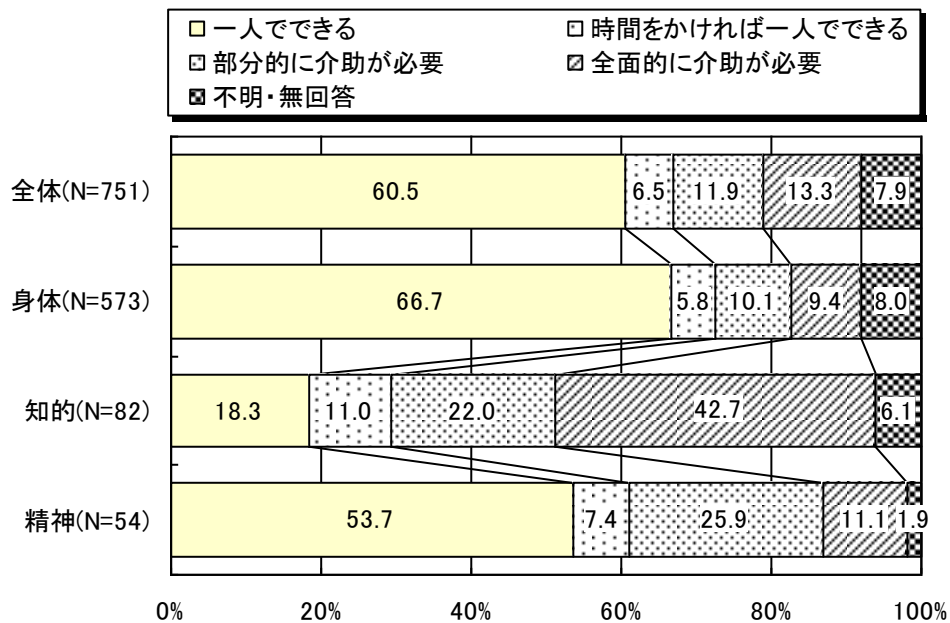
(12) 緊急時の避難・連絡

緊急時の避難・連絡について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者 55.3%、精神障がい者 51.9%であるのに対して、知的障がい者は「全面的に介助が必要」と回答した人が 56.1%と半数以上となっている。



(13) 健康管理（食事・服薬）

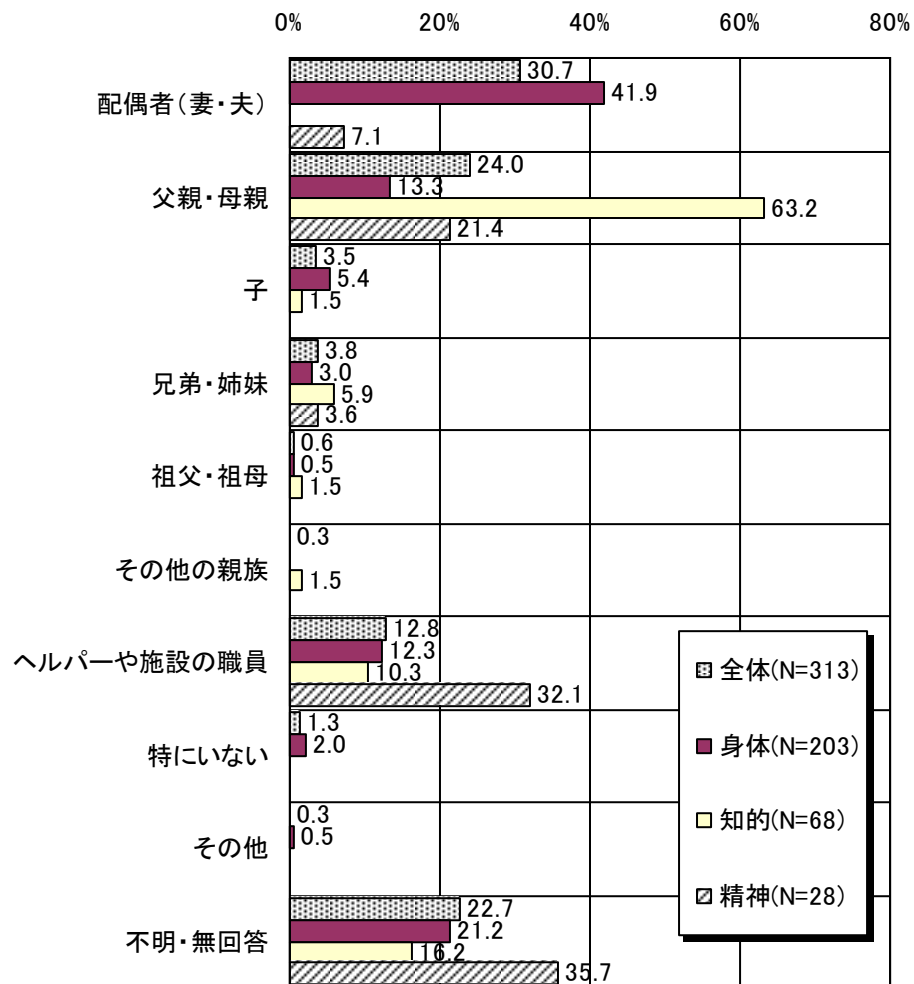
健康管理について「一人でできる」と回答した人は、身体障がい者 66.7%、精神障がい者 53.7% であるのに対して、知的障がい者は「全面的に介助が必要」と回答した人が 42.7%、「部分的に介助が必要」とした人が 22.0%となっている。



【問13で「3」または「4」に○をした、介助が必要な方におうかがいします。】

問13-（1）主な介助者は誰ですか。（1つに○印）

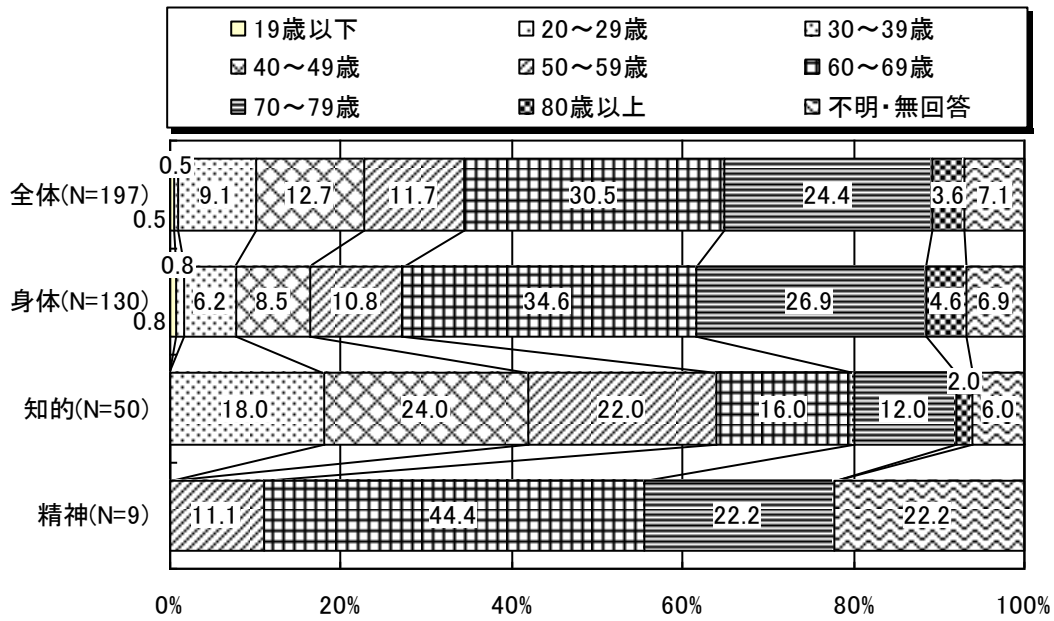
主な介助者は、身体障がい者では「配偶者」、知的障がい者は「父親・母親」、精神障がい者は「ヘルパーや施設の職員」が、それぞれ最も多い。



【問 13-（1）で「1」から「6」に○をした方におうかがいします。】

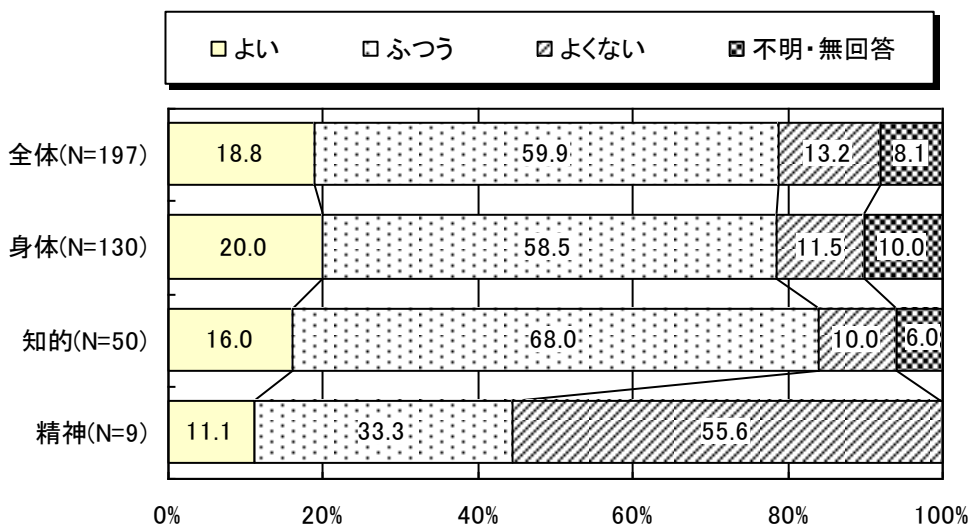
問 13-（2）主な介助者の年齢は8月1日現在、満何歳ですか。数字をご記入ください。

主な介助者の年齢は、身体障がい者および精神障がい者は「60～69歳」、知的障がい者は「40～49歳」がそれぞれ最も多い。



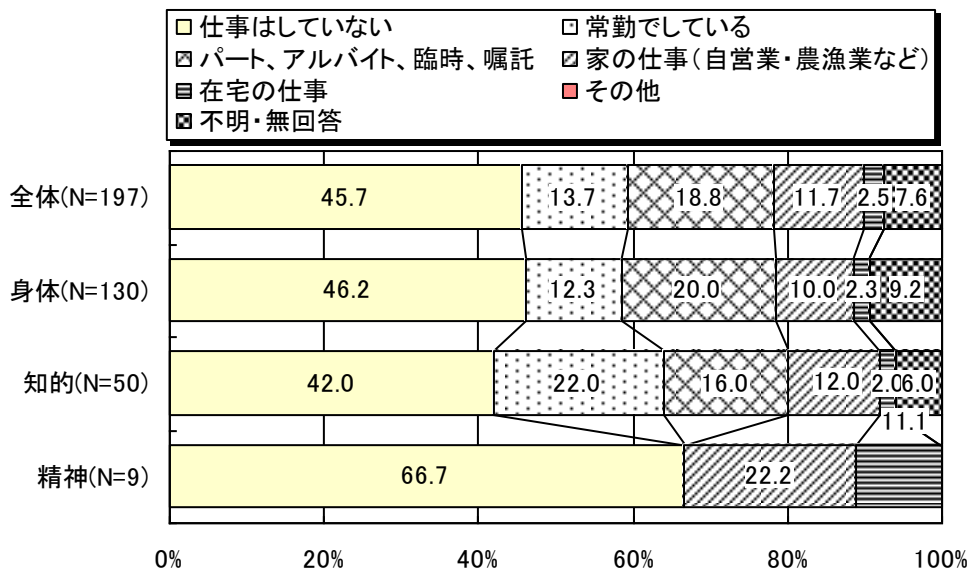
問 13-（3）主な介助者の健康状態についておうかがいします。

主な介助者の健康状態は、「よくない」と回答した人は身体障がい者 11.5%、知的障がい者 10.0%であるのに対して、精神障がい者は 55.6%となっている。



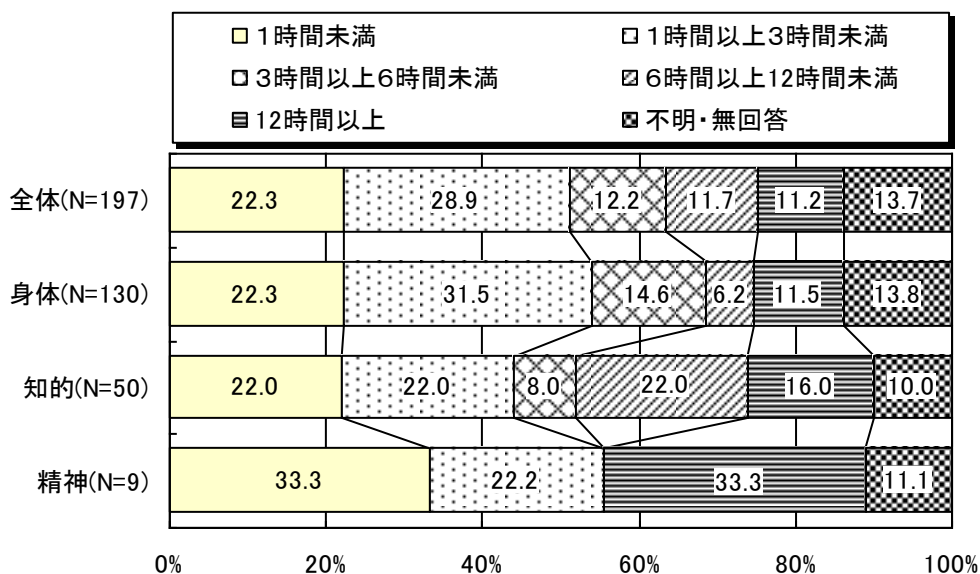
問 13- (4) 主な介助（介護）をしている方は仕事をされていますか。（1つに○印）

主な介助（介護）をしている人の就労状況をみると、「仕事はしていない」と回答した人は、身体障がい者 46.2%、知的障がい者 42.0%、精神障がい者 66.7%となっている。



問 13- (5) 主に介助（介護）をしている方は、1日平均何時間くらい介助（介護）をしていますか。（1つに○印）

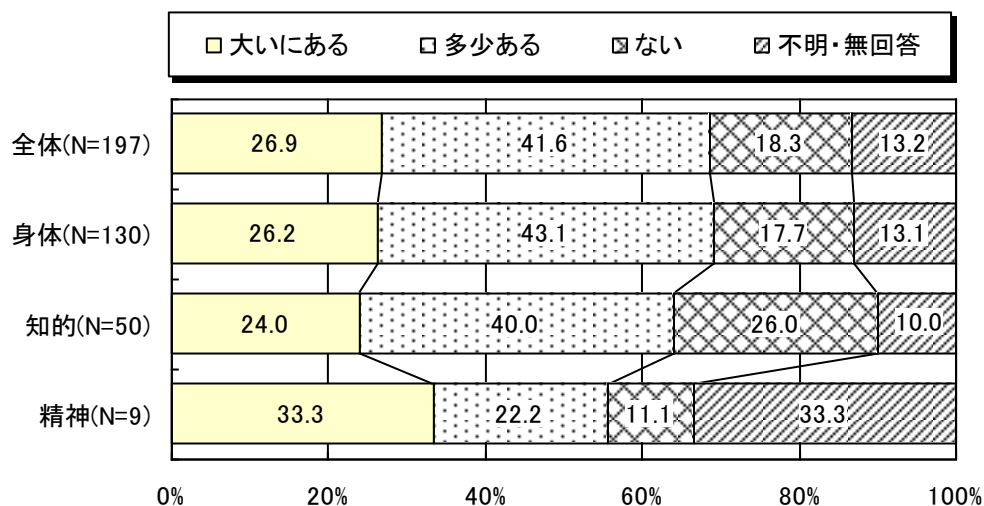
1日の平均介助（介護）時間は、身体障がい者は「1時間以上3時間未満」が最も多く、知的障がい者は6時間以上の割合が、身体障がい者よりも多い。精神障がい者では「1時間未満」と「12時間以上」が同じ割合となっている。



問 13- (6) 介助者として、次のうちあてはまるものは何ですか。

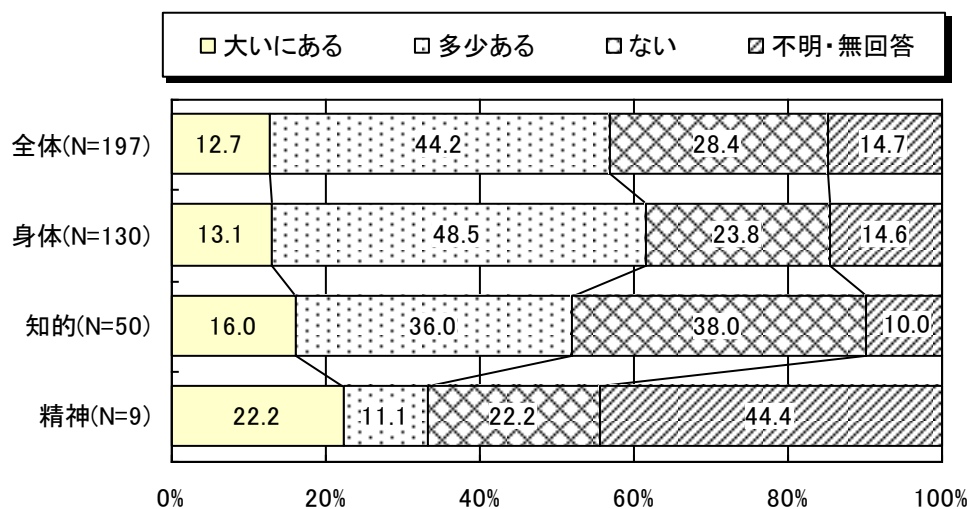
1. 医療費や交通費などの経済的負担

「大いにある」と回答した人は、身体障がい者 26.2%、知的障がい者 24.0%、精神障がい者 33.3%となっている。



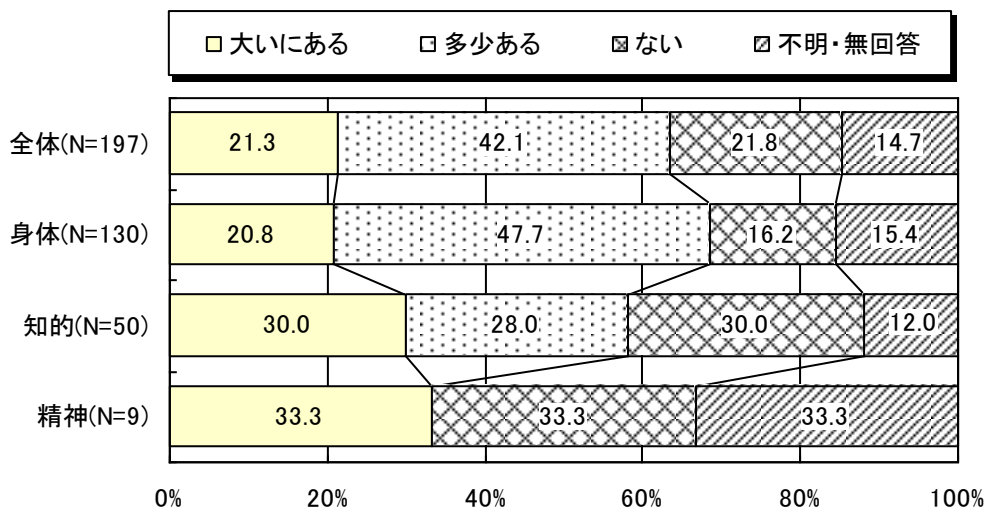
2. 本人の介助で仕事や家事ができない本人の介助で仕事や家事ができない

「大いにある」と回答した人は、身体障がい者 13.1%、知的障がい者 16.0%、精神障がい者 22.2%となっている。



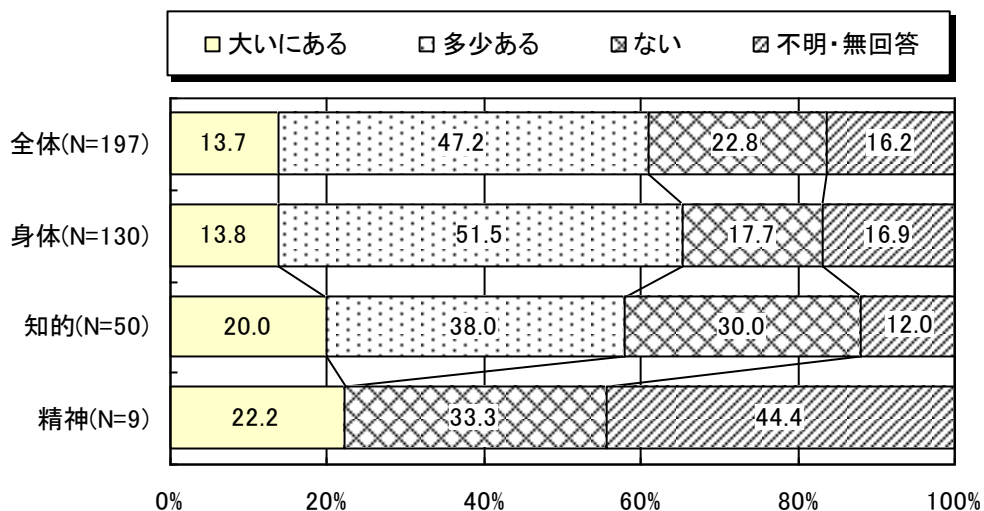
3. 自由に外出ができない

「大いにある」と回答した人は、身体障がい者 20.8%、知的障がい者 30.0%、精神障がい者 33.3%となっている。



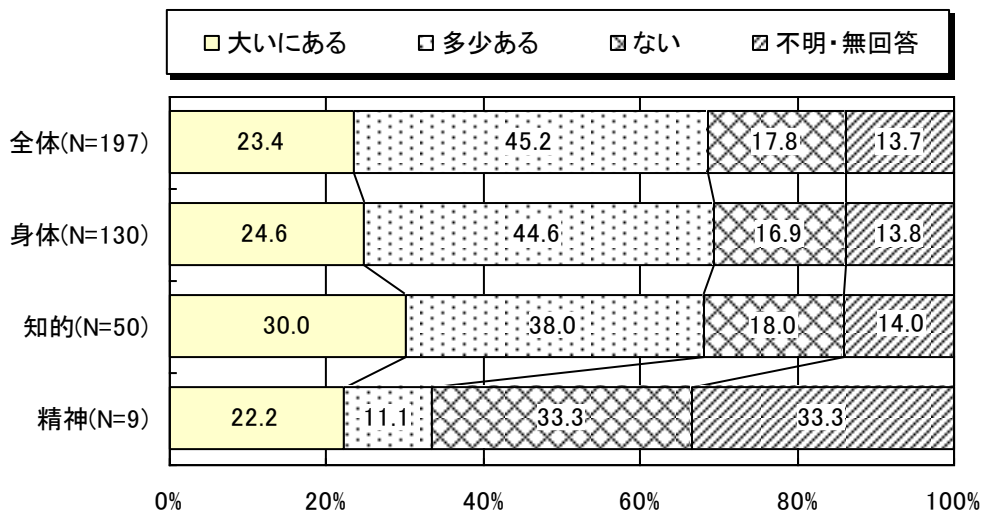
4. 本人の介助で自分の時間が持てない本人の介助で自分の時間が持てない

「大いにある」と回答した人は、身体障がい者 13.8%、知的障がい者 20.0%、精神障がい者 22.2%となっている。



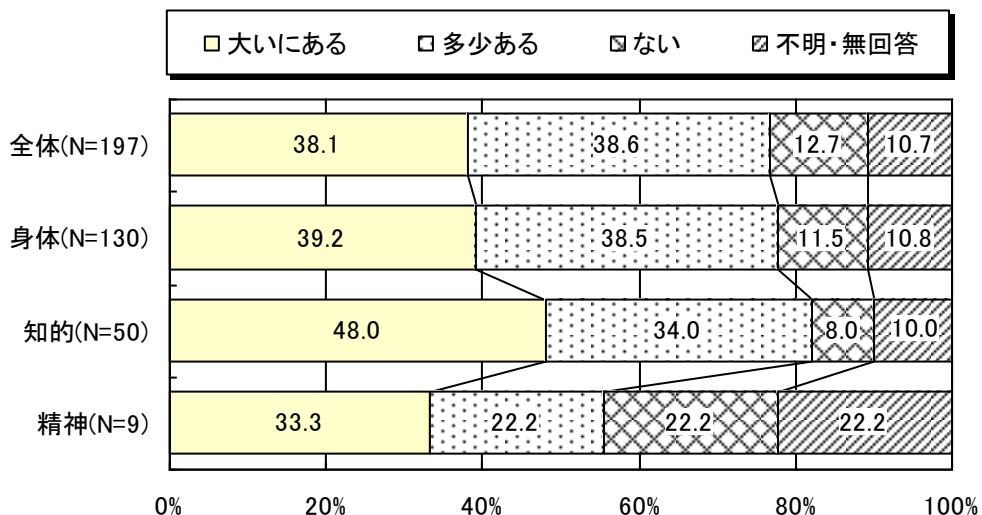
5. 心身ともに疲れる

「大いにある」と回答した人は、身体障がい者 24.6%、知的障がい者 30.0%、精神障がい者 22.2%となっている。



6. 将来の見通しがたてられない

「大いにある」と回答した人は、身体障がい者 39.2%、知的障がい者 48.0%、精神障がい者 33.3%であり、特に知的障がい者で高い割合となっている。



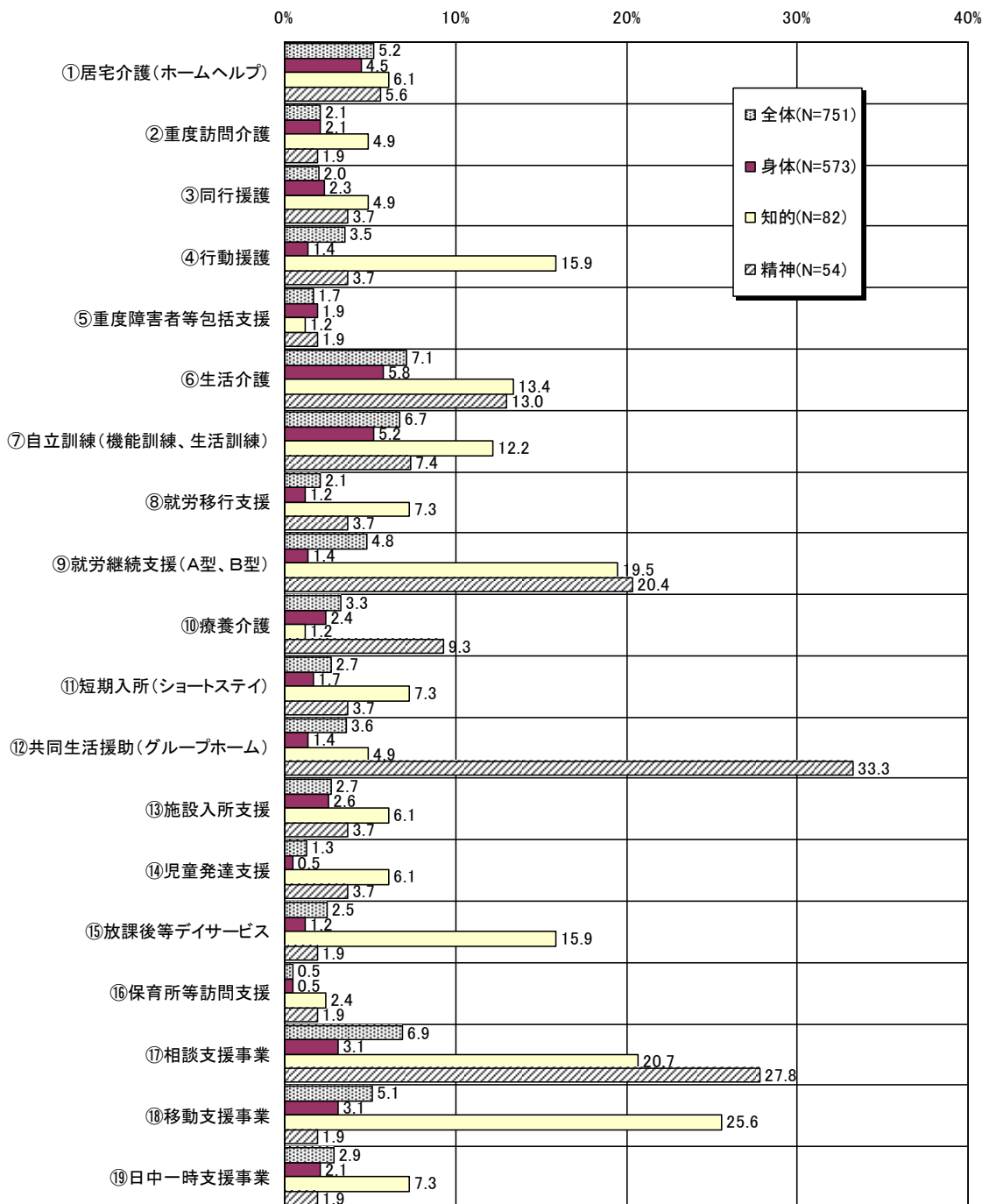
④ 福祉サービスについておうかがいします。

問 14 以下の各種サービスについて、利用していますか、また今後利用したいですか。

(①から⑱のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○印)

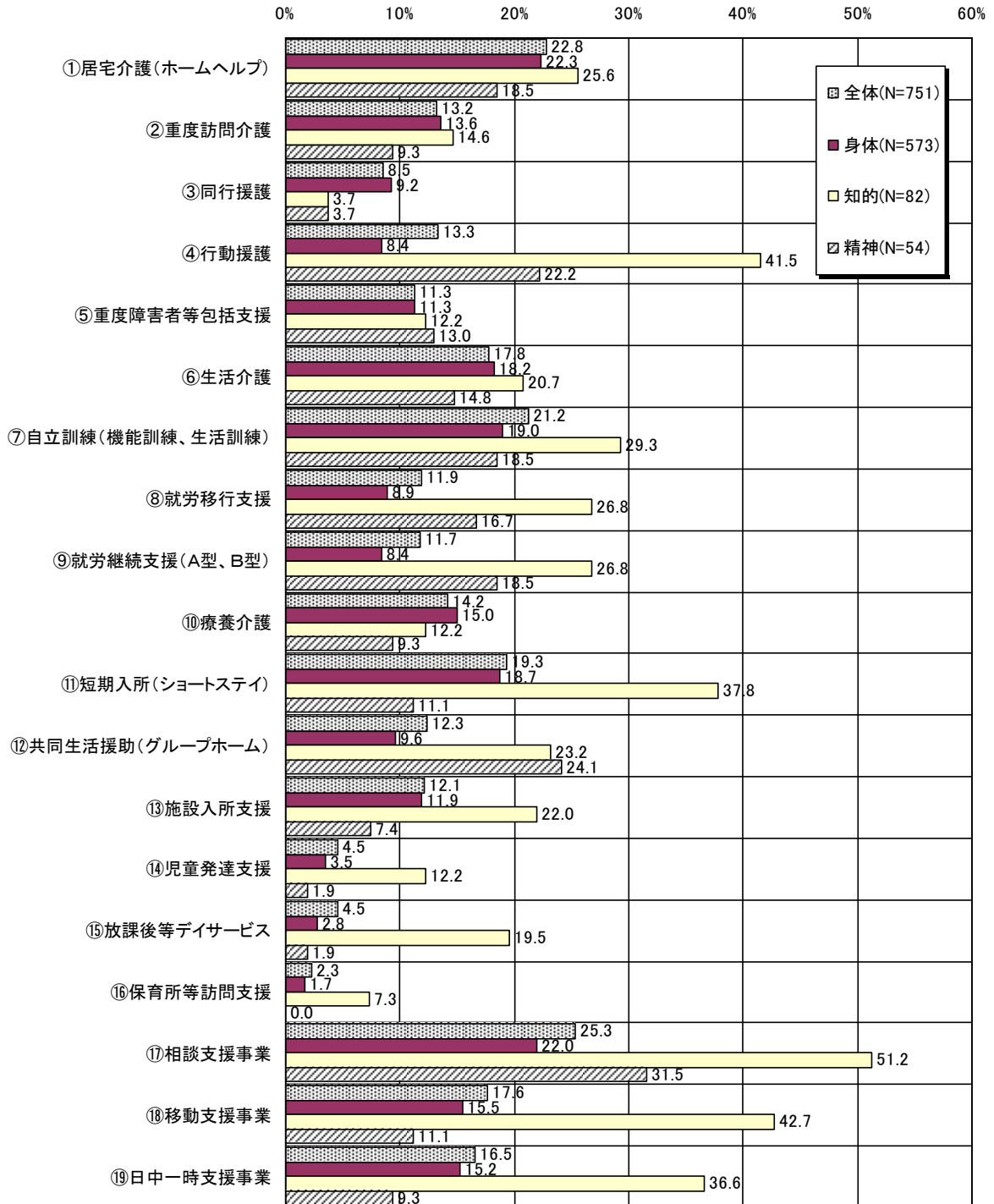
■ 現在利用しているもの

障がい福祉サービスで利用しているものとしては、身体障がい者は「⑥生活介護」「⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）、知的障がい者は「⑱移動支援事業」「⑰相談支援事業」、精神障がい者は「⑫共同生活援助（グループホーム）」、「⑰相談支援事業」などが多い。



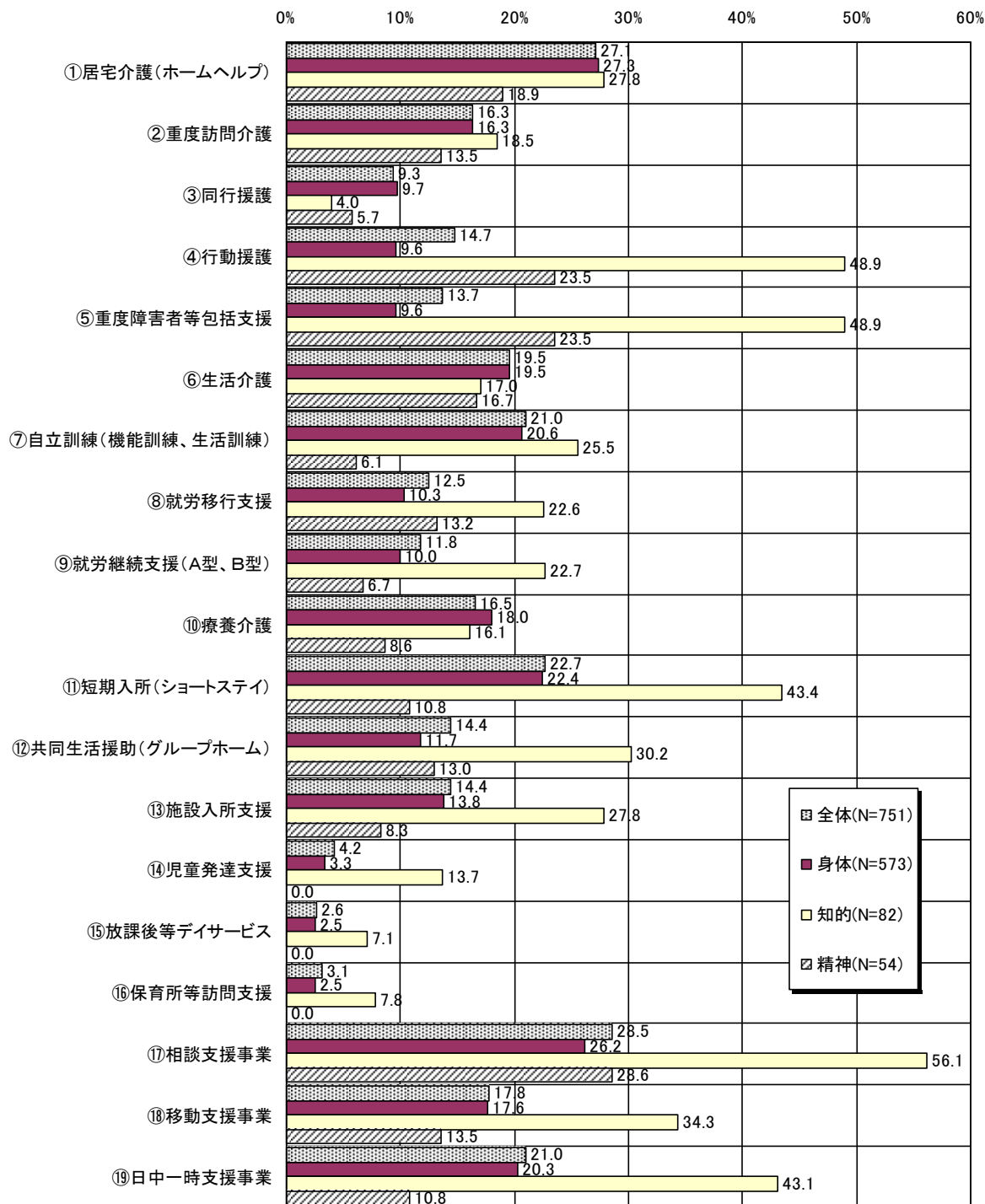
■ 今後利用したいもの

今後利用したいサービスとしては、身体障がい者は「①居宅介護（ホームヘルプ）」「⑰相談支援事業」「⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）、知的障がい者は「⑰相談支援事業」「⑱移動支援事業」「④行動援護」、精神障がい者は「⑰相談支援事業」「⑫共同生活援助（グループホーム）」「④行動援護」などが多い。



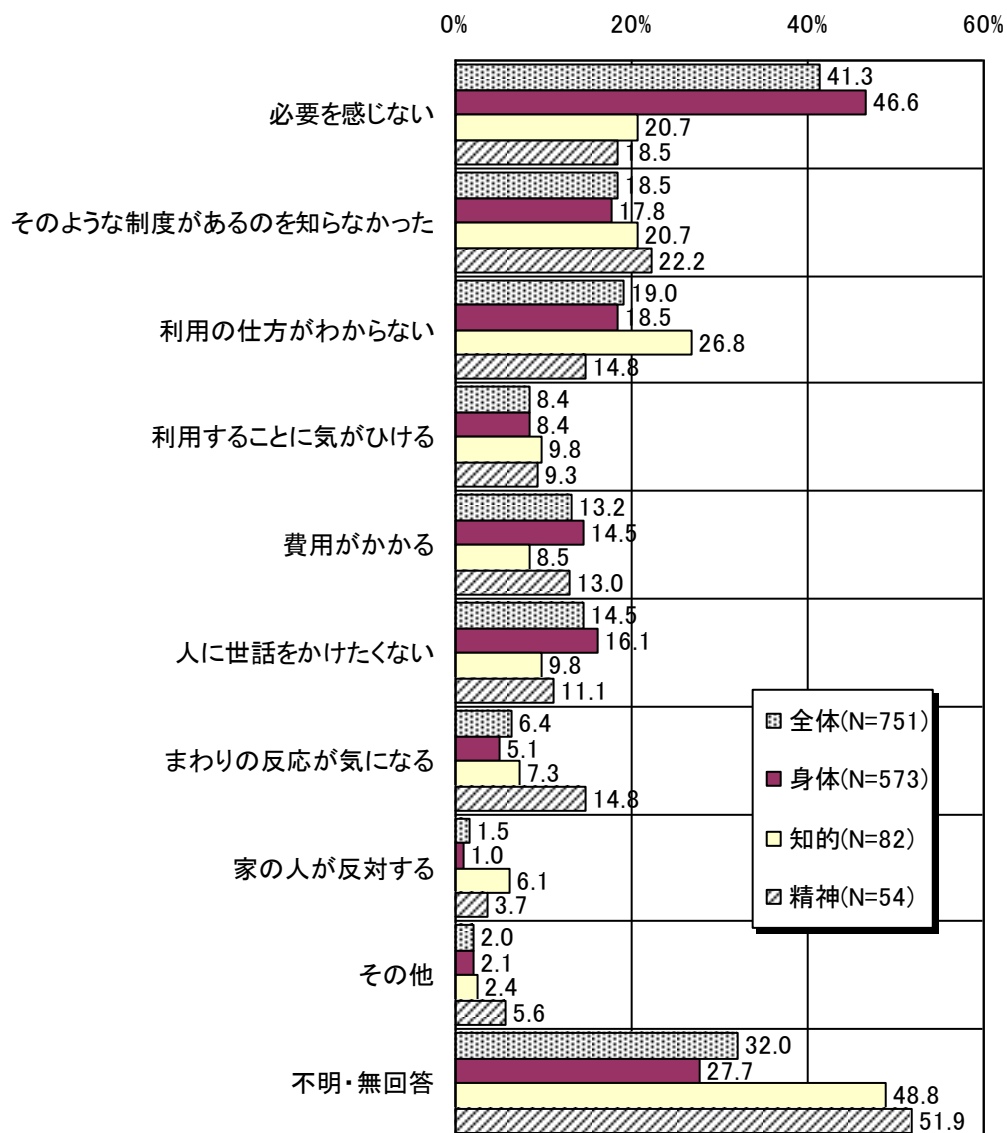
■現在利用していない×今後利用したい（クロス集計）

現在利用していないサービスで今後利用したいと答えた割合をみると、身体障がい者は「①居宅介護（ホームヘルプ）」「⑰相談支援事業」、知的障がい者は「⑰相談支援事業」「④行動援護」「⑤重度障がい者等包括支援」、精神障がい者も「⑰相談支援事業」「④行動援護」「⑤重度障がい者等包括支援」などが多い。



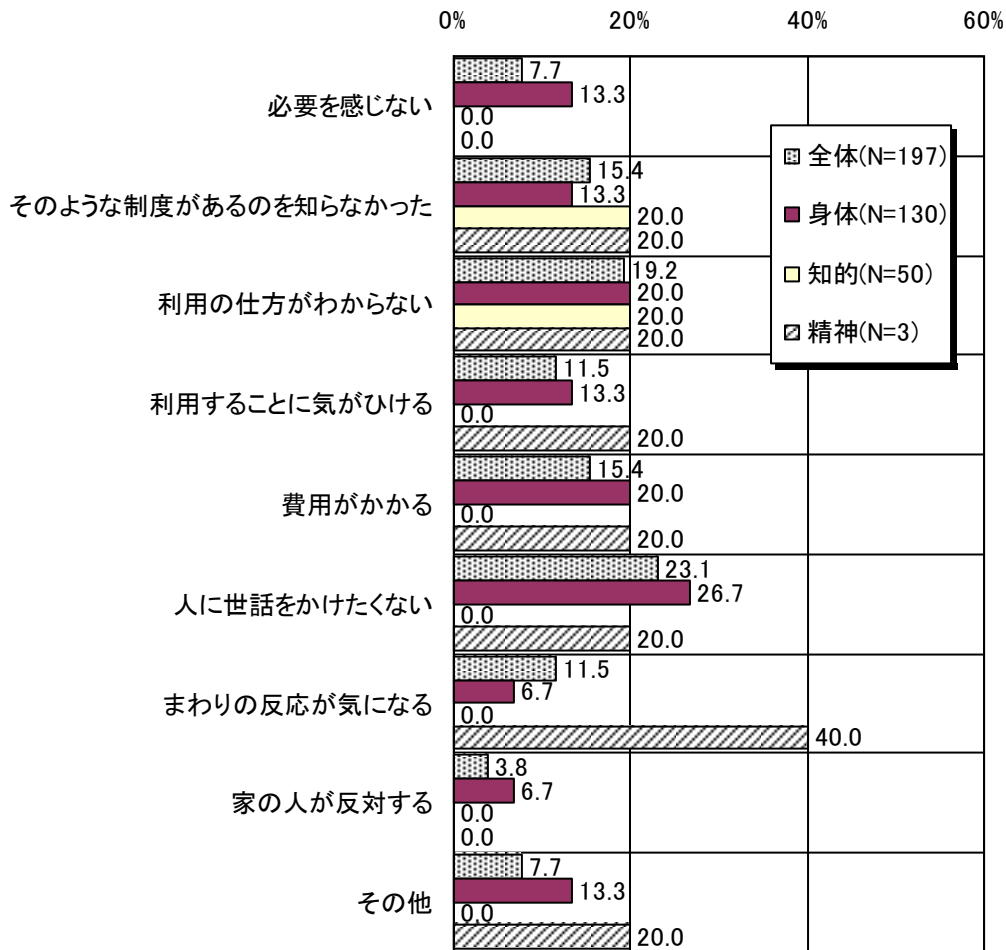
問 15 障がいのある人のための制度やサービスをあまり利用されていない方におうかがいします。制度やサービスを利用されない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

障がい者のための制度やサービスを利用していない理由としては、身体障がい者は「必要を感じない」、知的障がい者は「利用の仕方がわからない」、精神障がい者は「そのような制度があるのを知らなかった」と回答した人がそれぞれ最も多い。



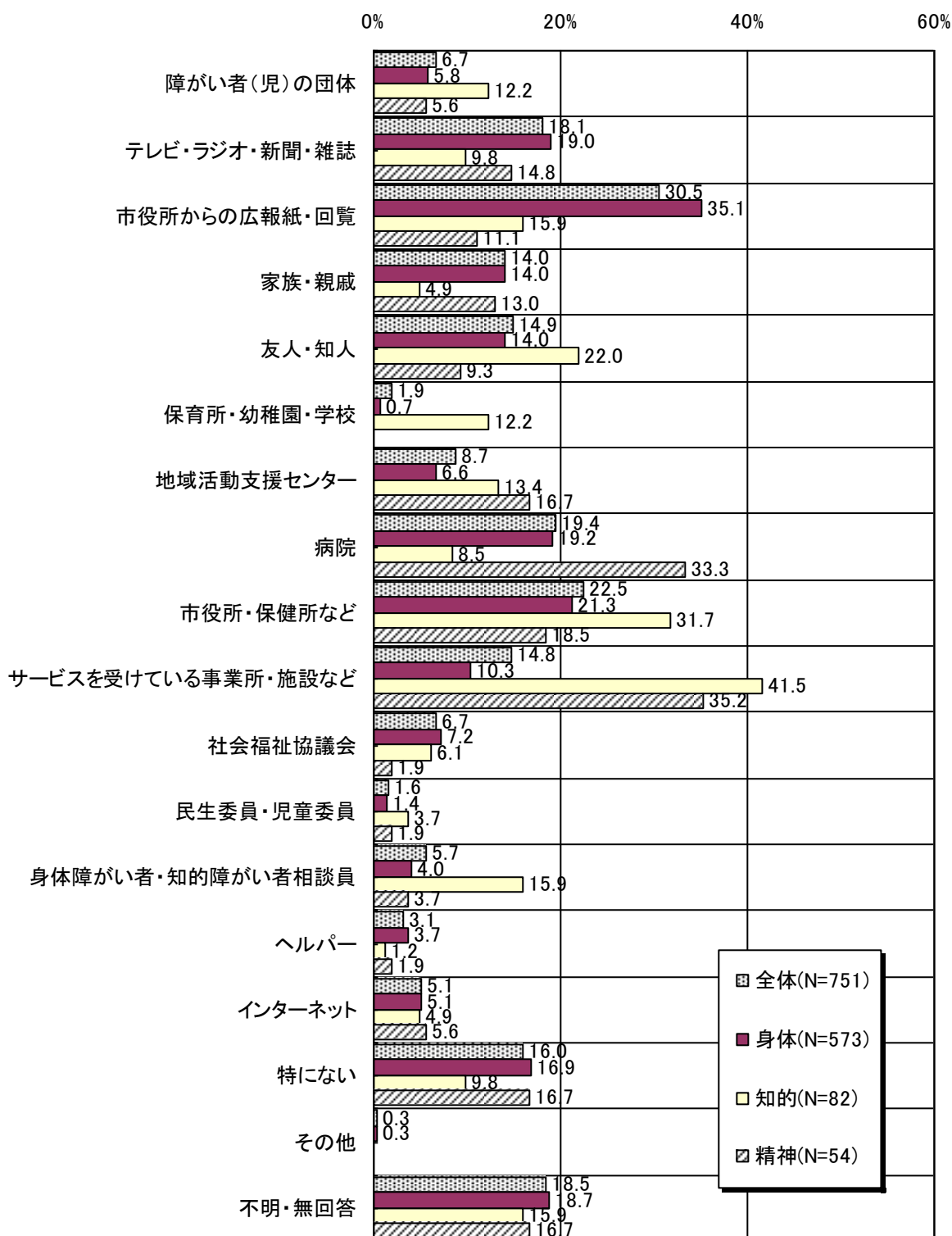
■問 13-（3）主な介助者の健康状態×問 15 サービスを利用していない理由（クロス集計）

主な介助者の健康状態について「よくない」と回答した人について、障がい者のための制度やサービスを利用していない理由をみると、身体障がい者では「人に世話をかけたくない」が最も多く、知的障がい者は「そのような制度があるのを知らなかった」「利用の仕方がわからない」などの回答であった。（精神障がい者は母数が3人と少ないため分析せず。）



問 16 サービスに関する情報をどこから入手していますか。(主なもの5つまでに○印)

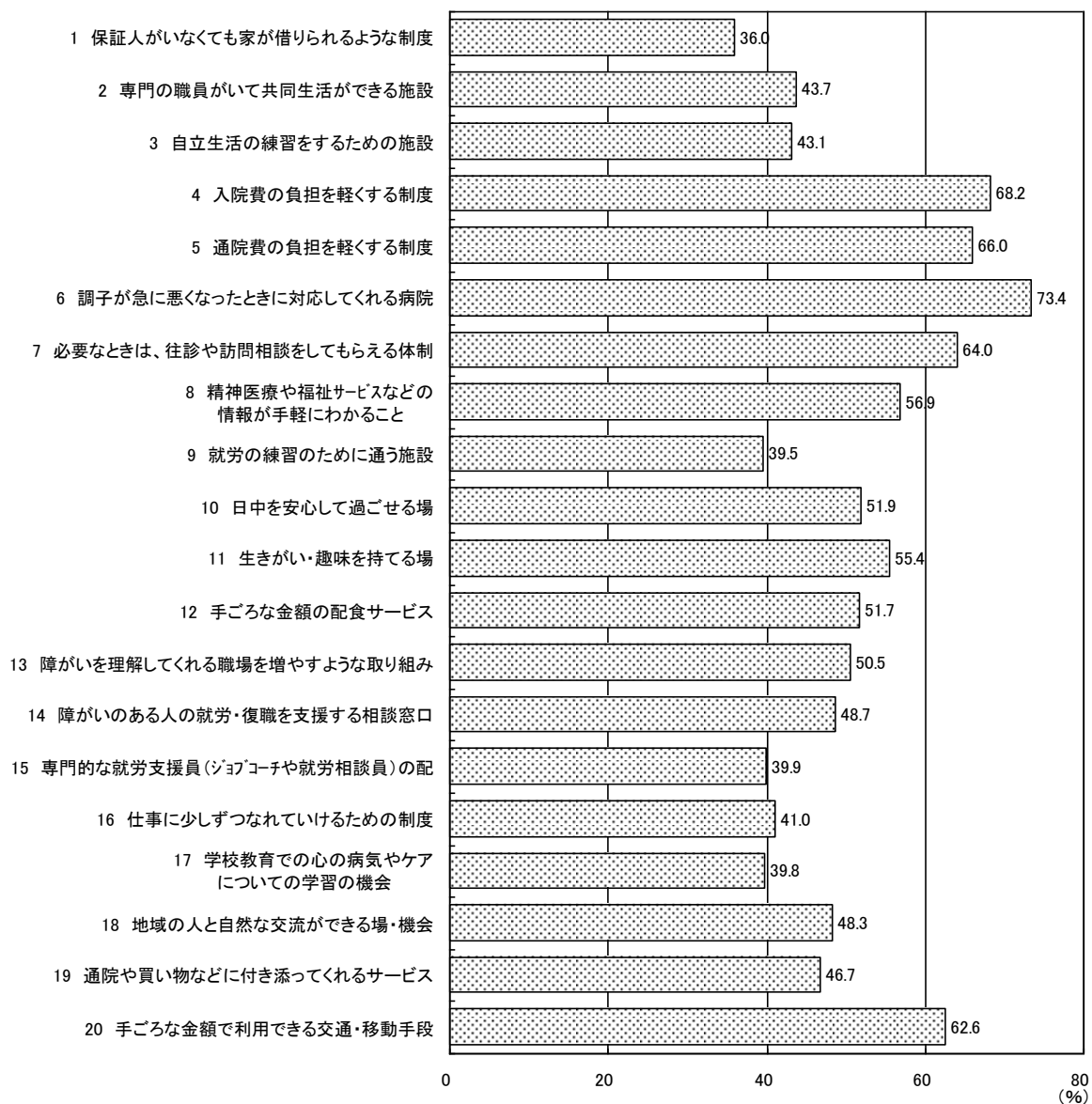
サービスの情報入手先としては、身体障がい者では「市役所からの広報紙・回覧」、「市役所・保健所など」、知的障がい者では「サービスを受けている事業所・施設など」「市役所・保健所など」、精神障がい者では「サービスを受けている事業所・施設など」、「病院」が多くなっている。



問 17 あなたは、生活しやすくなるためにどんな制度・サービスが必要だと思いますか。
 (項目ごとに必要、必要でないのどちらかに○印)

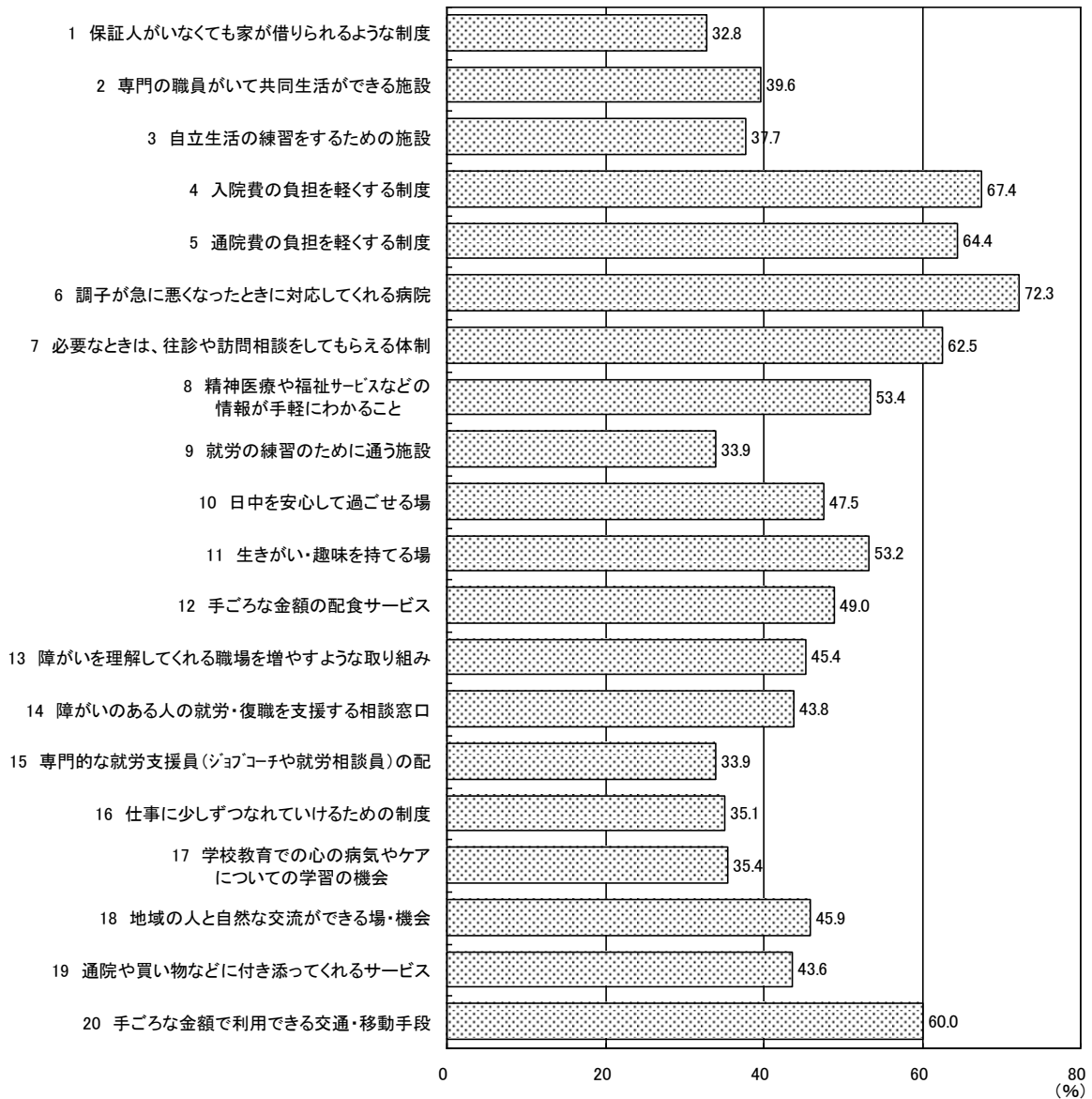
■全体

必要と回答した内容は、全体では「6 調子が急に悪くなったときに対応してくれる病院」「4 入院費の負担を軽くする制度」「5 通院費の負担を軽くする制度」などが多い。



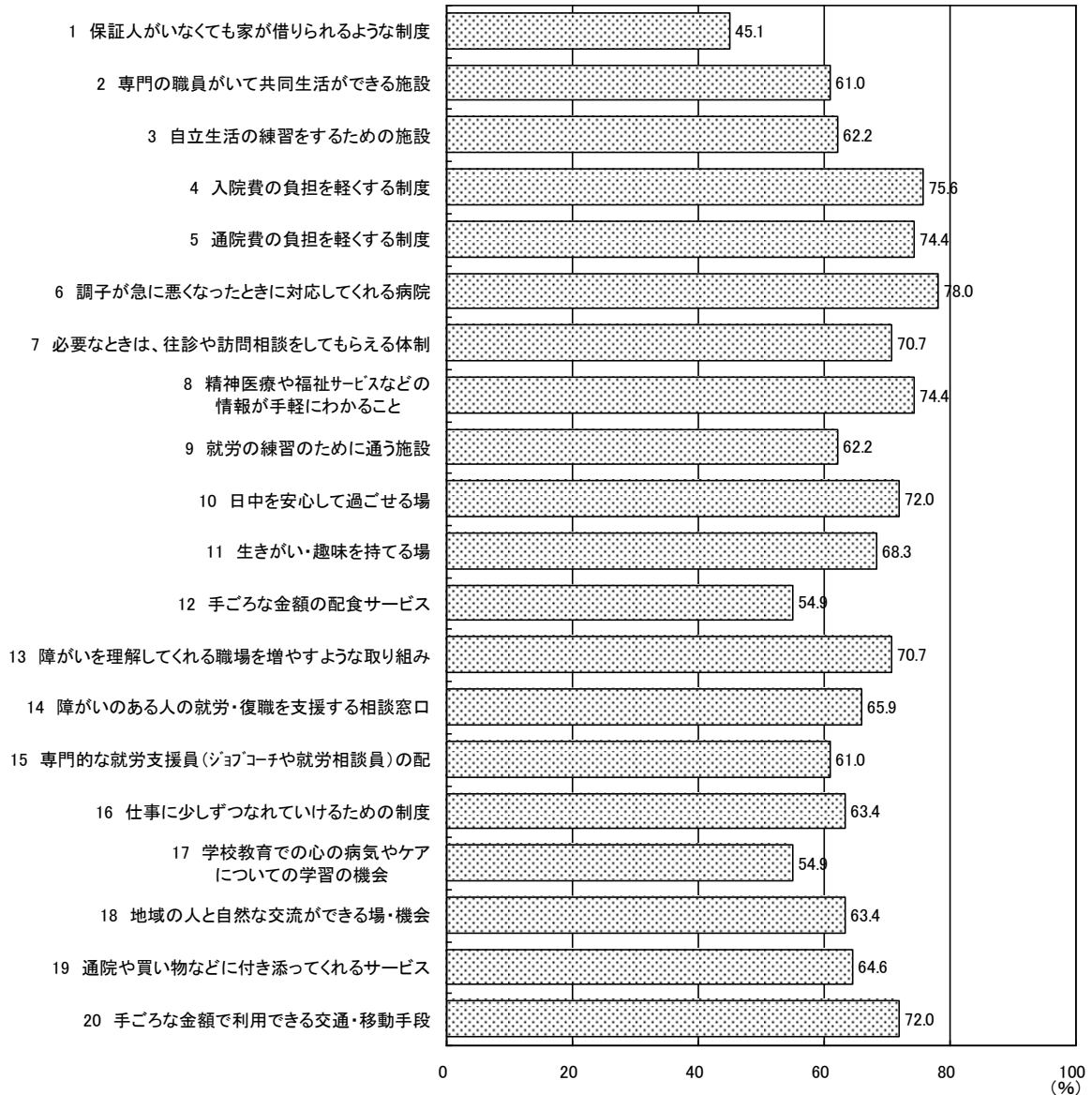
■身体障がい者

必要と回答した内容は、身体障がい者では「6 調子が急に悪くなったときに対応してくれる病院」「4 入院費の負担を軽くする制度」「5 通院費の負担を軽くする制度」などが多い。



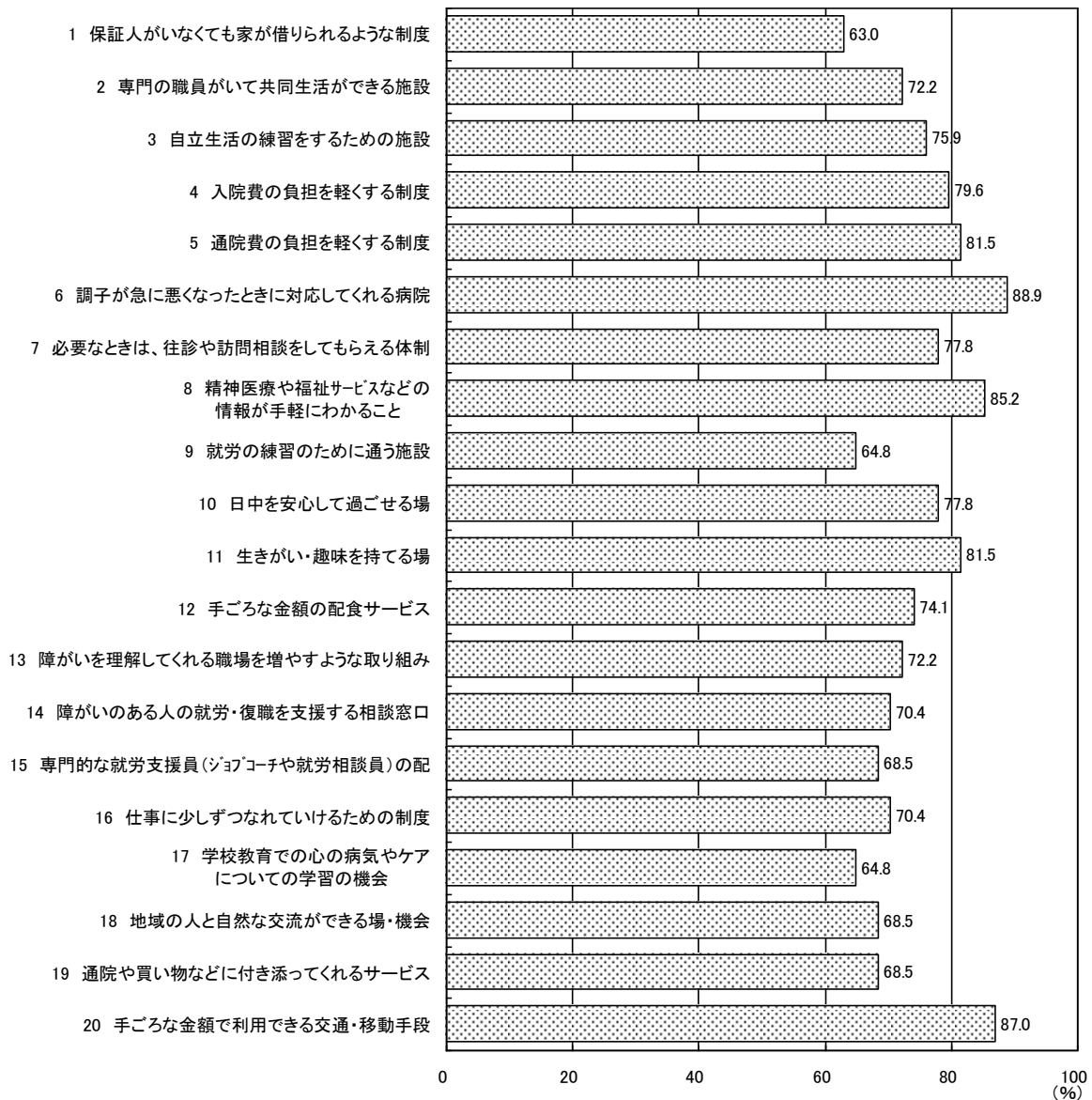
■知的障がい者

必要と回答した内容は、知的障がい者では「6 調子が急に悪くなったときに対応してくれる病院」「4 入院費の負担を軽くする制度」などが多い。



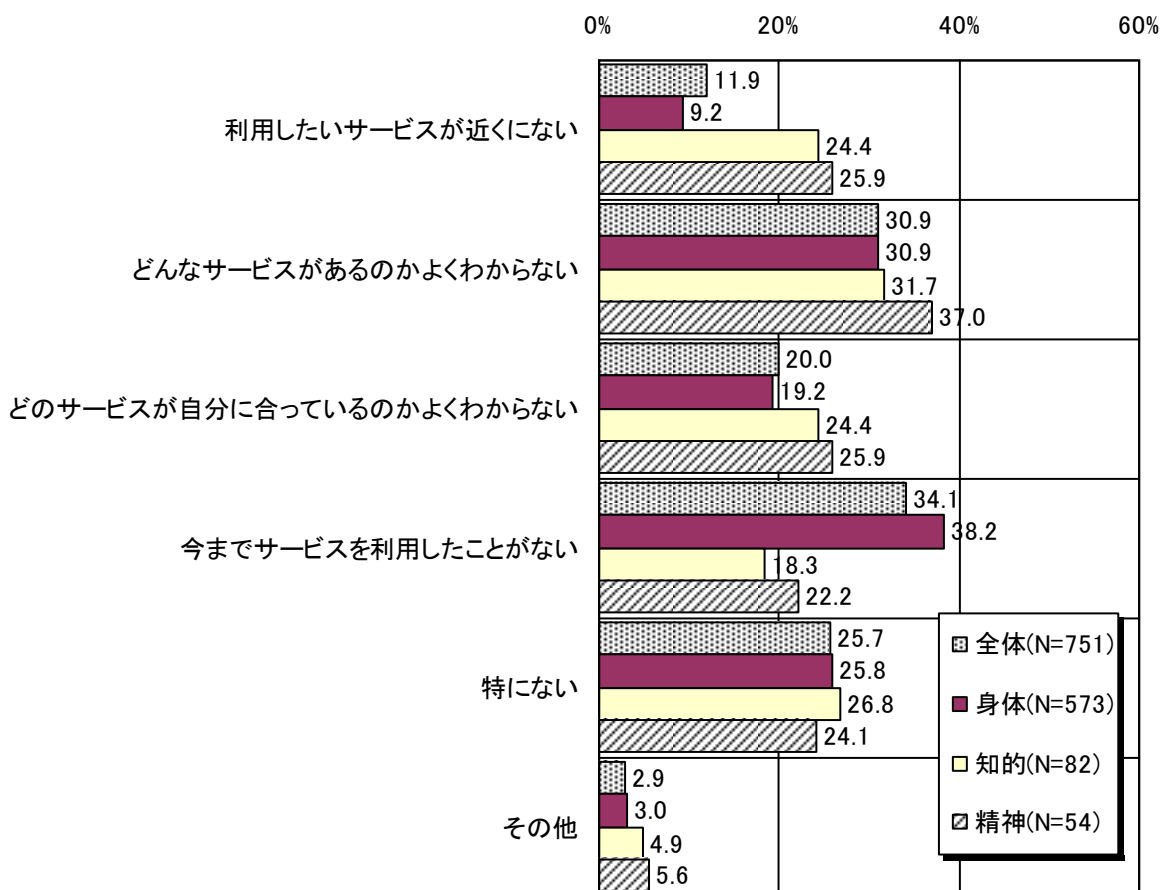
■精神障がい者

必要と回答した内容は、精神障がい者では「6 調子が急に悪くなったときに対応してくれる病院」「8 精神医療や福祉サービスなどの情報が手軽にわかること」が多い。



問 18 これまでサービスの利用について不満や困ったことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○印)

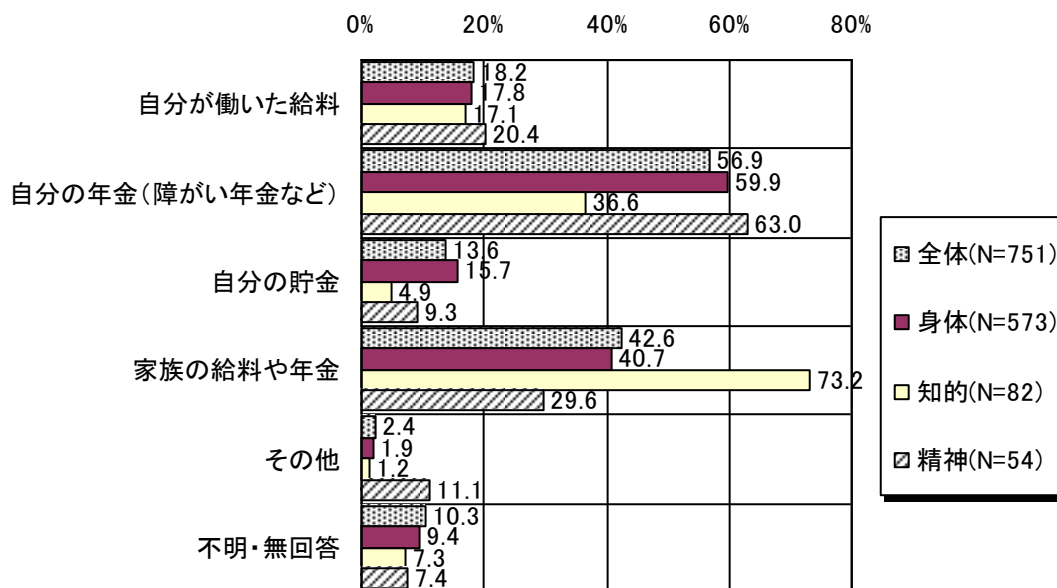
サービスの利用について不満や困ったこととしては、サービスを利用したことがある人では、いずれも「どんなサービスがあるのかよくわからない」が最も多い。



⑤ 学校・仕事についておうかがいします。

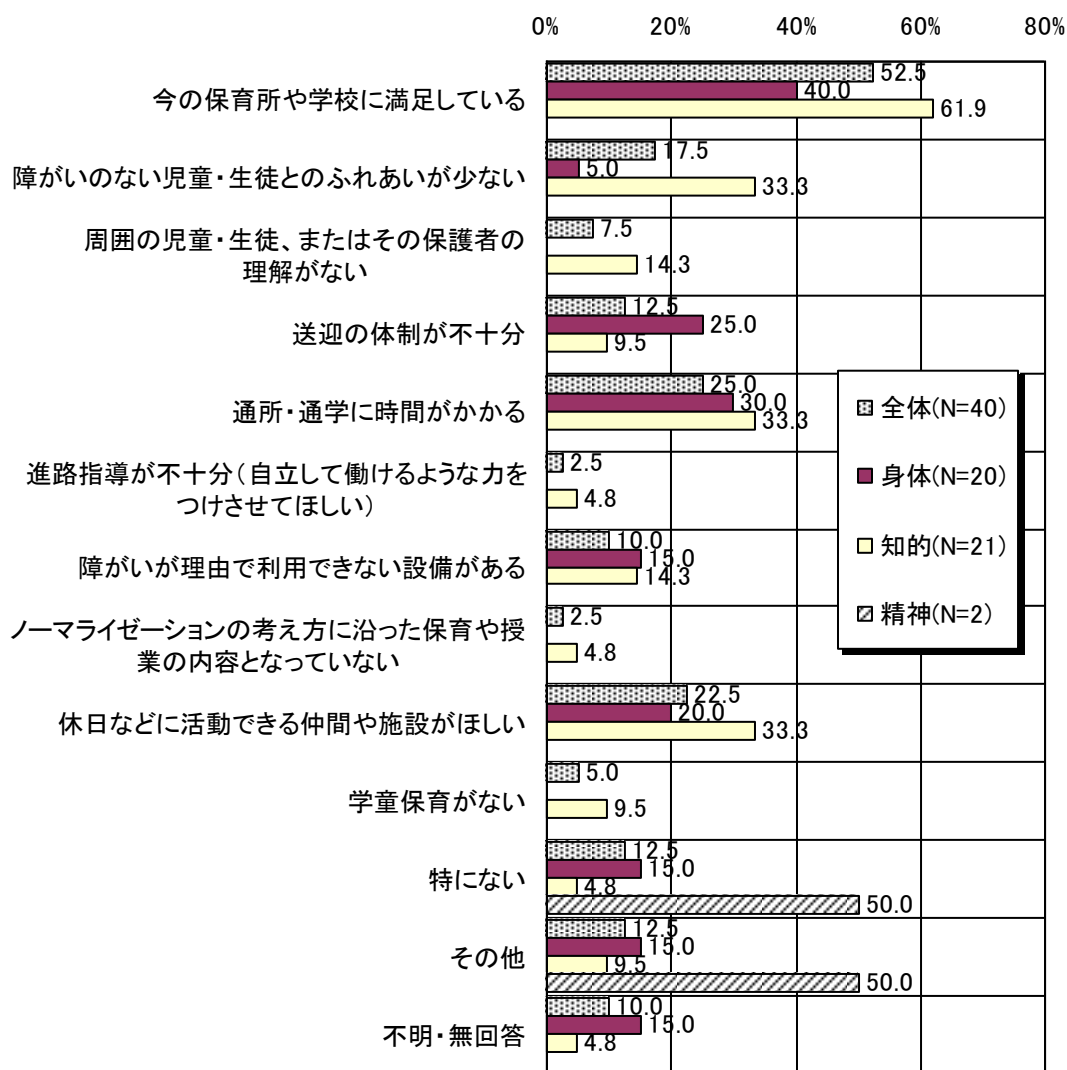
問 19 あなたの世帯の主な収入源は何ですか。(主なもの2つまでに○印)

世帯の主な収入源としては、身体障がい者および精神障がい者は「自分の年金（障がい年金など）」、知的障がい者は「家族の給料や年金」がそれぞれ最も多い。



問 20 通所・通学していて、感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

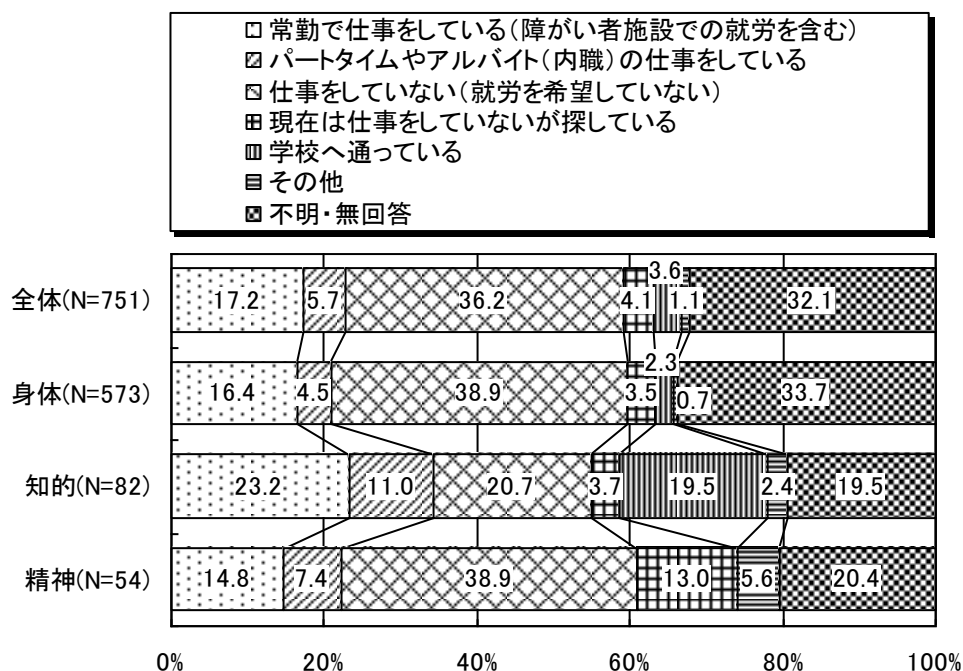
通所・通学していて感じる事としては、身体障がい者および知的障がい者ともに「今の保育所や学校に満足している」が最も多いが、身体障がい者では「通所・通学に時間がかかる」「送迎の体制が不十分」、知的障がい者では「障がいのない児童・生徒とのふれあいが少ない」「通所・通学に時間がかかる」「休日などに活動できる仲間や施設がほしい」などが多い。



※不明・無回答が多いため、18歳以上の回答に限定

問 21 就労の状況や形態は次のどれですか。(1つに○印)

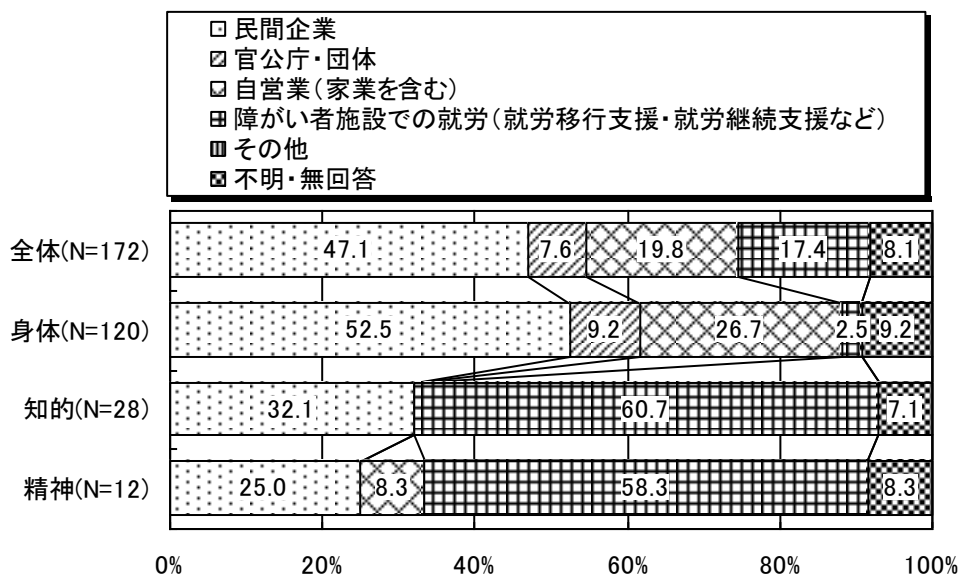
就労状況を見ると、「常勤で仕事をしている(障がい者施設での就労を含む)」人は、身体障がい者 16.4%、知的障がい者 23.2%、精神障がい者 14.8%である。また「現在は仕事をしていないが探している」という人は、身体障がい者 3.5%、知的障がい者 3.7%、精神障がい者 13.0%である



問 22 問 21 で 1、2 と回答した「仕事をしている」方におうかがいします。

(1) 就労先は次のどれですか。(1つに○印)

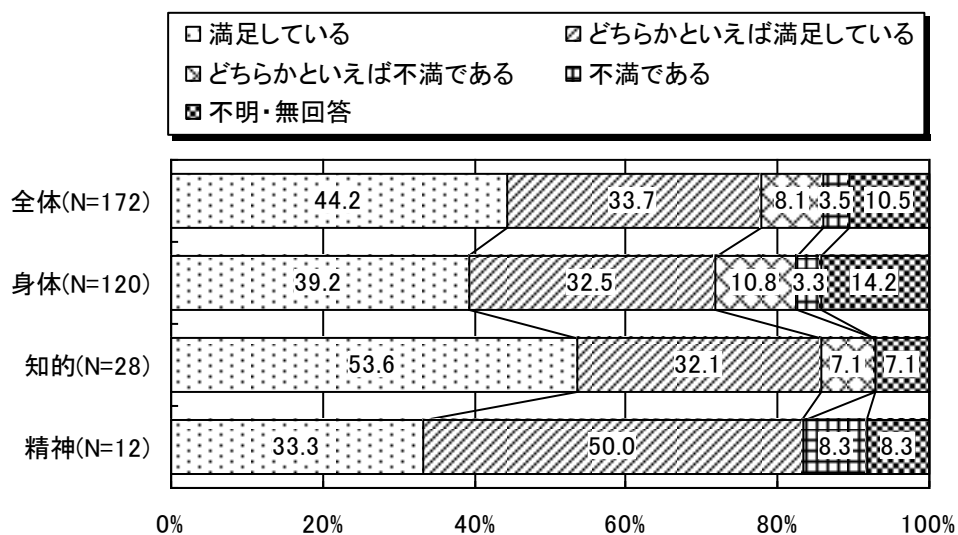
現在、仕事をしている人の就労先は、身体障がい者は「民間企業」が最も多く、知的障がい者および精神障がい者は「障がい者施設での就労(就労移行支援・就労継続支援など)」が半数以上となっている。



(2) あなたは現在の仕事や職場に満足していますか。

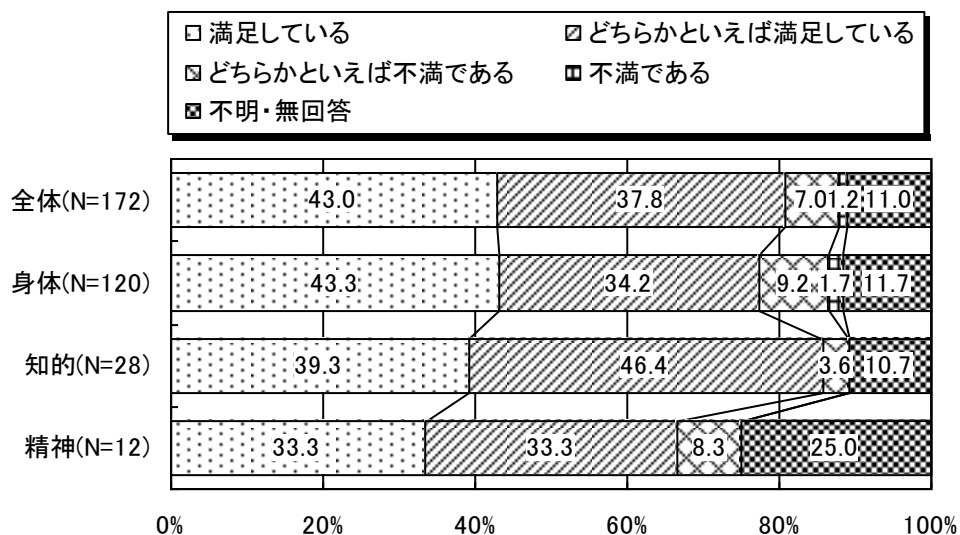
①就労の形態

就労の形態について「満足している」と回答した人は、身体障がい者 39.2%、知的障がい者 53.6%、精神障がい者 33.3%である。



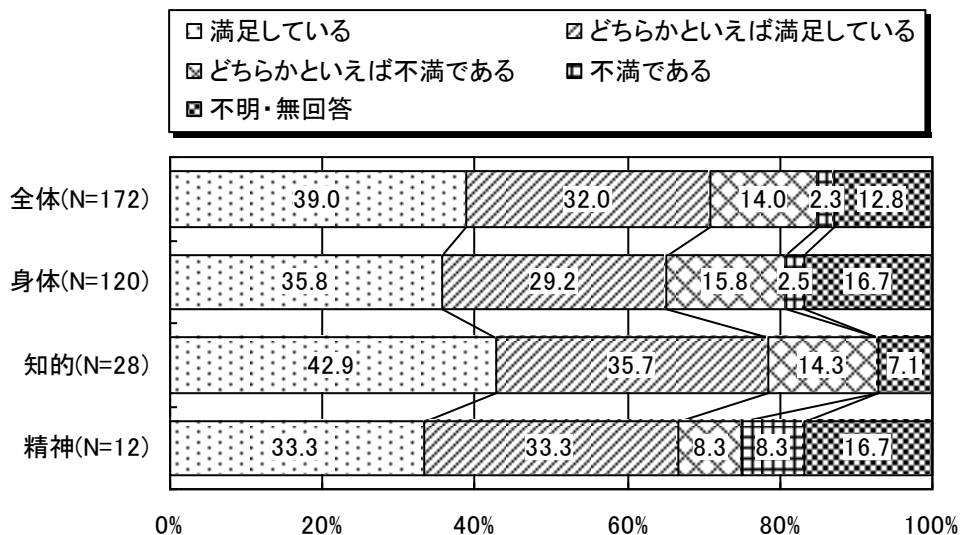
②仕事の内容

仕事の内容について「満足している」と回答した人は、身体障がい者 43.3%、知的障がい者 39.3%、精神障がい者 33.3%である。



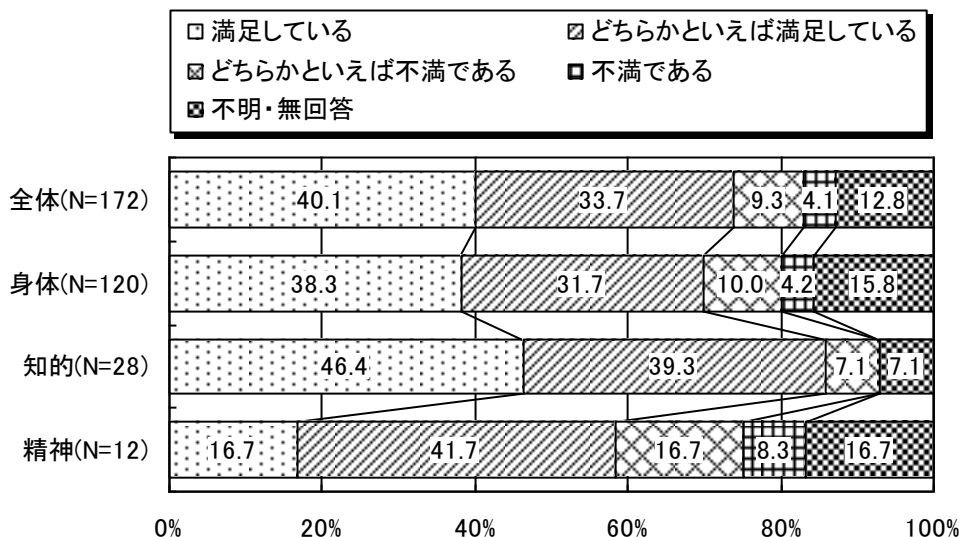
③職場の環境（施設や設備の面）

職場の環境(施設や設備の面)について「満足している」と回答した人は、身体障がい者 35.8%、知的障がい者 42.9%、精神障がい者 33.3%である。



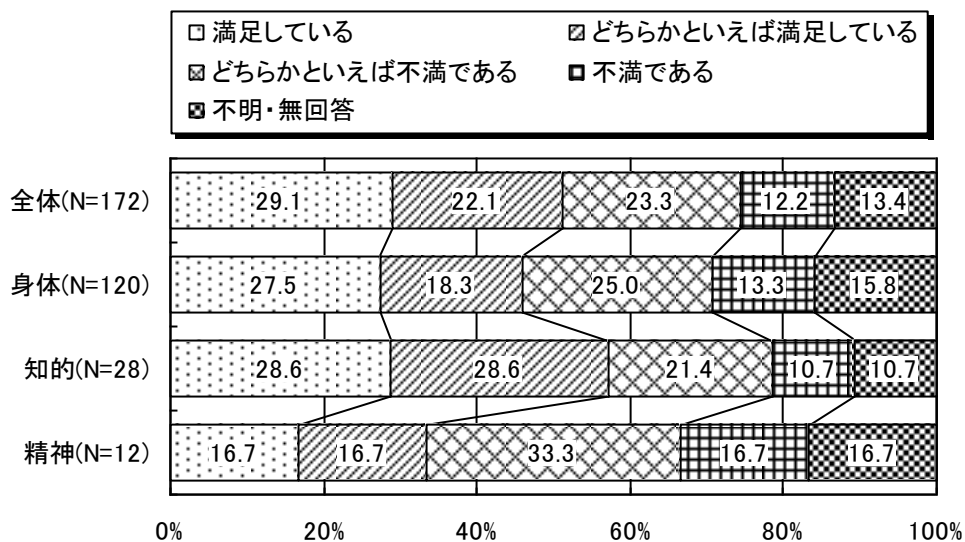
④職場の環境（人間関係の面）

職場の環境(人間関係の面)について「満足している」と回答した人は、身体障がい者 38.3%、知的障がい者 46.4%に対して、精神障がい者は 16.7%と低い。



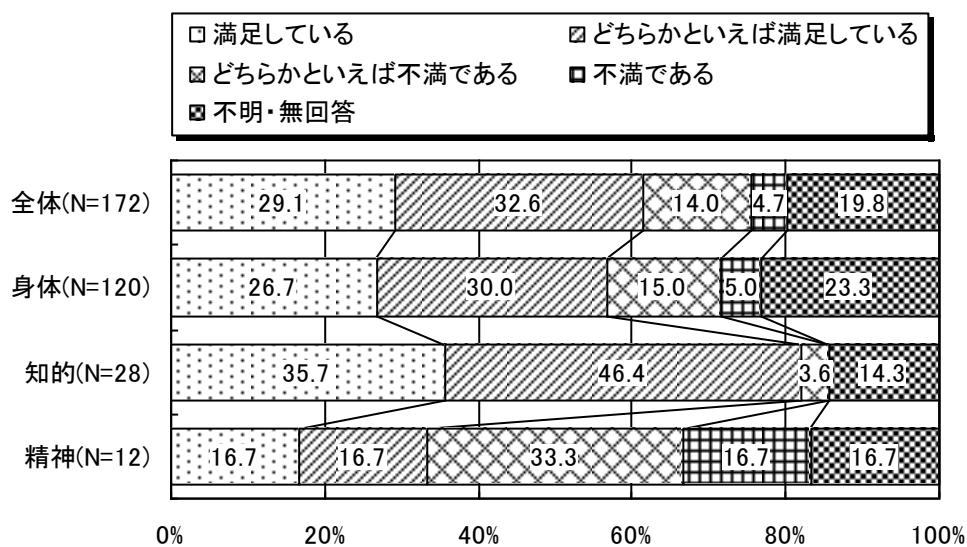
⑤就労による収入

就労による収入について「満足している」と回答した人は、身体障がい者 27.5%、知的障がい者 28.6%に対して、精神障がい者は 16.7%と低い。



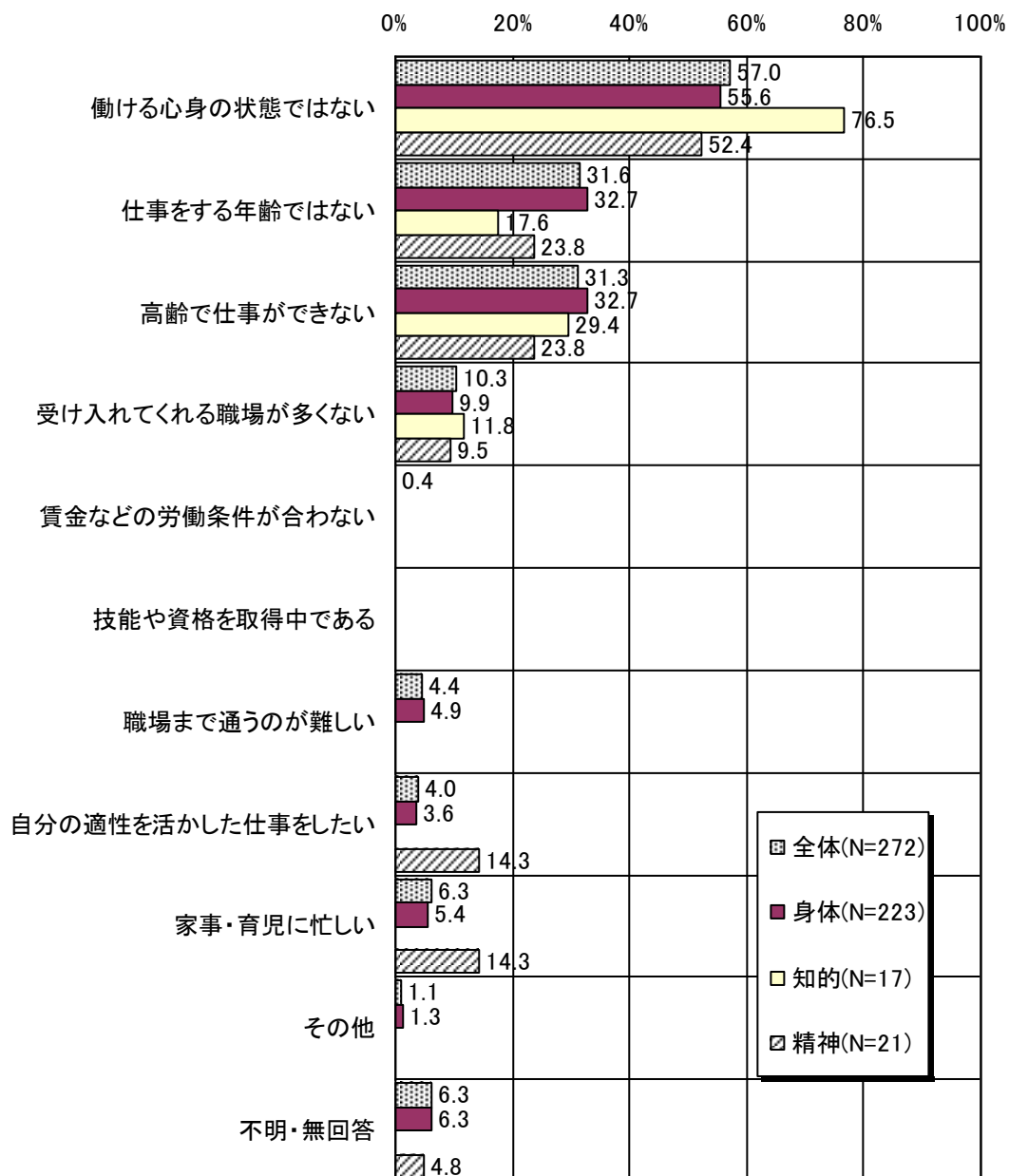
⑥職場での研修

職場での研修について「満足している」と回答した人は、身体障がい者 26.7%、知的障がい者 35.7%に対して、精神障がい者は 16.7%と低い。



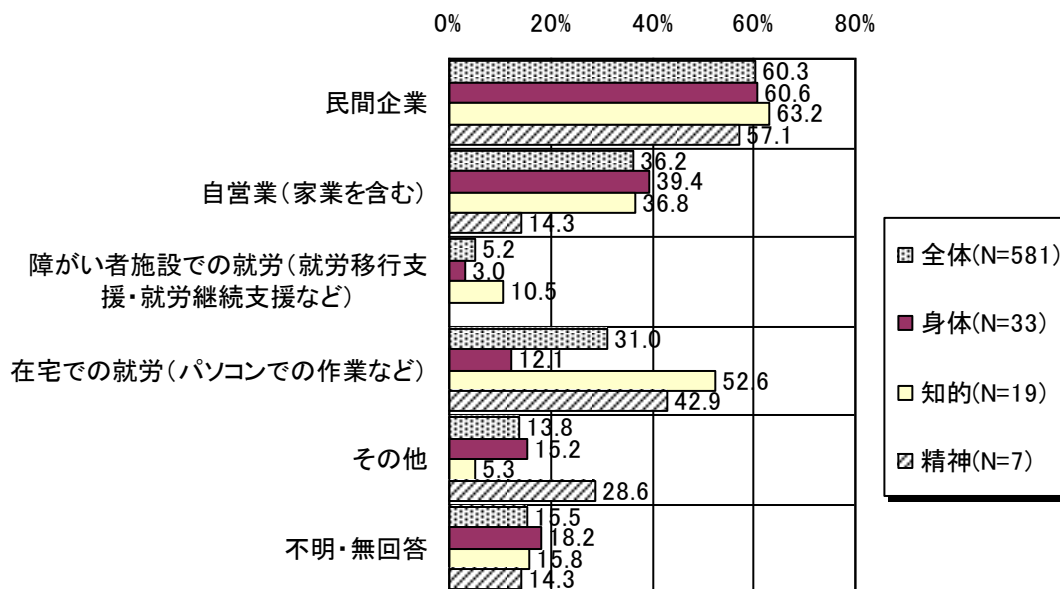
問 23 問 21 で3と回答した「仕事をしていない」方におうかがいします。現在仕事をしていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

仕事をしていない人の理由としては、いずれも「働ける心身の状態ではない」が最も多い。また、「受け入れてくれる職場が多くない」という人は、いずれも1割前後となっている。



問 24 問 21 で 4、5 と回答した「仕事を探している」または「学校へ通っている」方におうかがいします。あなたはどのような仕事に就きたいですか。

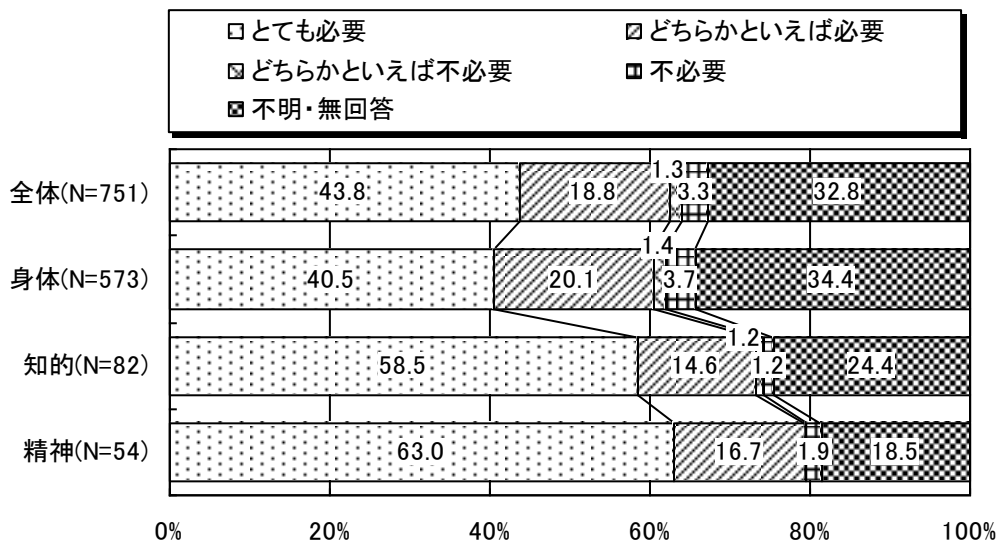
希望する就労先としては、いずれも「民間企業」が最も多い。また、知的障がい者および精神障がい者では「在宅での就労(パソコンでの作業など)」も多い。



問 25 全員におうかがいします。あなたが希望する仕事に就くうえで、次のような課題の解決が必要ですか。過去の経験も含めてお答えください。また、現在就労していない方は将来の予測でお答えください。

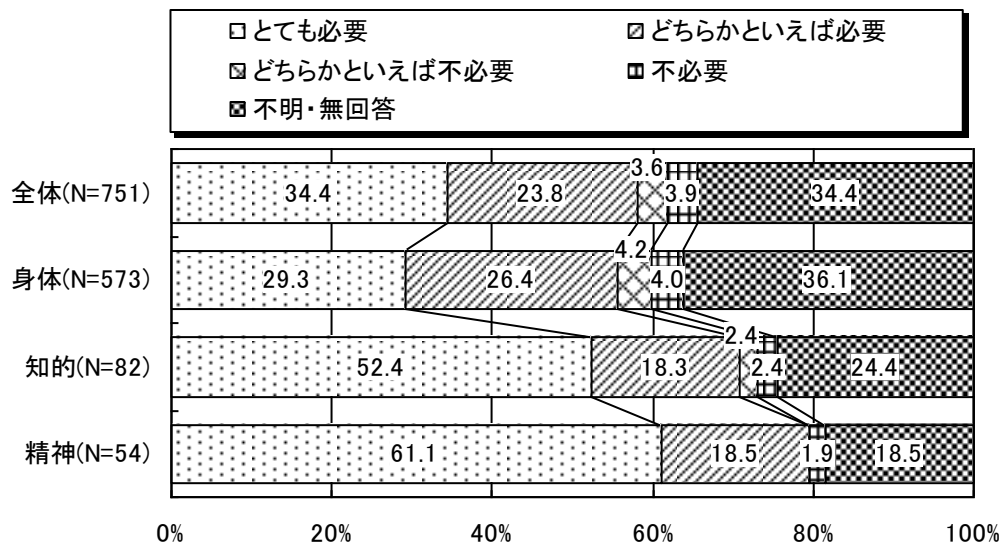
①障がいのある人の就労を支援する相談窓口

障がいのある人の就労を支援する相談窓口について「とても必要」と回答した人は、身体障がい者 40.5%、知的障がい者 58.5%、精神障がい者 63.0%である。



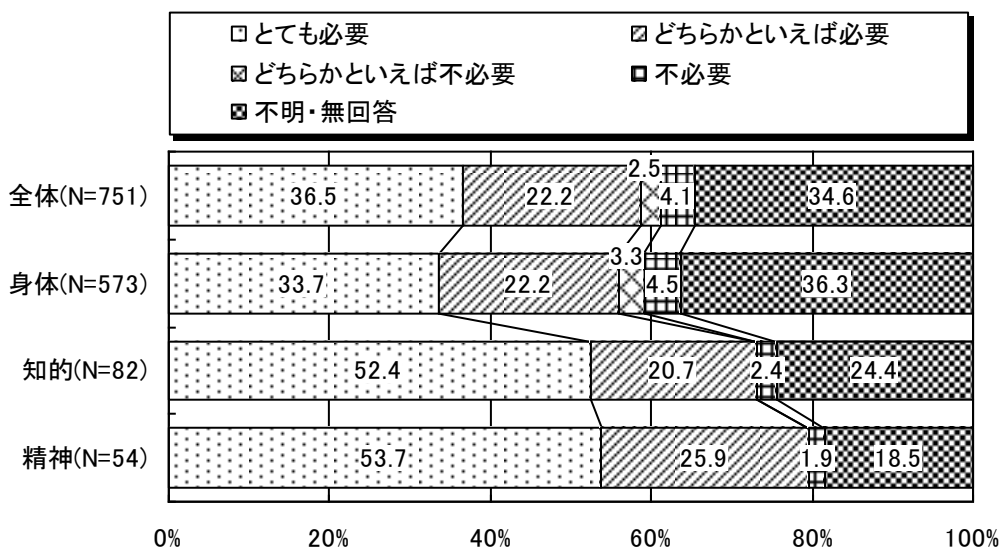
② 専門的な支援員の配置

専門的な支援員の配置について「とても必要」と回答した人は、身体障がい者 29.3%、知的障がい者 52.4%、精神障がい者 61.1%である。



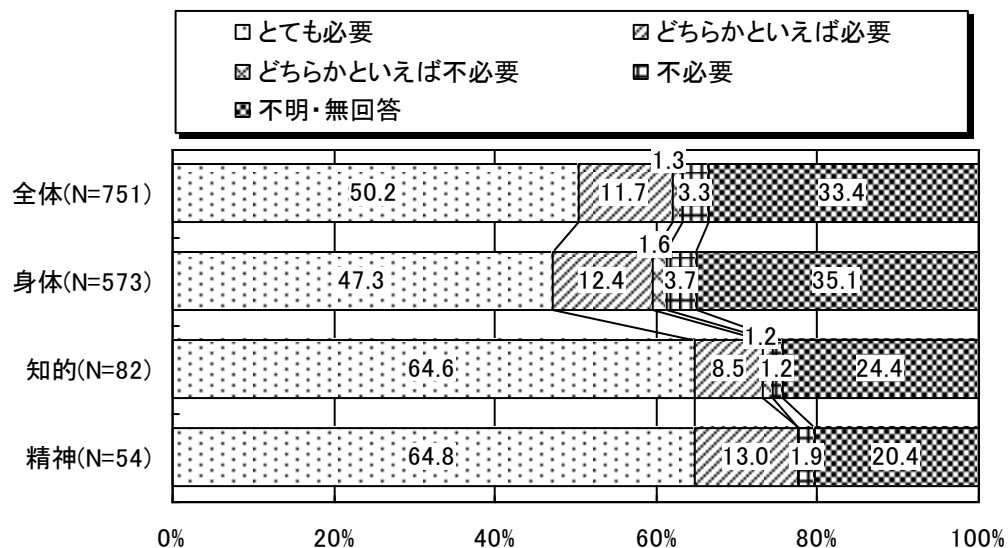
③ 障がいのある人に対する職業教育

障がいのある人に対する職業教育について「とても必要」と回答した人は、身体障がい者 33.7%、知的障がい者 52.4%、精神障がい者 53.7%である。



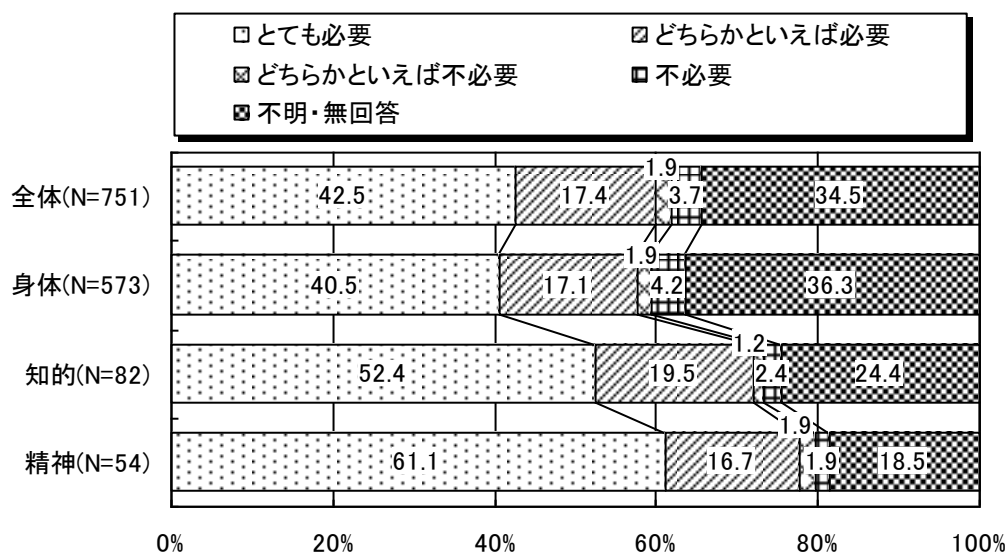
④事業主の理解

事業主の理解について「とても必要」と回答した人は、身体障がい者 47.3%、知的障がい者 64.6%、精神障がい者 64.8%である。



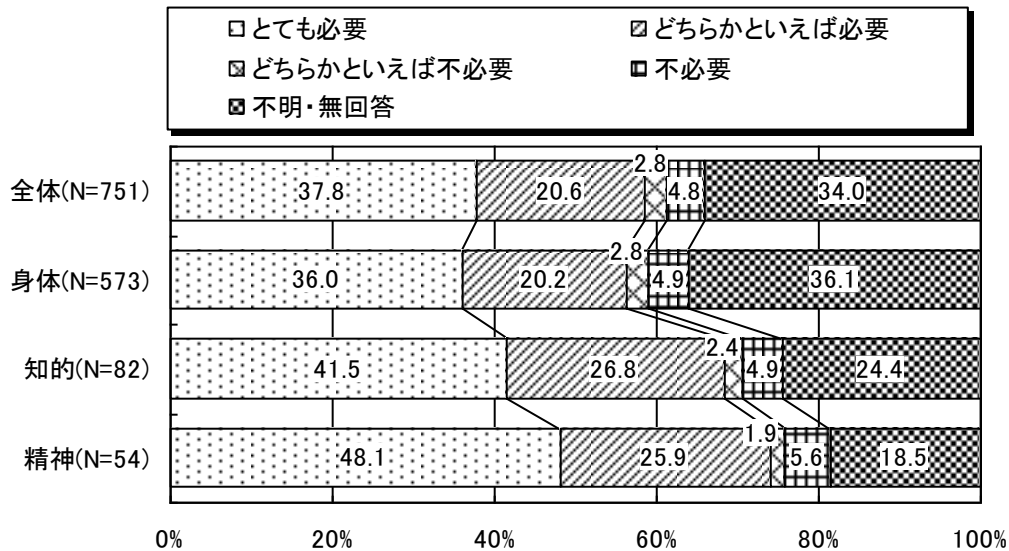
⑤他の従業員や顧客などの理解

他の従業員や顧客などの理解について「とても必要」と回答した人は、身体障がい者 40.5%、知的障がい者 52.4%、精神障がい者 61.1%である。



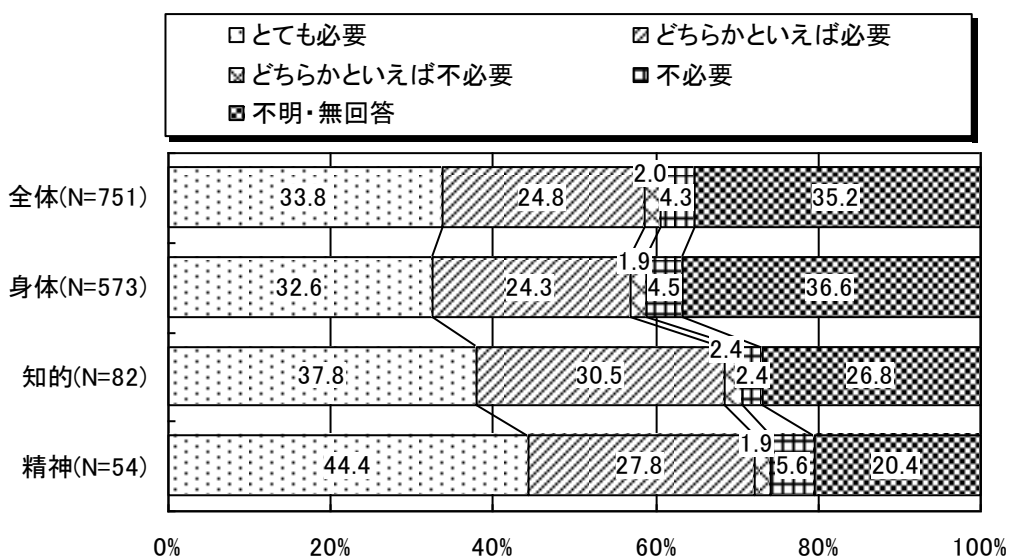
⑥通勤におけるバリア（道路や公共交通など）の解消

通勤におけるバリア（道路や公共交通など）の解消について「とても必要」と回答した人は、身体障がい者 36.0%、知的障がい者 41.5%、精神障がい者 48.1%である。



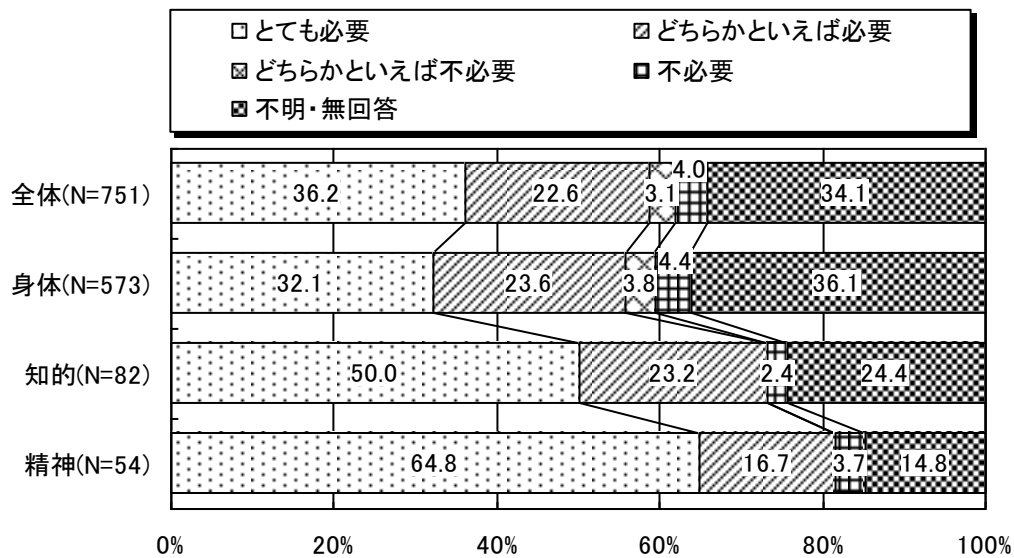
⑦職場の施設や設備面のバリアの解消

職場の施設や設備面のバリアの解消について「とても必要」と回答した人は、身体障がい者 32.6%、知的障がい者 37.8%、精神障がい者 44.4%である。



⑧自分自身の心理的な要因（不安・消極的など）の解消

自分自身の心理的な要因（不安・消極的など）の解消について「とても必要」と回答した人は、身体障がい者 32.1%、知的障がい者 50.0%、精神障がい者 64.8%である。

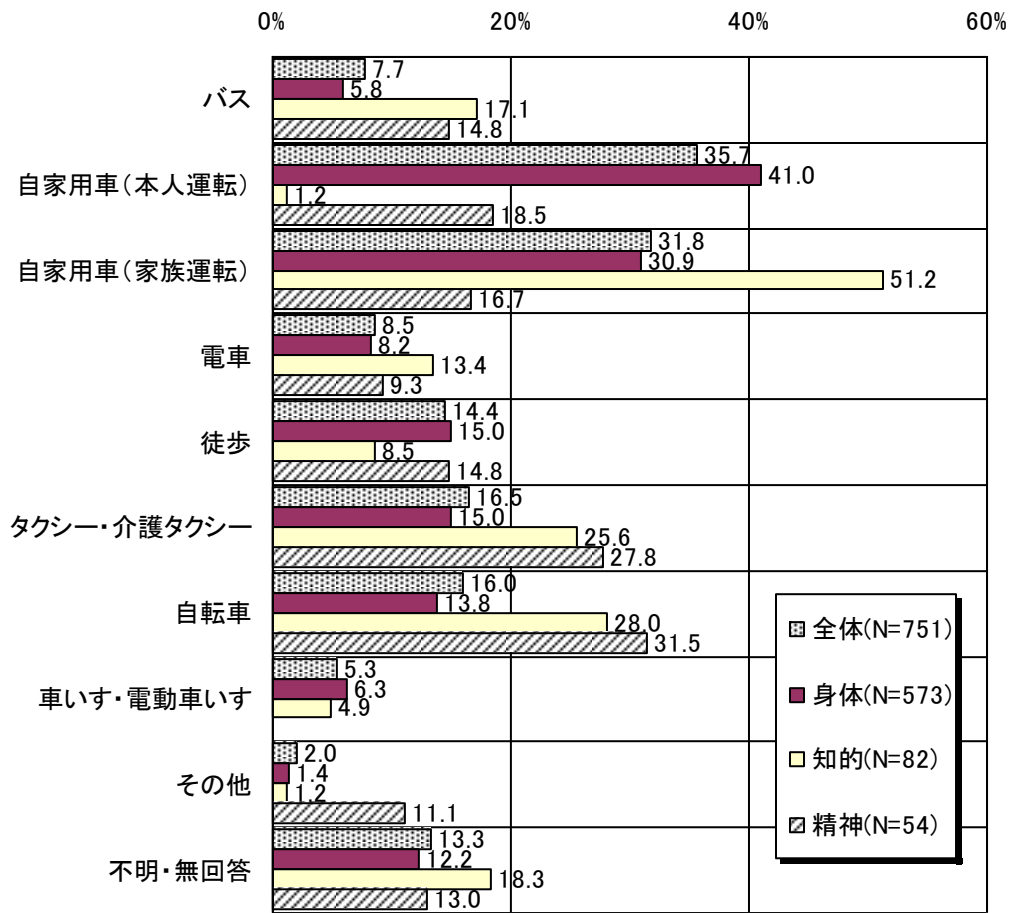


⑥ 生活全般についておうかがいします。

問 26 通勤や通学、施設や病院への通院など、外出する際の交通手段は何ですか。

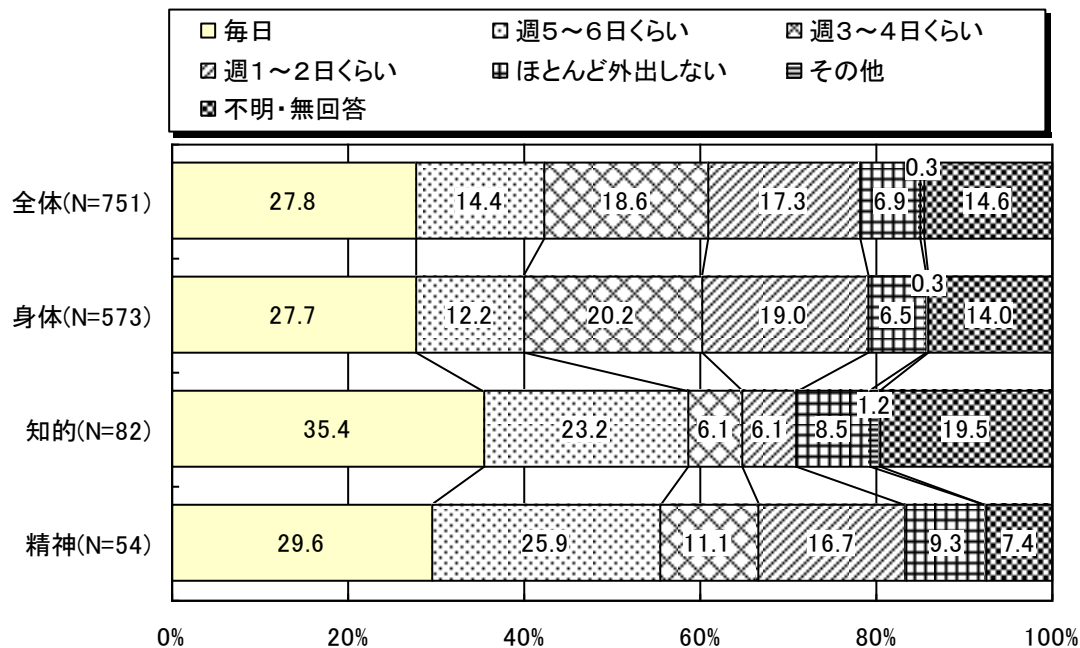
(主なもの3つまでに○印)

外出する際の主な交通手段としては、身体障がい者は「自家用車（本人運転）」が最も多く、次が「自家用車（家族運転）」、知的障がい者は「自家用車（家族運転）」が最も多く、次が「自転車」、精神障がい者は「自転車」が最も多く、次が「タクシー・介護タクシー」となっている。



問 27 現在どのくらいの頻度で外出していますか。(1つに○印)

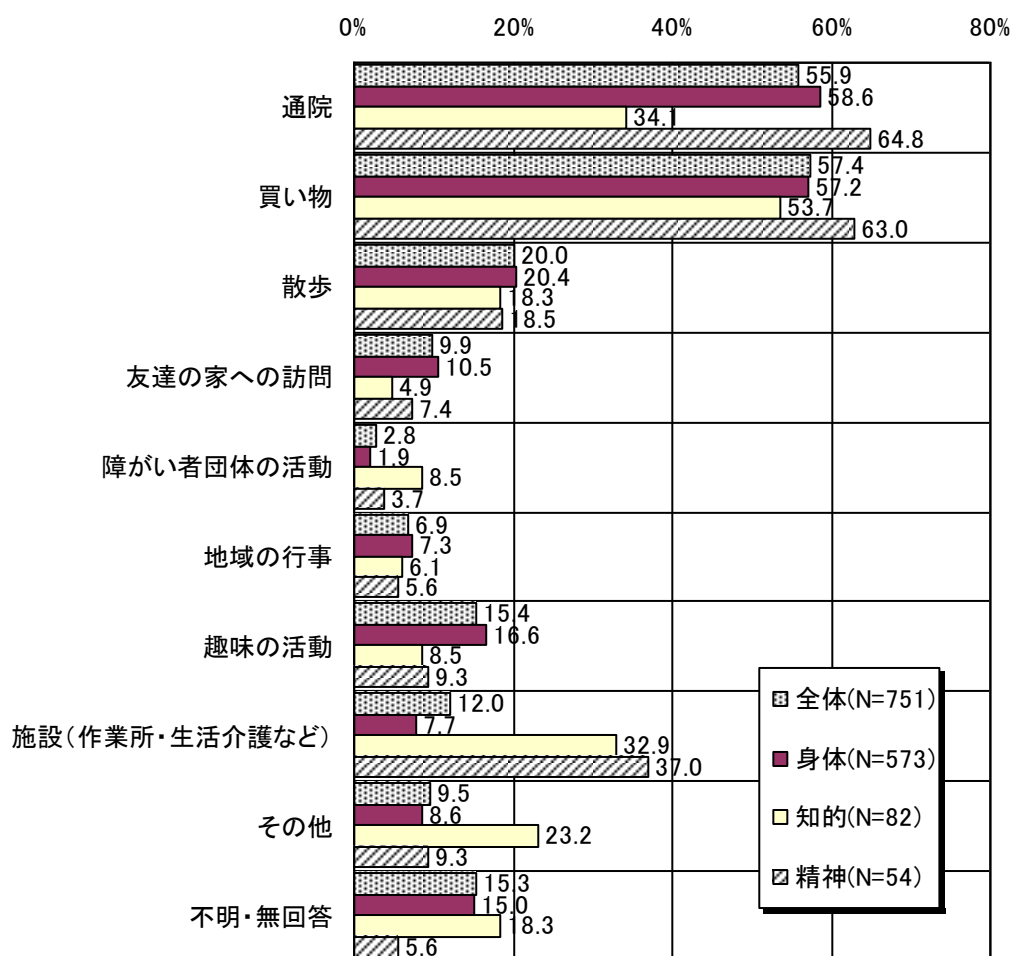
外出頻度では、「毎日」と回答した人は、身体障がい者 27.7%、知的障がい者 35.4%、精神障がい者 29.6%である。一方、「ほとんど外出しない」という人は、身体障がい者 6.5%、知的障がい者 8.5%、精神障がい者 9.3%となっている



問 28 主に何のために外出しますか。(あてはまるものすべてに○印)

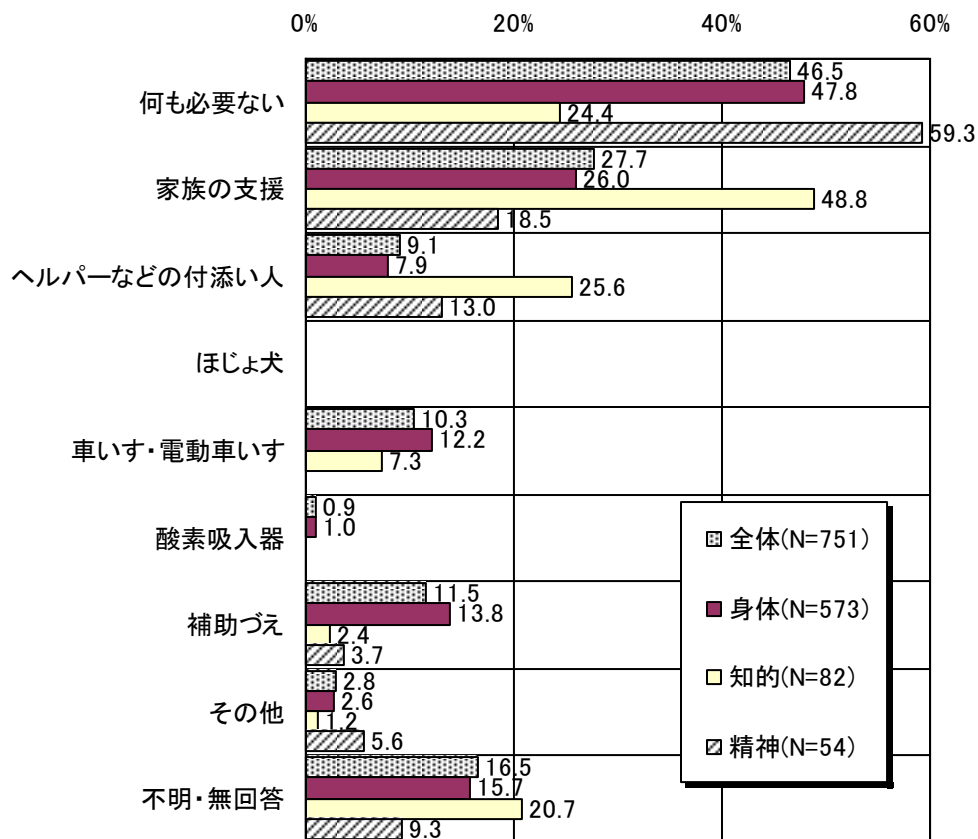
外出の目的では、身体障がい者および精神障がい者では、「通院」が最も多く、次が「買い物」となっている。知的障がい者では「買い物」が最も多く、次が「通院」である。

また、知的障がい者および精神障がい者は「施設（作業所・生活介護など）」も比較的多くなっている。



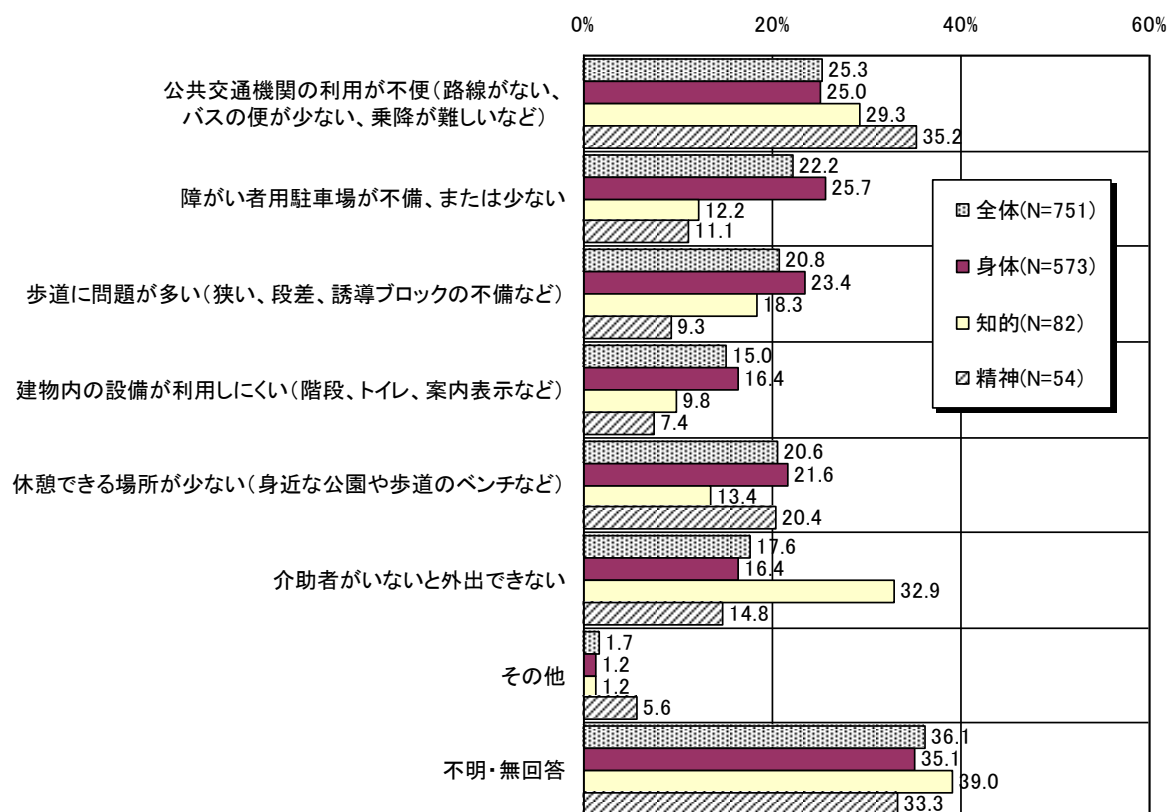
問 29 外出される際に、補装具や付き添ってくれる人が必要ですか。(主なもの3つまでに○印)

外出の際に必要なものについては、身体障がい者および精神障がい者は「何も必要ない」と回答した人が最も多いが、知的身体障がい者では「家族の支援」が最も多い。



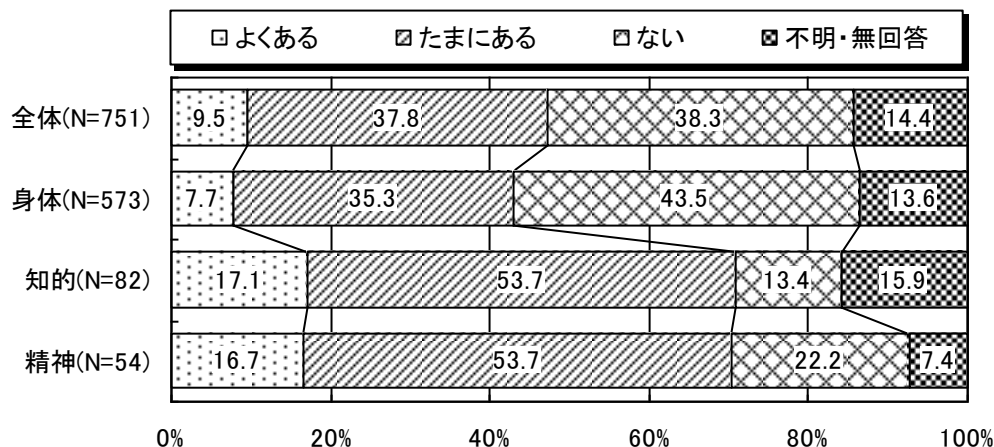
問 30 外出のとき、不便に感じたり困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

外出のとき、不便に感じたり困ることとしては、身体障がい者は「障がい者用駐車場が不備、または少ない」、知的障がい者は「介助者がいないと外出できない」、精神障がい者は「公共交通機関の利用が不便（路線がない、バスの便が少ない、乗降が難しいなど）」がそれぞれ最も多い。



問 31 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（1つに○印）

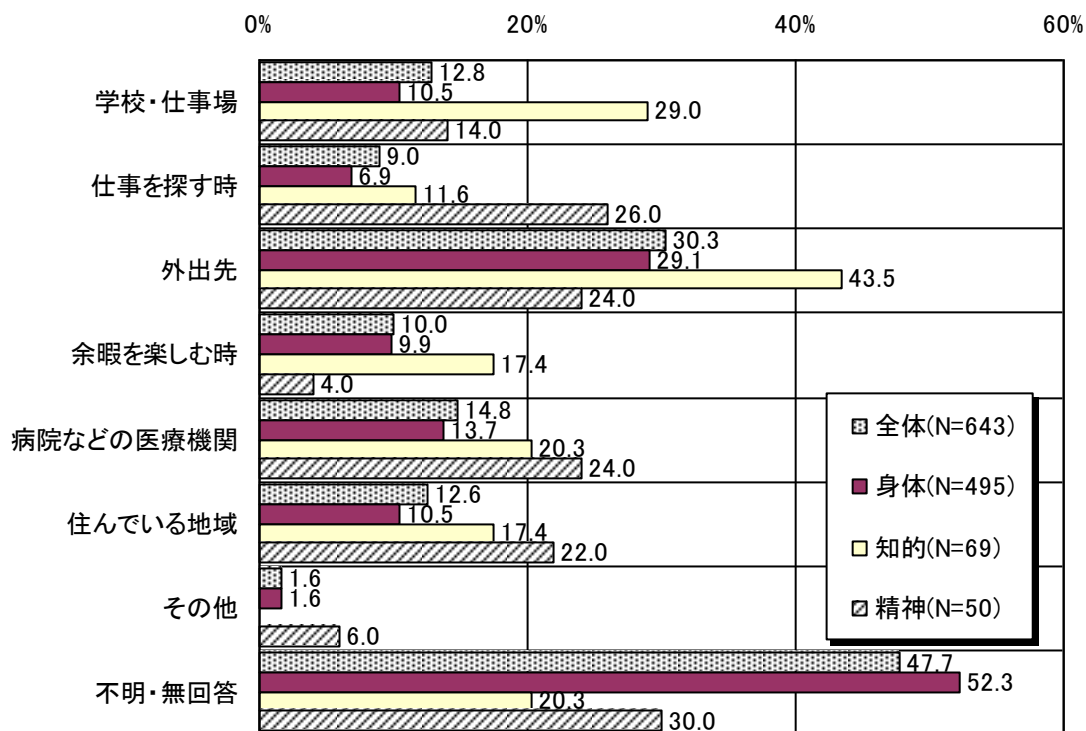
差別やいやな思いをした経験について、「よくある」と「たまにある」を合わせた割合は、身体障がい者 43.0%、知的障がい者 70.8%、精神障がい者 70.4%である。



【問 31 で「1」または「2」に○をした方におうかがいします。】

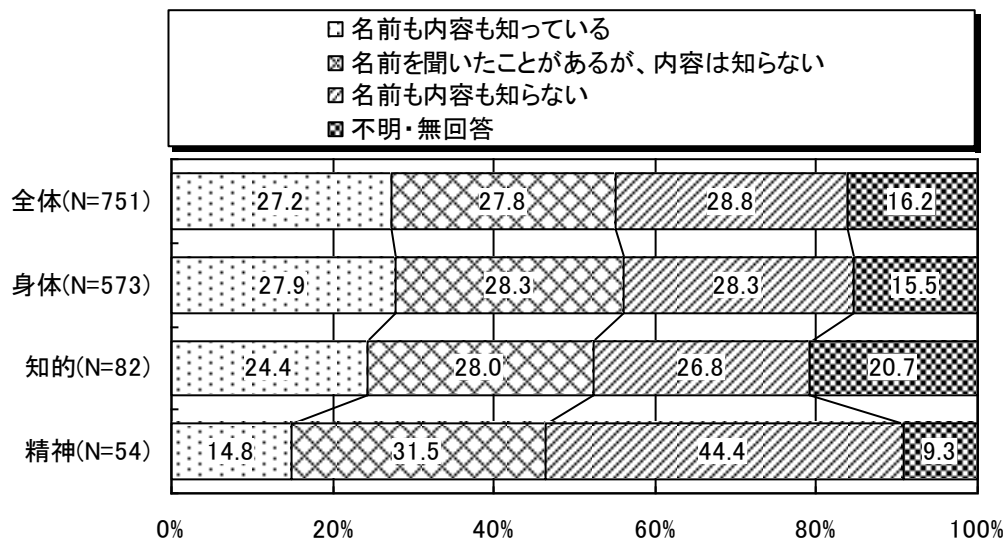
問 32 どのような場所で、差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○印）

差別や嫌な思いをした場所としては、身体障がい者および知的障がい者は「外出先」、精神障がい者は「仕事を探す時」がそれぞれ最も多い。



問 33 あなたは、成年後見制度についてご存じですか。(1つに○印)

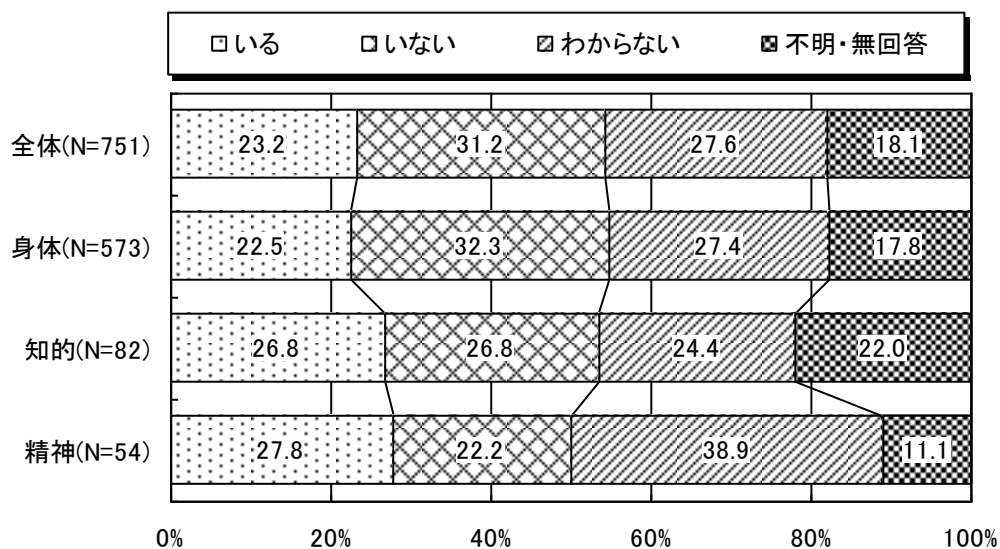
成年後見制度について「名前も内容も知っている」と回答した人は、身体障がい者 27.9%、知的障がい者 24.4%、精神障がい者 14.8%である。



問 34 地震など災害発生時についておうかがいします。

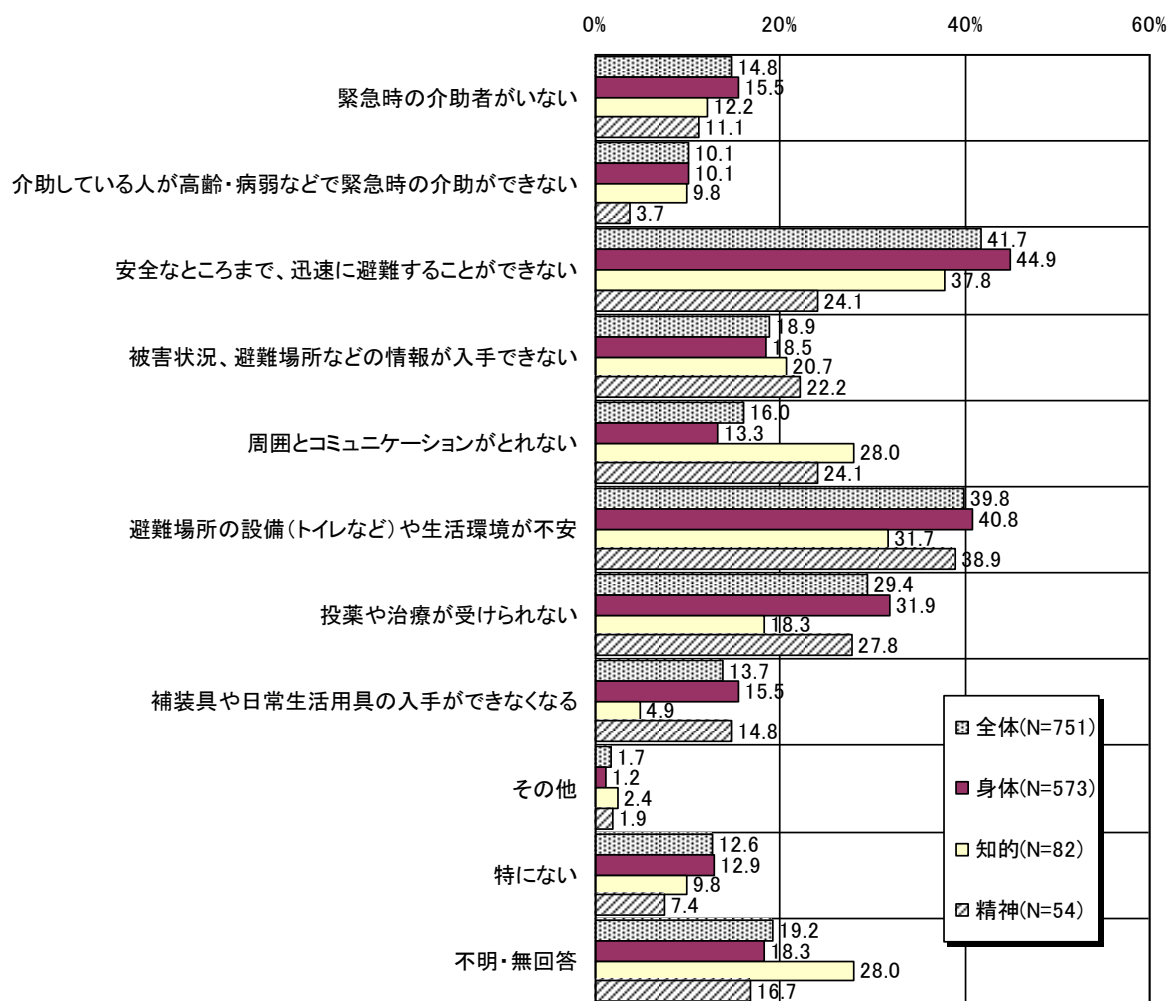
(1) 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(1つに○印)

災害発生時に近所に助けてくれる人がいるかどうかについて、「いる」と回答した人は、身体障がい者 22.5%、知的障がい者 26.8%、精神障がい者 27.8%である。



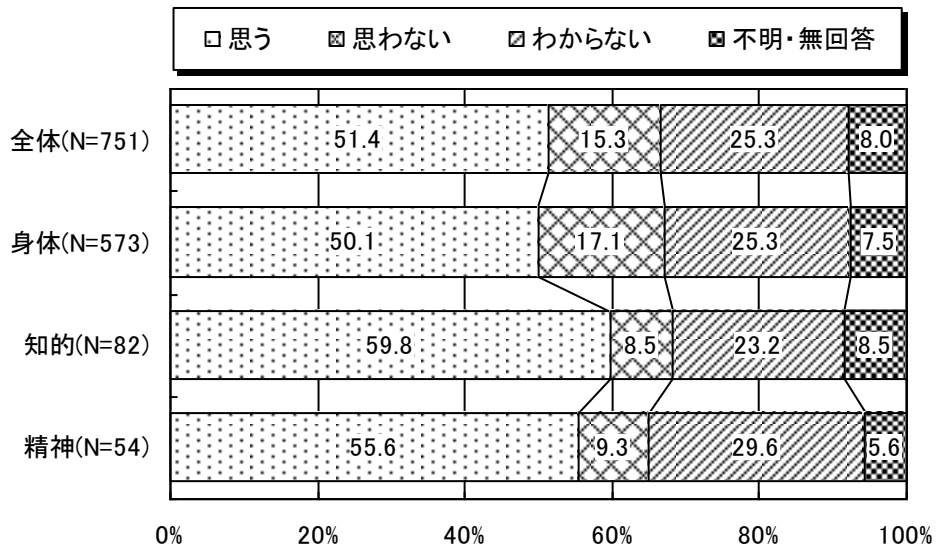
(2) 災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

災害時に困ることとしては、身体障がい者および知的障がい者では「安全なところまで、迅速に避難することができない」、精神障がい者では「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」がそれぞれ最も多い。



問 35 あなたは災害時に地域の方に避難を手伝ってもらいたいと思いますか。(1つに○印)

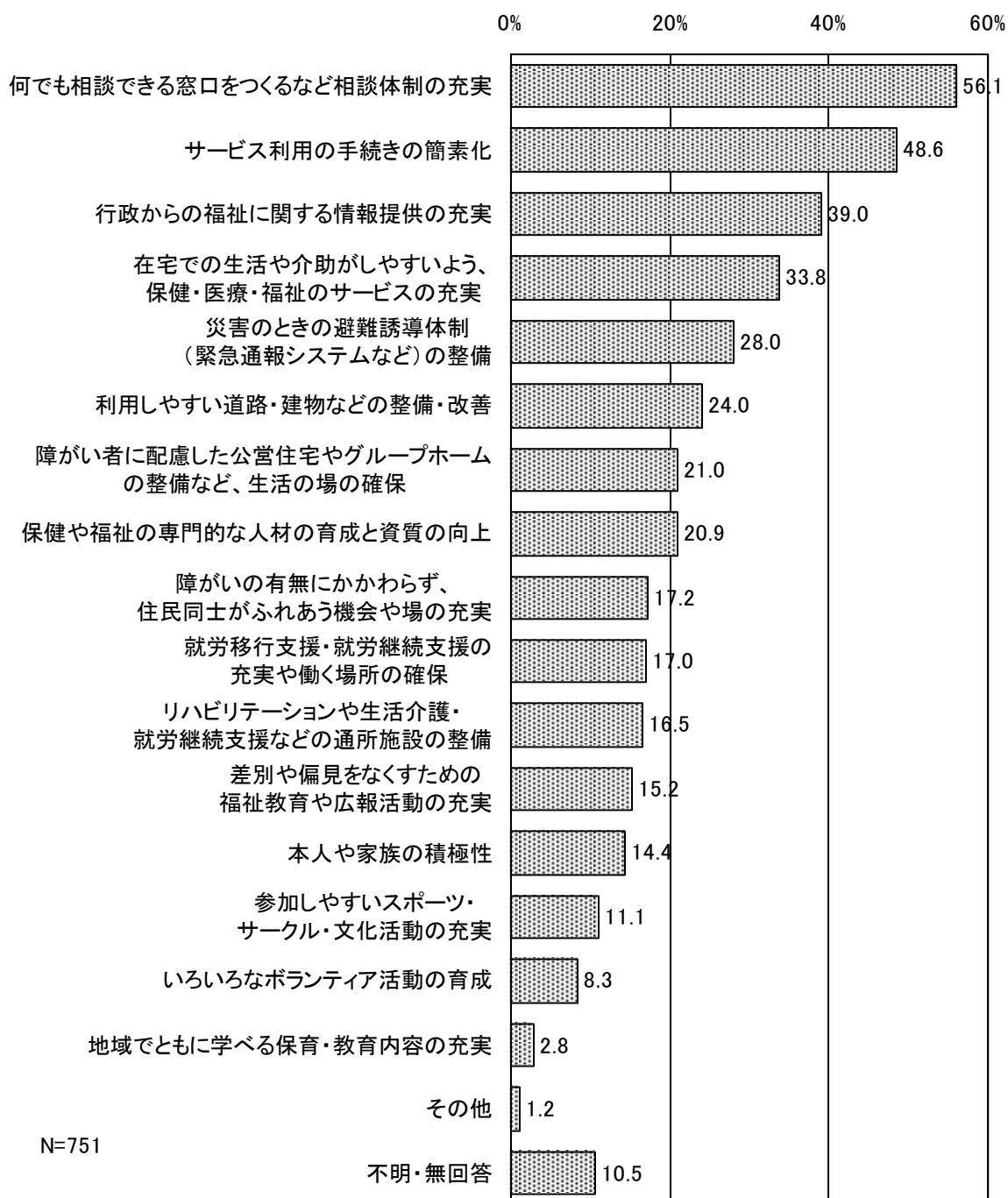
災害時に地域の方に避難を手伝ってもらいたいと思う人は、身体障がい者 50.1%、知的障がい者 59.8%、精神障がい者 55.6%で、いずれも半数以上となっている。



問 36 障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと考えますか。(主なもの5つまでに○印)

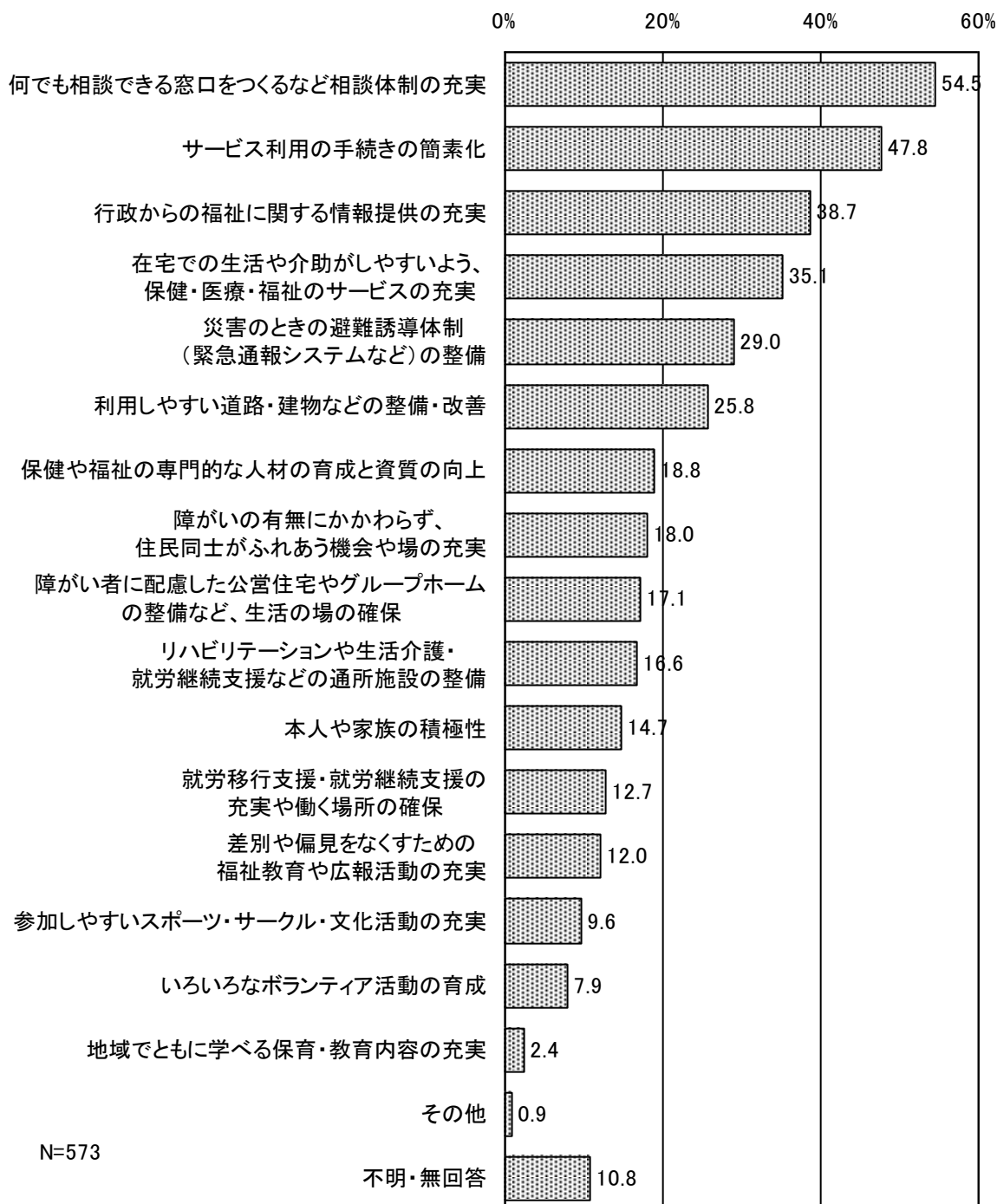
■全体

障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために必要なこととしては、全体では「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が最も多く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」「行政からの福祉に関する情報提供の充実」の順となっている。



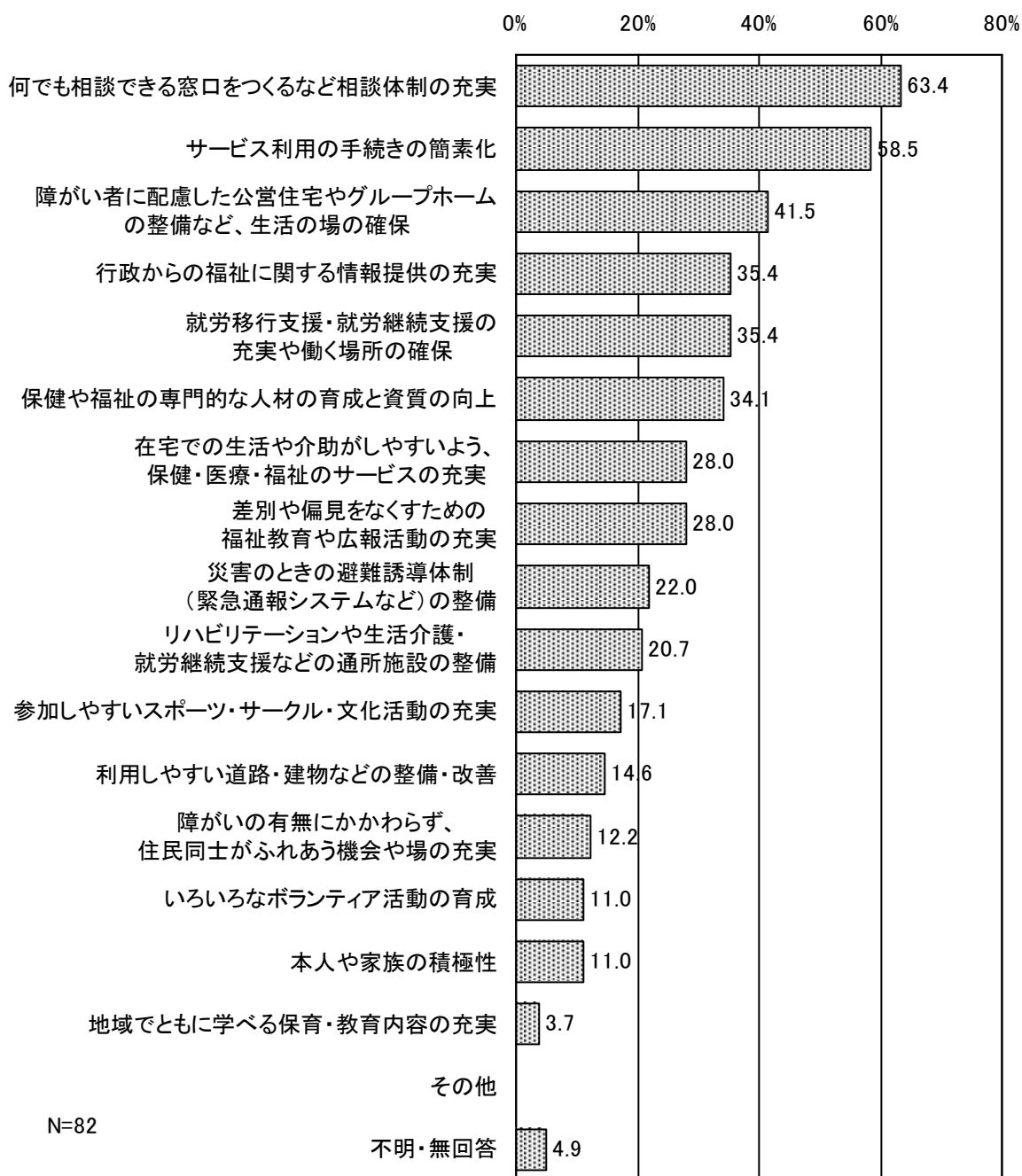
■身体障がい者

障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために必要なこととしては、身体障がい者では「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が最も多く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」「行政からの福祉に関する情報提供の充実」の順となっている。



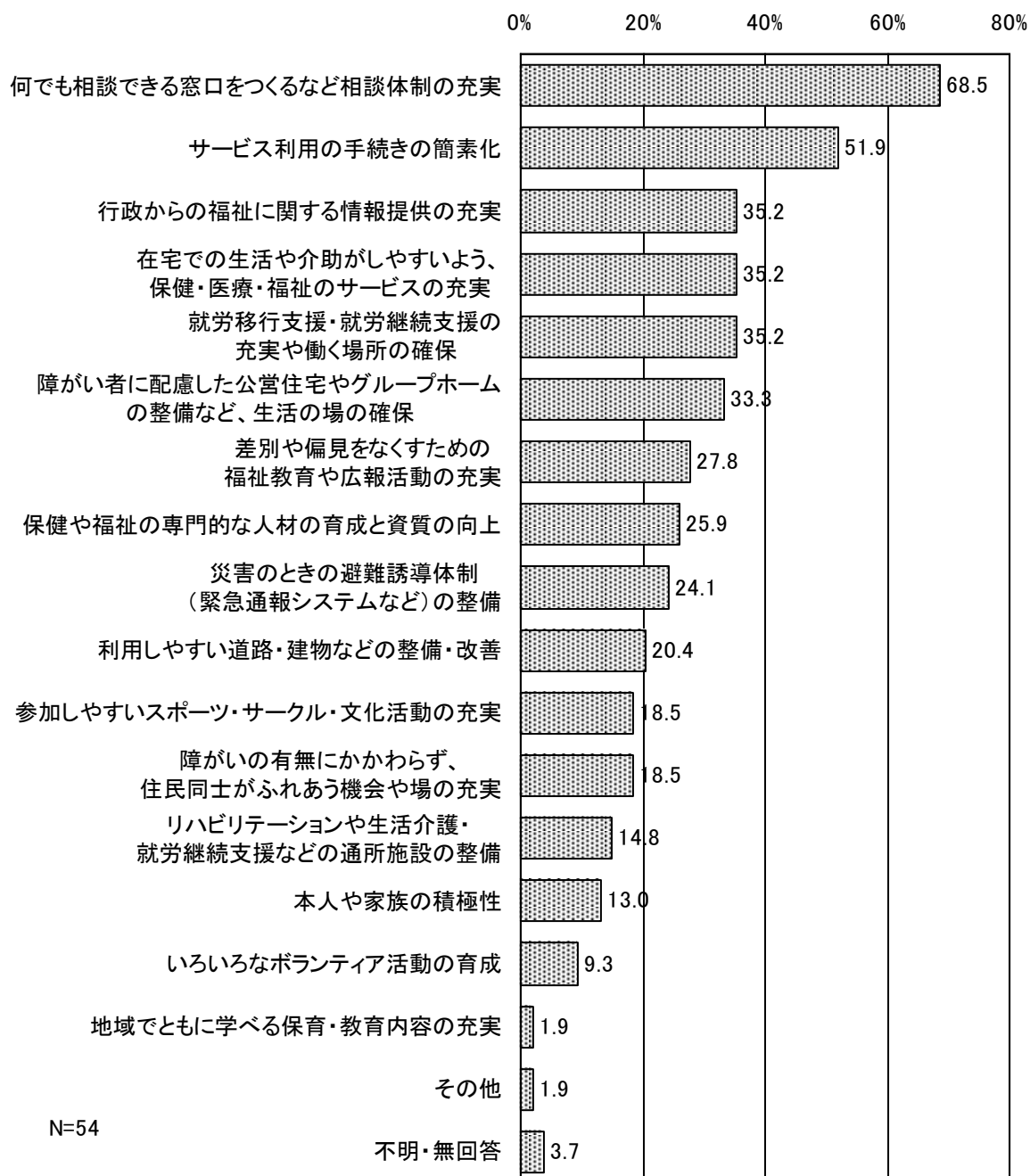
■知的障がい者

障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために必要なこととしては、知的障がい者では「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が最も多く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」「障がい者に配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保」の順となっている。



■精神障がい者

障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために必要なこととしては、精神障がい者では「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が最も多く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」となっている。



Ⅲ 自由回答

- ・ 財政面の厳しさもあるでしょうが、障がい者等、弱者支援の為に尽力を今後ともよろしく願います。
- ・ 私は体調が常に悪いので、医療費を見ていただいているだけでもありがたいと思います。これからもお世話になりますありがとうございます。
- ・ お仕事がんばって下さい。
- ・ 自営の手伝いをしています。天候や体調に合わせて店に行ったり、家で帳簿などしたりしています。以前は毎日通勤していました。とても感謝しています。雇われて就業することは難しいと思われるので、仕事ができるということは生きがいになります。障がいのある人の坂出市の学校、事業所の様子を知りたいと思います。市民の方が知っておく事は大切なことと思います。理解と協力の意味で。
- ・ 坂出小学校は少し遠いので、近くのマンションに避難できるようにしてほしい。本町3丁目に住んでいます。
- ・ 現在、仕事に行っておりますので、不便は感じていませんが、将来必要なサービスを受けさせていただかなければならないと思います。今、心臓手術後、体調不良により早期退職し、収入は少なくなったので、医療費の免除は大変ありがたいと思っており大変感謝しております。
- ・ 今現在の自分自身の状態を中心に考えて答えましたが、特に問14などは障がい者全般に関して客観的に考えて選ぶべきなのか、判断しづらく迷いました。
- ・ 人工透析を受けているので、身体障がい者手帳をもらっていますが、今のところ自分ですべて出来るので、このアンケートで該当しない部分が多くありました。一応将来の事を考えて回答したつもりです。よろしく。
- ・ 障がい者である身で高額医療の手続きに毎月、役所に行かなければならないのが一苦勞する身体です。何かいい方法はないのでしょうか。
- ・ 老健、特養などの情報が多くほしい。
- ・ 図書館などで、視覚障がいがあれば、CDなど利用すればよいと思いますが、見えにくいとつい探すのがおっくうになりますので、利用したことがありません。勉強している人に迷惑にならないような室に音声ガイドとか障がいそれぞれ毎に利用しやすい方法とか展示があればいいと思います。福祉課が、出入り口のドアがあまりきれいな透明ですと、大きな取っ手でもないとぶつかりそうになります。見えにくいのは大変不自由です。
- ・ 色々な施策やご配慮ありがとうございます。
- ・ 妻が車を使用中に災害が起こった時、自分では避難する事ができない。500m位は杖で歩けるが、その範囲では不可で速度もおそいから。
- ・ 今のところ病院に通いながら、生活面では自立できています。感謝。
- ・ 高齢者が町中を移動しやすいように交通費の負担にならないようにしてほしい。年金生活では物価上昇や消費税増税により楽しみが減り続けています。私の所では老人会の会費が徴収されても、行事の内容が小さくなり淋しいです。
- ・ 今のところは元気で過ごしていますが、買い物等の用事はタクシーを利用するので、お金が心配になります。災害になれば逃げられないので、助けに来てもらわねばならないです。子どもらに

- も迷惑をかけないよう心がけています。人さまのお世話になって感謝できる人になりたいです。
- ・ 障がい者用に整備された場所の中には、実際の障がい者には使いにくい場所があるので、改良してほしい。スロープの角度、階段の段差の高さ、手すりは金属は冬場冷たいので、滑り止め付きの木材等にするとか。
 - ・ 市立病院ができ、大変うれしいのですが、透析設備がないのが残念です。私ごとですみませんが、市長さんの心で考えていただきたいです。よろしくお願いします。
 - ・ 子どもが歳を重ねるにつれ、色々と思うところがあったり、周りの目を気にすることが多くなると思います。そんな時に子ども目線で相談にのってくれる人がいたらありがたいです。障がい者が利用できるサービスや制度を全ては把握できていないので、一覧などがあったら、まだ利用できるものを見つけられると思います。
 - ・ サービス情報が少ないため、プールは介助者も無料ということを知らなかった。リハビリに使いたかったが、お金が続かないのであきらめました。こういうことは後でわかって良いというものではないと思います。窓口に横柄な人がいる。
 - ・ 生活が苦しい。年金がもらえないのがくやしい。
 - ・ 現実的には出来るものから早急に実現してほしい。
 - ・ 子どもの時ははじめも不登校もあり、人の顔を見るのも怖かった事が大人になっても尾を引いています。今は昔より障がい者が増え、住みにくい世の中になっていると思います。近所との付き合いも少なくなり、ゆるぎ、たるぎもだんだんと少なくなっています。障がい者が安心して働ける場所も少ないと思います。
 - ・ 役所が書類を郵送する時の事前連絡。障がい者本人が読む場合もあるのでわかりやすい説明
 - ・ 京都に引っ越したので転送されてきましたが、もう少し余裕を持って発送されたほうが良いと思います。体調によって読めないときがありますので。提出しに行くのもしんどいです。
 - ・ 18歳未満の利用できるサービスが少なすぎる。訪問介護をもっと充実させてほしい。ヘルパーさんや介護婦さんが長時間、家での介護をしてくれて、息抜きできる時間がほしい。結局はショートステイしかないなので、それ以外を作してほしい。障がい者トイレのオムツ替えるベッドが小さすぎる。全て大きなベッド式にしてほしい。オムツの支給額をもう少し上げてほしい。重度障がい児が通えるデイサービスが少なすぎる。小児科がある病院にはもっと障がいのある子に対して理解してもらいたい。
 - ・ 声での通じあい、顔をみなくて良い、さみしい時はどうすればいいのかな。
 - ・ 身体障がい者手帳3級です。坂出宇多津市内での医療費が高額医療以外無料ですが、市外の病院を利用すると立て替え払いをして、そのあと役所まで手続きに行かねばならないのが非常に辛いので、ご配慮をお願いします。
 - ・ 7回ほど入院したが、医療費の援助にはどのようなものがありますか。
 - ・ 避難場所に手すり、洋式トイレ等を作ってほしい。
 - ・ 現在の選挙の場所はせまくて、投票にも行けず、危ないので、早急に直してほしいです。公共施設等のバリアフリーを早急に改善してほしい。
 - ・ 銀行のお金の出し入れの音声が出るようにしてほしい。明るい時に字が見えないときがある。
 - ・ 重度障がい支援を坂出市もやってほしい。24時間支援をしてほしい。このアンケートは何に活かされるのか。
 - ・ これからの障がい児が自立して生活できる環境にしてほしいです。

- ・車いす利用ですが、場合によってはの使い分けのため2, 3台はほしいです。体重が多く、自分の体に合うものがなかったりします。それぞれの体型に合った用具の利用ができるように選べるようにしてほしいです。
- ・私が住んでいる地域に循環バスが通っていないので、通院、買い物等が不便である。循環バスが通行している地域と比べると不公平である。
- ・家族がいれば家族と一緒に病院の敷地又は近くのアパートで家賃を払ってでも暮らしたい
- ・何事も早く答えを出してほしい。
- ・現在はさほど不自由を感じないが、今後介護が必要となると思うので、人ごととは思えない。少し先のことを考えておく必要があると思います。坂出市は他の市長に比して先見性を持って取り組んでいるように思います。これからもがんばって下さい。
- ・月一回、病院に通っていますが、坂出市の病院に通うと、車を止めるところがなくて不便です。車いすなのでスペースもいり困っています。自由に止められないので、丸亀の労災病院に行っており、そこには警備員さんが誘導してくれているので、止めやすいです。市立病院ができれば、警備員さんを常駐させ、誘導してほしいです。車いす用の駐車場は本当に必要なものにしてほしいです。
- ・角山プールに歩く人用のレーンがないので作ってほしい。坂出駅に洋式トイレがない。障がい者用だけでなく、今の時代、全部洋式に変えてほしい。足が悪いので、とても不便です。
- ・行政からの福祉に関する情報提供の充実をこまめにしてほしい。
- ・重度の身体障がい児のため、就労については全くわからないが、制度のあるなしに関わらず、坂出市役所の方、坂出市立病院の方、みんな親切で精一杯やってくださっています。いつも助けて頂いて感謝しています。
- ・問34、(2)8が非常に不安です。
- ・障がい者が安全、安心に暮らせる社会。障がい者が親等の支援がなくても暮らせる社会。障がい者が自立できる技術を身につけるようにする。
- ・介護認定に不審を抱きます。介護度が変更した為にリハビリに対するやる気を無くし、機能が下がり、動きが鈍くなりました。これから先、寝たきりにならないかと心配しています。子どもはいても自分の生活で一杯です。入りやすい入所施設を増やしてほしいです。
- ・介護認定が他の市より厳しく思えます。要支援になり、リハビリが行えなくなり、身体能力が大変落ちて困っています。だからと言って施設の入所は待ちが長く、老々介護になり、将来を心配しています。せめて、やる気のある人にリハビリを続けさせてほしいです。医療費を少なくおさえる為にも考えて欲しいです。
- ・中1の知的障がい児について、病院でのST（言語聴覚士）による訓練が続けたかったが、小1になる前に断られた。丸亀、国分寺で行われて、体力作り、トランポリン等をするかろがも教室が小学校卒業と共に終わった。小中高にかけてSTの訓練を受けたり、体力作りを行ったりする場をぜひ設けてほしいです。よろしくお願いします。
- ・もっと障がいのある方の差別や偏見をなくして欲しい。
- ・道路が悪い、車いすが扱いにくい。サービス等の情報提供を行政から積極的にしてほしい
- ・今は感じないが、今から10年ぐらいしたらどうなるかわかりませんので、今からもっと良くなると思っている。
- ・坂出市役所の身障者用の駐車場から、ふくし課までがとても遠く不便です。（足が悪い者にとって

てはるか彼方の様に感じます。) 市民ホールも駐車場が不便なので、いく事をあきらめる事がある。勤労福祉センター、教育会館等、エレベーターの設置等整備して頂きたいです。今、使わせて頂いているサービスは、とてもありがたく感謝しています。これから症状が悪くなるであろうと思われるので、心の支えになります。少しでも負担をおかけしないよう悪くならないよう努めます。

- ・ 現在は下肢障がいですが、二年ほど前から腰椎の症状が悪化しました。寝たきりにならないように筋力をつけたいのですが、高額な体操教室には通えないので、運動器具を使つての筋トレができればいいと思います。50歳まで運動していましたので、筋肉には自信があります。
- ・ 私は内科的障がいなので、外見ではわかりません。それで車を障がい者の駐車場へ置いて札をつけていても、変な目で見られるのが、とてもいやで、普通の所におきます。でも、遠いので歩くのがとても大変です。
- ・ 介護保険かけていても、自分が使う時に制約が多くて使えない。息子と住んでいると、買い物にも行ってもらえない。風呂も昼間入って、使ったあとでないと掃除もしてもらえません。夏は昼間の風呂も良いけど、冬の昼間に入っても湯ざめするので困ります。
- ・ 私は、今の所レセプトを受けており、私自身、真実を知りたいけれど、なかなかできません。力をお貸し下さい。
- ・ 身体障がい者に後天的になった人の就労支援をもっと充実してほしいです。30代、40代の働き盛り時に病気、事故等で障がい者になったらその先の生活が見えないです。知的な仕事の方なら多少はマシかもしれないが、いわゆるガテン系の人の場合なかなか元の仕事にはもどれないと思います。本人の資質にもよるところも大きいですが。
- ・ 親が死んだ後、経済的にも精神的にも安定して生活を送れるような社会になるといいと切に思います。現在の社会では、子どもを残して死んでしまうことが心配でなりません。障がい者年金の対象にもまれ、給料を手に入れられる仕事もない挟間の障がい者はどうやって生きていけばいいのでしょうか。
- ・ ○をした事が全てです。よろしく申し上げます。
- ・ 災害時の避難場所がどこになるのか知りたい。公民館や小学校が多いが、障がい者は同じ所にはいられない。たくさんの方がいると興奮してじっとしていなかったり、夜、寝れなかったり。トイレに行けなかったり、気候が暑かったりしたらすぐにてんかんの持病が出たりといろいろな事がある。そここのところをわかってほしい。障がい者用の避難場所を作ってほしい。
- ・ こういう意見を聞いて下さりありがとうございます。
- ・ おしめの支給有り難く使用致しております。欲を申しますと、量の多い時とか夜間など両端からもれる事もあります。それで従来使っていた「コメリセレクト フラットタイプ」を夜間は使っております。できましたら、少しでもかまいませんので、その商品の使用は無理でしょうか。ご検討お願い致します。
- ・ 足が悪いので、とても不自由しているのですが、なんとか歩けるし、人の目は気になるけど、車も乗れるし、これから働けなくなったら年金が少ないのでやっていけないのが不安。
- ・ サービス利用、申し込み審査を受ける時、本人の身体を見るとわかる事なので、家の中、特に夫婦としての寝室を見る必要はないと思います。介護職員は障がい者の気持ちを察し、優しい気持ちを持てる指導を希望。
- ・ 災害の時の避難体制が心配です。行政の情報提供、避難誘導が伝わってきません。

- ・自分が亡くなった後など考えると不安です。香川県は専門の職員がいて、共同生活ができる場が少ないです。障がい者でも、自分ができる仕事をし、人間らしい生活をくれる場をお願いします。
- ・障がい者の1級の1種は身体が悪く思うように働けないので、全員に障がい年金を受け取れる様にしてほしい。ちょっとした手続きの違いで年金を受け取ることができなかった。もう少しよく説明してほしい。
- ・先にも書きましたが、国保なみに介護施設が日本中で同じサービスがいつでも受けられるように早くなんとかして頂きたい。坂出市から一歩も外に行けないでは何の為の介護保険制度か分からない。
- ・どの自治体においても、予算逼迫のおり、厳しいものがあることと思いますが、障がい者に対する全ての面（理解、サービスの向上、支援の充実等）で、更なるご理解、ご支援をお願い致します。
- ・障がい者に対し、受け身の考えでなく、常に行動的な福祉施策と対応（市職）を望む。
- ・感謝です。ありがとうございました。
- ・年金上げて下さい。
- ・書面の筆記要件が実現すると大変うれしい事です。
- ・アンケートを取って頂くのはとてもありがたい。坂出市のふくし課の対応には感謝しています。等級によって受けられるサービスなどがもっと、パッと見て分かるような冊子などがあると思う。
- ・瀬戸中央道の通行料金を無料化していただきたい。
- ・陥没、亀裂で今にも崩れそうで段差があり、歩行での出入りが困難なので自宅前の道路から個人宅に出入りするのための橋を整備してほしい。山の斜面に住んでおり、大雨による土砂災害時のための避難誘導體制の整備を充実してほしい。
- ・民生委員は高齢者だけでなく、障がい者の家にも聞き取り訪問に来てほしい。坂出市内に就労継続A型と障がい者用のグループホームを作してほしい。障がい者理解のできる企業の誘致を積極的に行っていただきたい。
- ・その人に合った仕事を家にいて知らせてくれるようなサービスがあれば助かる。
- ・障がい者手帳4級ですが、日常生活には全く不安がなく常勤で働いています。参考にならない内容かもしれません。
- ・障がいのある人でもできる事を持ち寄ってすれば輪ができて、坂出が住みやすい、楽しい町になります。
- ・健康づくりの施設等が充実していないので、改善してほしい。
- ・自分の住む地域内に障がいがある中、年金内での入居可能な施設がほしい。
- ・子どもが支援学校に通っておりますが、先生の手が行き届かず負担になっているようで、本人は元気がありません。少人数でやむを得ない所はありますが、もう少し、負担を軽くするなり、障がいの程度に応じて教育をするなどの工夫をして欲しい。
- ・今の所は困ったことはない。
- ・早期療育を受けられる環境がほしい。1歳半検診等で障がいを指摘されても十分な受け皿がない。他府県に行くことになり、費用がかさむのが問題。保育園や幼稚園に入園する際には積極的に加配の先生をつけてほしい。
- ・高次脳機能障がいがありますが、知らない人が多く大変つらい思いをしました。精神障がい者、

その家族への理解を深めていただきたい。

- ・ デマンドタクシーの駐車場が病院まで遠くつらいので改善してほしい。
- ・ 後期高齢者になった場合、医療費負担が3割に上がるのが大変なので、なんとか割り引いてほしい。
- ・ 障がい年金をもらっても家族まで養えない。お金が借りられない。
- ・ 今はケアホームにお世話になっております。
- ・ すべて答える必要があるでしょうか。必要に応じて進めればいいのに、なぜか、経験なしでも答えなければならないことになっている。
- ・ 今の所は自分で大体の事はできるので、特に要望はありません。
- ・ 障がいの程度が軽いので、本当に支援を必要としている人の現状が理解できていないかもしれません。高齢者や乳幼児にも障がい児にも同じようにやさしい社会づくりを望みます。
- ・ いじめをなくしてほしい。
- ・ 設問に幅があり、回答しづらい部分が多かった。子どもや大人、先天性と後天性の障がい者を全てこのアンケートで対応している点が問題です。ゆえに設問に無理が生じており、回答しづらい人が多いはず。不要なサービスより、必要な資源を必要な人にタイミングよく。
- ・ 今は不便を感じていないので、その時が来ないとわからない。
- ・ 突発的に行動障がいがある場合、施設などの団体行動は難しく、入所が難しい。常に精神科に入れておくほどではないが、人間関係等のトラブルがあった場合、受け入れ先がなく、介護者も大変。地域の人の理解にも限界があるため、柔軟性のある施設があればいいと思うが、管理することを考えると難しいと思う。
- ・ 車イスでも参加できる集会場の整備。
- ・ 今、仕事に従事していますが、解雇等になった際の就労支援。介助者の立場で成年後見制度の際の金銭面が厳しい。主介助者が入院等になった場合に公共料金等の支払いのやり方が分からないので、それらのサポート。障がい者本人が1人になって生活する場合に自宅の処分も含め、それからの生活基盤をどのようにしていけばいいのかのサポート。
- ・ このアンケートが私以外の方々に役立ちますように願っています。歩道が斜めの所が多く、道路に降りる際、車いすの前輪が段差に入り、動きがとれなく、下におりづらいです。
- ・ 障がい年金が受けられないので、身体に無理をしてでも仕事をしなくてははいけない。現在けがで入院中。
- ・ 苦しい時、市役所の方に相談に乗って頂き助かりました。
- ・ 障がいを持って生きることは困難が多い。そのための工夫を考えよ。
- ・ 家族と生活したいが、自分がいると子どもが結婚できないので、1人で生活できるアパートなどが借りられるようにしてほしい。
- ・ 電車での移動時、エレベーターのない駅や電車とホームの段差が大きく、人の手を借りないと乗降できません。車いすの場合はレールを敷いて介助して下さいますが、気の毒なので回数が減ります。
- ・ 収入がないので、生活する上での生活費用が心配である。
- ・ 祭や花火をしてほしい。
- ・ まだ、中学生なので、学校に守られて不便はあまりなく、生活しています。これから社会に出る事への準備をこれからしなくてははいけませんが、何が必要かどのようなことをすればよいか、は

っきりとわからず、不安になることもあります。

- ・ 現在施設入所から在宅介護をしたいですが、どこまで公的サービスが利用できるか情報が少ないので不安です。広報等で教えていただければありがたいです。宜しくお願いします。
- ・ 通院の送迎を家族に任せていますが、出来ない状況が発生した時の経済的な事が不安。加齢や余病で自力の日常生活が不可能になった場合の精神的、金銭的な自信が全くありません。週1回でもよいので、1日でも長く自立の日常生活が続けられるような指導やリハビリ訓練等していただけるとありがたいです。
- ・ 障がい年金が少なすぎて、必要な障がい用具が買えません。障がい者自身になって考えてほしいです。
- ・ 昨年、キッチンを改修して、非常に楽に作業できるようになりました。医療、食事、住居など、技術の革新で現代は障がいはあっても100%は無理でも、何か自分ではできる物事、アイデアが別の困った障がいを持つ人や行政に届くようなシステムを期待します。
- ・ 自分の事ができなくなった時に、国民年金でもすぐに入れる老人ホームなどをもっとたくさん造ってほしいです。
- ・ 災害など避難メールなどきても避難できない家もたくさんあると思います。年配の方や障がい者のいる家庭のことも考えて下さい。色々なサービスや情報をもっとわかりやすく提供してほしいです。こういうアンケートをしたならば、無理なことでもどう対策していくのかとの情報がほしいです。アンケートやメールでは受け取る側にうまく伝わらないことがあるので、一度ちゃんとお話をできる機会を設けてほしいです。困った事を伝えたくても伝える事がなかなか難しいと思います。
- ・ 病気になってみて、どのような施設が利用出来るのかよく知らないなので、教えてほしい。自由にリハビリ、趣味ができる施設を作ってもらいたい。今行っているデイサービスはお年寄りの方が多いので、もう少し、年齢が若くても楽しくできる施設があればいいと思う。
- ・ 予測もしない障がい者になり、家族の気持ちが本当に落ち込み、どうしたらよいか途方に迷いました。その様な時期にフォローしていただけたらと今思います。10年が過ぎ、やっと向き合える心ができました。死んだ方がどれだけ楽かと思った事も何度もありました。
- ・ 何か声が出ないのでバカにされている気がする。好きでなったのではないのに、ストレスがたまります。
- ・ 部落の人からの集まりの話しが一回も出ない。公民館が古いのに避難場所になっているのでなんとかしてください。
- ・ 今後利用したいのですが、どうしたら良いかわかりません。誰か尋ねてくれて、説明してくれるとありがたいです。私は遠くまで一人で歩けませんので。
- ・ 精神の障がい者が安心して暮らせる様に立場になって市役所の方達もお考え下さい。宜しくお願いします。